

御殿場の教育

平成28年度



御殿場市教育委員会

御殿場市民憲章（昭和五十五年六月十三日制定）

わたくしたちは、朝に夕に麗峰富士を仰ぐ御殿場市民であることに誇りを持ち、かおり高い文化都市への発展をめざしてこの憲章を定めます。

一 わたくしたちは、郷土を愛し、

さわやかな緑のまちをつくります。

一 わたくしたちは、進んできまりを守り、

安全で住みよいまちをつくります。

一 わたくしたちは、教養をたかめ、

文化のあふれるまちをつくります。

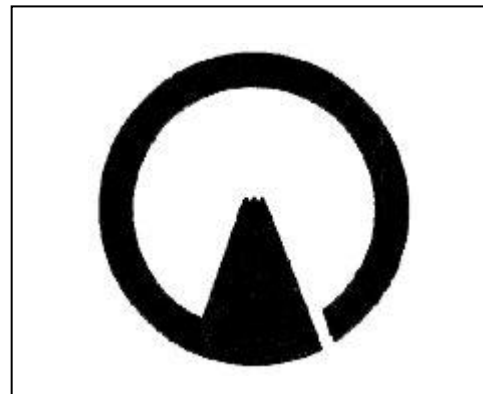
一 わたくしたちは、たがいに助け合い、

明るいまちをつくります。

一 わたくしたちは、心身をきたえ仕事に

はげみ、豊かなまちをつくります。

GOTEMBAの頭文字Gを図案化。中央に富士山を、外枠に箱根外輪山を表現し、美しい自然に囲まれた御殿場の伸びゆく市勢と市民の協和を表現しています。（昭和32年制定）



市の木 けやき



富士山麓に多産し、建築材（大黒柱）として重要視されています。巨樹に成長するたくましい樹勢は発展してゆく市の姿を象徴するにふさわしいものです。

（昭和47年6月27日制定）

市の花 富士桜



富士山麓に多く自生。樹高は3~4mぐらいで、小さな花が樹いっばいに咲き、清純にして気品があります。その美しさは春の御殿場を代表する景観です。

（昭和47年6月27日制定）

市の鳥 くらつぐみ



4月から5月にかけて、南方から富士山麓に渡来する夏鳥です。比較的低い林の中の人家の近くに住み”キョロッ、キョロッ、コケキコキョキ”と美しい声でほがらかに鳴きます。

（昭和43年5月10日制定）

目次

○ 御殿場市の概要	
1 御殿場市の沿革	1
2 御殿場市域と人口・世帯数	6
○ 教育委員会	
1 委員	7
2 歴代教育委員	8
3 歴代教育委員長	9
4 歴代教育長	9
5 平成 27 年度教育委員会会議	10
6 教育委員会機構及び事務分掌	13
○ 教育行財政	
1 平成 28 年度御殿場市教育施策	15
2 平成 28 年度御殿場市一般会計予算	20
3 平成 28 年度教育費予算	21
4 教育費の推移	22
5 児童・生徒一人当たりの教育費	22
○ 学校教育	
1 学校教育	23
① 平成 28 年度御殿場市教育委員会学校教育課教育構想	23
② 御殿場市教育委員会学校教育課グランドデザイン	25
③ 平成 28 年度事業一覧表	26
④ 学校・園一覧（平成 28 年 5 月 1 日現在）	28
⑤ 児童・生徒・園児数の推移	52
⑥ 中学校卒業者の進路状況	54
⑦ 日本スポーツ振興センター	55
⑧ 育英奨学金	56
⑨ 平成 27 年度就学奨励援助	56
⑩ 小・中学校の入学状況	57
⑪ 施設の整備状況	58
2 所管外学校等	60

○	学校給食	
1	学校給食	61
①	主要事業	61
②	学校給食配食校変遷一覧表	62
③	施設の概要	63
④	学校給食の実施状況	66
⑤	児童・生徒一人当たり栄養摂取状況	67
○	社会教育	
1	社会教育	68
①	主要事業	68
②	平成 28 年度事業一覧表	69
③	文化財・史跡	74
2	図書館	76
①	主要事業	76
②	平成 28 年度事業一覧表	77
③	施設の概要	79
④	所蔵資料	80
⑤	平成 27 年度の利用状況	81
○	資料	
1	平成 27 年度事業年譜	84
2	各種委員名簿	99
3	教育施設位置図	111
4	防災計画	112

御殿場市の概要

1 御殿場市の沿革

・はじめに

御殿場市は静岡県の北東部にあって、我が国の最高峰である富士山の東麓に位置し、美しい自然に恵まれた緑豊かな高原の都市である。かつては東海道本線として日本の近代化を担った JR 御殿場線、東京と沼津を結ぶ国道 246 号が市内を縦断し、小田原と富士吉田を結ぶ国道 138 号が市内を横断している。これら陸上交通は御殿場インターチェンジを介して市内を縦断する日本経済の大動脈「東名高速道路」と結ばれていることから、御殿場市は太平洋ベルトの東西の交通路と甲信地方との南北の交通路が合流する陸上交通の要衝となっている。

東名高速道路により東京と約 1 時間で結ばれ、都心との間に高速バスや JR・小田急線の特急が運行されていることから、市民には進学や就職、買い物など多くの点に首都圏への強い志向が見られる。

更に、平成 24 年に新東名高速道路が御殿場 JCT から三ヶ日 JCT まで開通したことにより、首都圏のみならず中京圏からの観光客が富士山や箱根といった周辺地域へ足をのぼす際の中継地、あるいは周辺地域を訪問した後の目的地として御殿場市を経由するため、国内外の観光交流客の増加へ繋がっている。

・御殿場の自然

御殿場市は海から内陸へ約 30km の距離に位置し、富士山、箱根外輪山、さらには愛鷹山、丹沢山地と三方を山に囲まれた市中心部で標高約 450m を測る高冷地であり、県内では珍しい高原都市である。

富士山・愛鷹山と箱根外輪山の間は南の駿河湾の方向へ向けて開けた地形のため湿気を含んだ南風が入りやすく、また、富士山は標高 3,776m の独立峰が駿河湾から直接そびえ立つような地形であることから周辺は気流の変化が激しい。このような理由から富士山東麓は雲や霧が発生しやすく、年間降水量は 2,500 ミリ前後、多い年には 3,000 ミリを超える多雨で多湿な地域となっている。冬季は高冷地のため最低気温が氷点下となることが多く、太平洋側の典型的な気候のため乾燥し降水量は少ないが、冬の気圧配置が崩れると積雪が見られる。

市内の河川は、富士山と箱根外輪山からの湧水を水源とし、鮎沢川に代表される相模湾へ注ぐ酒匂川水系と黄瀬川に代表される駿河湾へ注ぐ狩野川水系に分かれる。両水系の分水界は概ね富士山頂と箱根外輪山の丸岳を結ぶ線である。

富士山周辺は地質学的には南部フォッサマグナ地域に当たり、ユーラシアプレート・北米・フィリピン海プレートの会合部に位置する。数十万年前には箱根火山・愛鷹火山・先小御岳（せんこみたけ）火山が活動を開始し、箱根火山はカルデラと外輪山を形成しながら現在も活動を続け、愛鷹火山は約 10 万年前までに活動を終えている。先小御岳火山とは、現在、富士山がある場所に最初に出現した火山であり、年代は判然としないがこの火山に重なるように小御岳火山が出現し、さらに古富士火山、新富士火山と順に重なるように火山が出現し現在に至っている。

る。

この地域の現在の地形を形成する直接的な要因は、約1万7千年前から始まる新富士火山の活動である。国指定天然記念物駒門風穴や黄瀬川の河床に見られる溶岩は新富士溶岩流と呼ばれる約1万年前に噴出した溶岩流である。また、富士山の山体崩壊により

約2,900年前に発生した御殿場岩屑なだれは市内の広い範囲に堆積し、末端は足柄平野や駿河湾沿岸部まで達した。御殿場岩屑なだれは、流れ下りながら市内各所に流れ山と呼ばれる塚を形成する一方、堆積層が水の浸透を妨げることから御殿場インター周辺には広大な沼地が形成された。

・原始から古代へ（御殿場のあけぼの）

御殿場市内において、現段階では旧石器時代の遺跡は発見されていない。現段階で最も古い遺跡は箱根外輪山の中腹で発見された縄文時代早期（6～7千年前）の山の神遺跡である。縄文時代は気候が比較的温暖で富士山の火山活動も比較的穏やかであったらしく、広く関東一円に富士山から噴出した火山灰が風化した富士黒土層が形成された。その後、縄文時代晩期頃には富士山は火山活動が活発化し盛んにスコリアを噴出したり山体崩壊や岩屑なだれも発生したりしたため、この地域は一時的に人々が定住するのは困難な環境となったと思われる。

弥生時代に入ると再び人間の痕跡が見られるようになるが、遺跡の発見例が少なく他地方のように水田稲作が営まれていたことを示す遺跡は今のところ発見されていない。古墳時代になると先に述べた沼地の周辺に集落が形成されるようになり、この頃の代表的な遺跡として集落遺跡の中田遺跡、古墳とし

て大沢原古墳群がある。

8世紀以降、律令制度による中央集権体制が確立すると都と地方を結ぶ官道が整備されていった。この地域は、都と相模国以東の諸国及び甲斐国を結ぶ古代東海道の要衝であったため、駿河国で最も大きな駅、横走（よこばしり）駅がおかれた。この頃の代表的な遺跡として永原追分遺跡がある。

平安時代は、有史時代に入って富士山の火山活動が活発であった時期であり、小規模な噴火の記録もあるが大きなものでは延暦19年（800）、貞観6年（864）、永保3年（1083）の3回の噴火記録が残っている。

11世紀頃から、この地域は大沼藍沢御厨という伊勢神宮の荘園となる。御厨（みくりや）という非行政広域地域名の起源はここにある。この御厨を掌握していたのは、後に東国の動乱に介入して西相模へ進出し勢力拡大を図った大森氏である。

・鎌倉時代から戦国時代へ（中世の御殿場）

鎌倉幕府成立後、建久4年（1193）には、富士山麓を舞台に将軍源頼朝による富士の巻狩が行なわれ、市内にはこの巻狩に因んだ多くの伝説や地名が残っている。

承久3年（1221）の承久の乱では、幕府軍が勝利し討幕計画に参画した貴族は捕えられ鎌倉へ護送されることとなったが、この地域にさしかかると藤原光親が籠坂峠で、藤原宗行が藍沢原で処刑されてしまったという悲話が伝えられている。

時は過ぎ鎌倉幕府が倒れ、後醍醐天皇が「建武の新政」を始めるが2年余りで瓦解する。中先代の乱鎮圧のため鎌倉に入り乱を平定した足利尊氏が東国を拠点に新政府へ反旗をひるがえすと、後醍醐天皇は新田義貞を総大将とした官軍を東進させた。両軍はこの地域で衝突し、竹之下（小山町）で官軍を撃ち破った足利尊氏は官軍を追ってこの地域を南下し、最終的には三島の新田義貞の本営を攻め、官軍を総崩れに追い込んだ。永原には、竹之下の戦いに敗れ

て退却する官軍と後を追う足利尊氏の軍勢が戦ったという永原古戦場の言い伝えがある。

室町幕府が成立すると、駿河国は守護大名の今川氏の領国となり、この地域は今川氏の被官である大森氏が支配していた。大森氏に関しては、大森頼春（道光）が応永 29 年（1422）に寄進した石灯笼（市指定文化財）が二岡神社境内に残っている。

大森氏は頼春の時代に東国支配の拠点「鎌倉府」の内紛である上杉禅秀の乱に介入して西相模へ進出し、小田原を本拠地に東へ勢力拡大を図ったため、この地域は大森氏に代わり同族の葛山（かずらやま）氏の支配地となった。

戦国大名として有名な北条早雲は、今川家継嗣問題の内紛に介入して勢力を拡大し後北条氏の基礎を築いた人物である。この内紛は、文明 7 年（1475）に遠江国の横地氏・勝間田氏を攻めた今川義忠が帰路、残党に討たれてしまったことに起因する。印野の勝間田氏は、勝間田城を有した遠江国の国人領主

「勝間田氏」の子孫と言われ、今川義忠に敗れて富士山麓へ落ち延びたと伝えられている。北条早雲は 15 世紀末に伊豆一国を平定し、さらに小田原城を攻略して大森氏を滅亡させ、以後、後北条氏は小田原城を拠点に関東一円に勢力を伸ばしていった。

この地域は駿河・甲斐・相模の境界地帯であると共に交通の要衝であったことから、しばしば戦国大名が衝突し幾多の戦いに巻き込まれた。旧東海道（足柄街道）に面して立地する深沢城跡は今川氏の築城といわれているが、後に後北条氏の支城となり永禄 12 年（1569）から天正 8 年（1580）にかけて武田氏と後北条氏が争奪戦を繰り返した城である。籠城する後北条方に対して包囲する武田方が開城を迫った矢文が有名であり、丸馬出（まるうまだし）と三日月堀を備えるなど武田氏が領有した時期の武田流築城術が色濃く残る城跡であることから県指定史跡となっている。

・江戸時代（近世の御殿場）

関ヶ原の合戦に勝利した徳川家康は征夷大将軍となり江戸幕府を開いた。沼津代官は元和 2 年（1616）にこの地域の土豪「芹澤将監」に対し家康が使う御殿の造営及びその周辺に新町を建設することを命じたといわれている。家康が実際に御殿を使用することはなかったが、御殿を中心に御殿新町が生まれた。今日の「御殿場」という地名はこの「御殿」に由来している。

寛永 10 年（1633）にこの地域は稲葉氏が支配する小田原藩領に組み込まれ、以後、宝永噴火により幕領化された時期を除いて慶応 4 年（1868）の駿府藩引き渡しまで小田原藩領となる。江戸時代に入って 100 年も経つと、江戸の商人が技術力と経済力を身につけ、この地域でも町人請負新田が開かれたが、標高が高く痩せた土壌で水が乏しい或いは恵まれていても湧水や溪流の水をそのまま使う冷水掛りであったことから水稻の生産効率は高くはなかった。そのため、当時の人々は水稻耕作や畑作以外に山野へ入り稜（まぐさ）を採取して馬を養い駄賃を稼い

だり、薪炭を生産して小田原城下へ運んで現金化したりするなどの農間副業で、農業生産力の低さを補填していた。

そのような脆弱な村々を襲ったのが宝永 4 年（1707）の富士山宝永噴火である。膨大な火山噴出物はこの地域の田畑を埋め山野を覆い尽くした。領主の大久保氏は被災した領地の自力復興を断念して上知し、被災地は幕領として関東郡代伊奈半左衛門忠順（ただのぶ）が復興に着手した。伊奈半左衛門の主たる任務は、小田原藩が長年をかけて開発した穀倉地帯にして東海道の通過点でもある足柄平野を復興させるための酒匂川普請であった。そのため、この地域の砂除川浚（すなよけかわざらい）が公儀御普請で行なわれることはなく、自力復興に委ねられていた。その後、火山噴出物の堆積が浅い村から順次私領へ戻され延享 4 年（1747）までに御殿場市内の村々は小田原藩領へ戻った。

被災から 80 年も経つと御厨地方も足柄平野も一定の復興を見せるが、被災以前の状態に戻ることは

なかった。時代は天明を迎え地震、飢饉など全国的に自然災害が頻発し社会不安が広がっていた。この地域の村々は宝永噴火の後遺症を引きずり困窮を極めていた。天明 3 年（1783）は、前年からの天候不順続きでこの地域は大飢饉に襲われ、11 月に約 30 カ村の農民は年貢減免を願い大挙して小田原へ繰り出した。これが御厨一揆であるが、指導者の死罪など厳しい処置がとられたにも関わらず年貢は思ったほど軽減されず農民は失望した。

この時代に生まれ、混乱が続く天保年間に小田原藩領や広く関東周辺に報徳仕法を広め農村復興に努め成果を挙げていたのが「二宮金次郎」の名で有名

な二宮尊徳である。この地域でも村々は村の立て直しや困窮した家の再興のため報徳仕法に取り組んだ。しかし、報徳仕法の成功による農民の自覚と経済力の高まりが藩政批判に結びつくことを恐れた小田原藩の方針により、弘化 3 年（1846）に報徳仕法は中止となった。

幕末になると、江戸－京都間の人馬の往来が頻繁となり、年貢に加え助郷役（すけごうやく）の負担もますます増大した。慶応 4 年（1868）に討幕軍が江戸城に入り明治新政府が樹立されると、当地は小田原藩の支配下を離れ徳川家達が藩主である静岡藩に編入された。

・明治から昭和へ（近代の御殿場）

明治 4 年（1871）廃藩置県が実施されると、静岡藩は静岡県となった。明治 12 年（1879）には沼津に郡役所が置かれ郡制が敷かれ、新しい時代の波は御殿場村にもガス燈を灯らせることになった。また、伴野佐吉らの努力より明治 16 年（1883）に富士山東表口登山道が開かれ、その後の別荘地化と相まってこの地域は観光地として大いに宣伝されるようになった。

明治 22 年（1889）は画期的な年であった。2 月 1 日に東海道本線が開通し、御殿場停車場（御殿場駅）が設置された。4 月には御厨町、富士岡村、原里村、印野村、玉穂村、高根村が発足した。一方、農作業の改良が図られ、養蚕や竹行李にも積極的に取り組み、小規模ながら萩原・保土沢・神場などに製糸場が作られた。明治 31 年（1898）には新橋－須走間に御殿場馬車鉄道が走り、大量の物資が運ばれ特に夏期には登山客でにぎわった。この頃になると、かつて藩の方針により姿を消した報徳仕法が各村で「報徳社設立」という形で再興された。

大野原は、この地域の人々にとって豊富な植物資

源を得るための入会地である一方、緩傾斜地が広がり小高い丘が点在する地形から近代に入ると陸軍の砲兵隊が実弾射撃の適地として実戦訓練の演習に使用するようになった。本格的な使用は日清戦争後の明治 29 年（1896）の東京湾要塞砲兵隊の実弾演習に始まり、明治 42 年（1909）には大野原を陸軍の演習場として使用することについて協定が結ばれ、同時に滝ヶ原・板妻に廠舎が作られた。軍拡を進める当時の事情から、早くも翌年には演習場拡張のため印野村内の 3 部落接收の計画が持ち上がった。地元と陸軍省の交渉は約 7 ヶ月にも及び、最終的に印野村内の北畑部落を原里村川島田へ部落のまとまりをもって移転することで妥結したのは明治 45 年（1912）であった。これ以後、この地域は演習場を中心に日本陸軍との関係を深めることとなった。

大正 2 年（1913）原里村印野村組合が解散し、翌 3 年（1914）には御厨町が御殿場町と改称する。その後、大正 12 年（1923）の関東大震災、昭和 5 年（1930）からの大恐慌、第二次世界大戦とこの地域の人々は苦難の時代を経験することとなった。

・戦後（御殿場市の誕生）

昭和 20 年（1945）8 月に第二次世界大戦が終戦を迎えると、GHQ の占領下で武装解除と軍事施設の接収が行なわれ、新憲法制定をはじめ様々な民主化政策が実施された。教育では昭和 22 年（1947）の六三制教育発足により新制中学校が誕生し、昭和 27 年（1952）にはこの地域の町村にも教育委員会が設置されたが、その一方で、米軍が旧陸軍施設を接収し駐留して以降の風紀・治安の問題が深刻な社会問題となり教育にも暗い影を落としていた。

昭和 28 年（1953）9 月「町村合併促進法」が制定され、御殿場町・富士岡村・原里村・玉穂村および印野村が合併し、昭和 30 年 2 月 11 日、人口約 36,000 人の御殿場市が誕生した。翌 31 年（1956）1 月 1 日に、高根村が村をあげての希望により編入され、さらに 32 年（1957）9 月 1 日、小山町の古沢地区が編入され現在に至っている。

GHQ に接収されていた旧陸軍の演習場は、昭和 32 年（1957）に米軍が一部を残して引き揚げたことから昭和 34 年（1959）に地元関係者との間で「東富士演習場使用協定」が結ばれ、翌年旧陸軍の三廠舎には陸上自衛隊が常駐するとともに、演習場は自衛隊と米軍によって使用されることになった。同時に、周辺住民の生活安定と福祉向上のために、国から生活環境改善のため助成が行われるようになった。

市制発足後、当地の発展は著しく、昭和 40 年代の高度経済成長と共に昭和 44 年（1969）の東名高速道路の開通により市の様相が一変した。わずかな

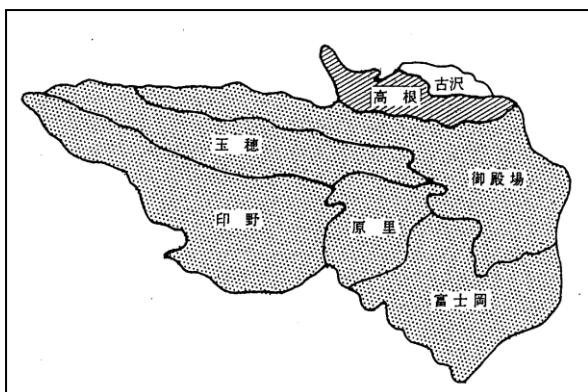
地場産業と農業・観光が主であった当地に年々各種中小企業が進出し、更に昭和 59 年（1984）には駒門工業専用地域に 10 社余の大企業が誘致され、また平成 14 年（2002）には神場南工業団地も完成し、数十の企業が誘致され首都圏を取りまく工業地域としての発展が著しい。

また、恵まれた自然環境のもとに都市開発が進められ土地区画整理事業も昭和 59 年（1984）に二の岡地区、続いて平成 6 年（1994）に東田中・鮎沢地区が完成し、また昭和 62 年（1987）から駅前再開発事業も進められ新たな駅舎が誕生した。平成 13 年度からは、御殿場駅富士山口広場の整備に着手した。公園整備も盛んに進められ、平成 15 年（2003）4 月には秩父宮記念公園、永原公園、神場南公園を開園した。こうした開発に伴い人口も次第に増加し、平成 21 年（2009）4 月には 90,000 人余を擁するに至った。

平成 23 年 4 月に御殿場市富士山交流センター、通称名「富士山樹空の森」を開園した。この施設は、富士山情報の発信や地域交流スペース等地域活性の場を設ける形の新たな観光公園施設で、小・中学生の富士山学習の場としても利用している。

御殿場市は富士山の麓にあって、美しい景観をはじめ、富士山から多くの恵みを受け、御殿場市民の生活・文化と密接に関わっている。平成 25 年 6 月 22 日、富士山は、第 37 回ユネスコ世界遺産委員会において世界文化遺産への登録が決定した。

2 御殿場市域と人口・世帯数



昭和 30 年 2 月 11 日

御殿場町・富士岡村・玉穂村・印野村を廃し
市制を施行

昭和 31 年 1 月 1 日

駿東郡高根村を編入

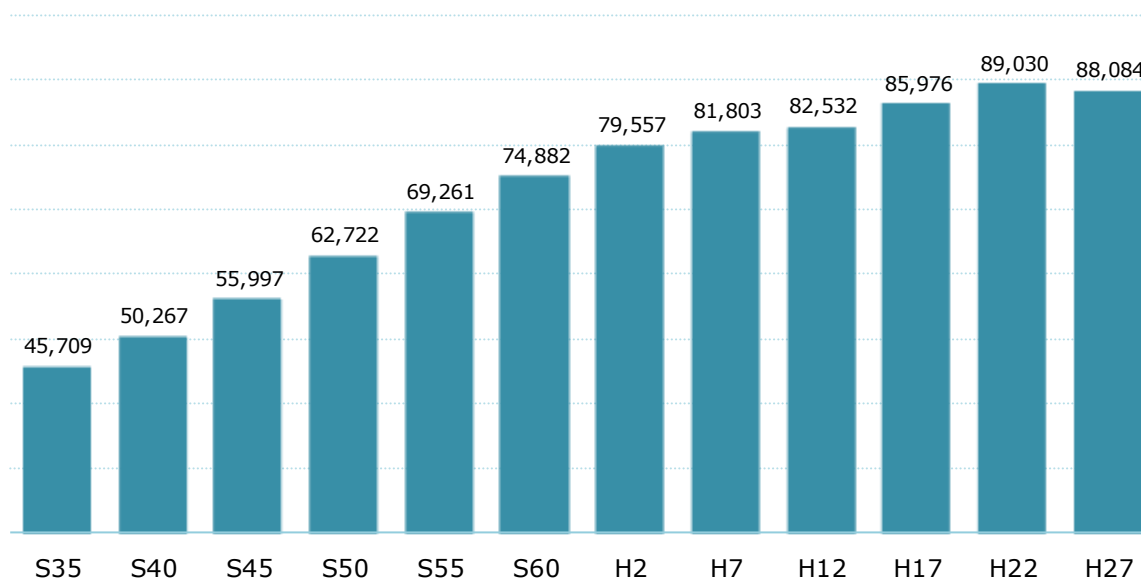
昭和 32 年 9 月 1 日

駿東郡小山町大字古沢を編入

平成 28 年 3 月 31 日現在（外国人登録者を含む）

人口	世帯数	面積	広ぼう	位置（市庁舎）
88,853 人	35,746 世帯	194.90 km ²	東西 24 km 南北 16 km	東経 138°56'06" 北緯 35°18'31" 海拔 459.8m

国勢調査人口の推移



教育委員会

1 委員

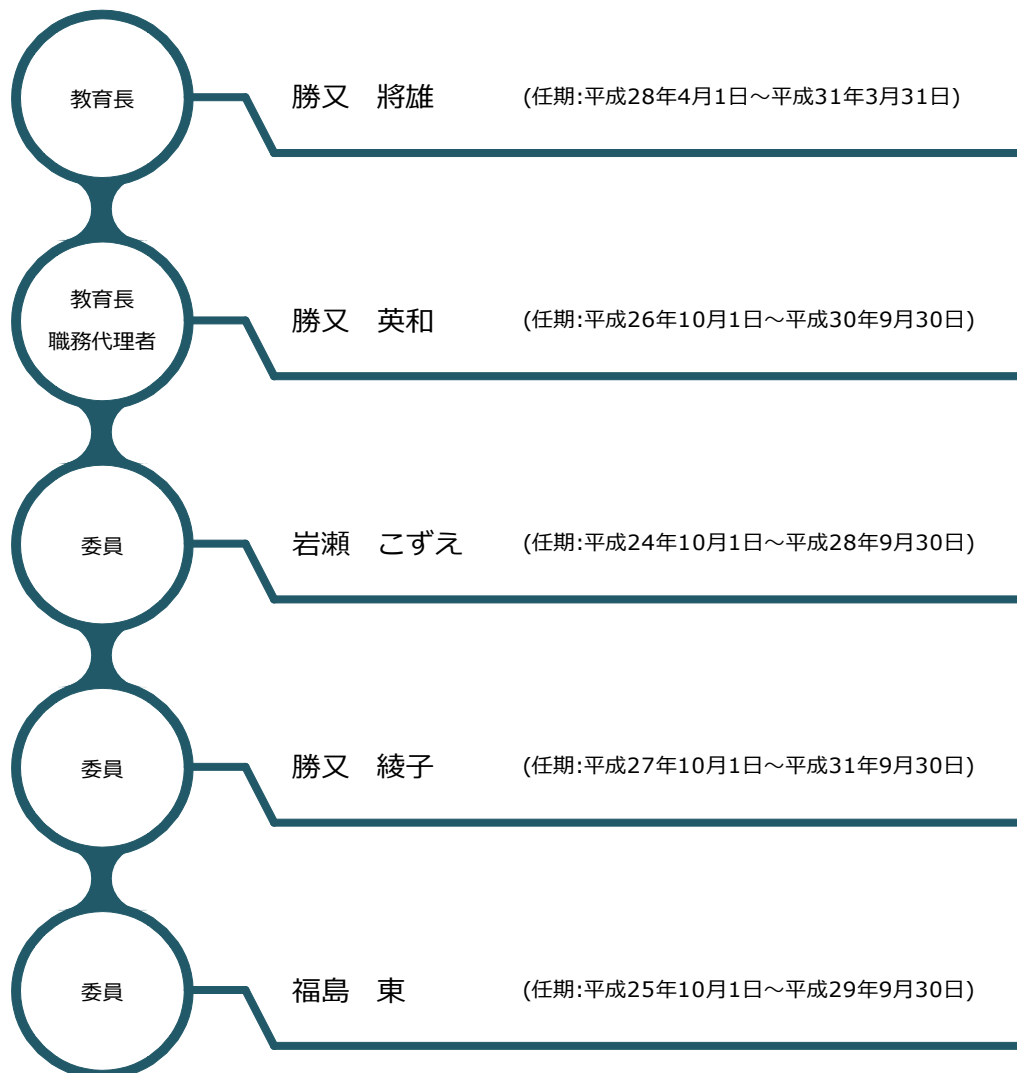
(組織)

教育委員会は、教育長及び四人の委員を以って組織する。

(任命)

教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て、任命する。

委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て、任命する。



2 歴代教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
勝又 倭一	S30.2.11	～ S31.9.30
	S40.3.27	～ S45.9.30
芹沢 正	S30.2.11	～ S31.2
菅沼 義之	S30.2.11	～ S31.2
石田 善一	S30.2.11	～ S31.2
萩倉 千佐恵	S30.2.11	～ S31.2
池田 晋	S30.2.11	～ S31.2
杉山 鷲雄	S31.1.1	～ S31.9.30
小野 三郎	S31.2	～ S31.9.30
小宮山 嘉六	S31.2	～ S31.9.30
江藤 誠之	S31.2	～ S31.9.30
横山 茂理江	S31.10.1	～ S42.3.28
杉山 俊郎	S31.10.1	～ S40.3.22
芹澤 敏	S31.10.1	～ S33.8.13
根上 ツナ	S31.10.1	～ S40.9.30
勝間田 実	S33.10.1	～ S34.9.9
勝間田 武衛	S34.10.1	～ S40.3.22
鈴木 孫肇	S40.3.27	～ S46.9.30
鈴木 俊助	S40.10.1	～ S52.9.30
杉山 嘉寿夫	S42.3.18	～ S51.9.30
岡田 弘	S45.10.1	～ S53.9.30
萩倉 鉄雄	S46.10.1	～ S50.6.7
杉山 藤雄	S50.7.6	～ S58.9.30
林 皓一郎	S51.10.1	～ S59.9.30
勝俣 美雄	S53.10.1	～ S57.9.30

氏名	就任年月日	退任年月日
永井 三郎	S52.10.1	～ S57.11.11
幾多 裕男	S57.10.1	～ H2.9.30
根上 眞一	S57.12.23	～ H5.9.30
磯辺 岩夫	S58.10.1	～ H3.9.30
岩田 吉彦	S59.10.1	～ H4.9.30
芹澤 英夫	H2.10.1	～ H10.9.30
勝又 邦俊	H3.10.1	～ H11.9.30
旭 英順	H4.10.1	～ H12.9.30
横山 桂子	H5.10.1	～ H13.9.30
森岡 和鶴子	H10.10.1	～ H18.9.30
中村 貞治	H11.10.1	～ H15.9.30
杉山 正一郎	H12.10.1	～ H17.5.18
石田 和久	H13.10.1	～ H17.9.30
勝又 正敏	H17.6.15	～ H20.9.30
鈴木 芳隆	H18.10.1	～ H22.9.30
勝間田 喜明	H15.10.1	～ H23.9.30
嶋田 征子	H17.10.1	～ H25.9.30
大胡田 幸子	H20.10.1	～ H24.9.30
稲葉 宏道	H22.10.1	～ H26.3.31
小見山 司朗	H23.10.1	～ H27.9.30
岩瀬 こずえ	H24.10.1	～ 現在
福島 東	H25.10.1	～ 現在
勝又 英和	H26.7.1	～ 現在
勝又 綾子	H27.10.1	～ 現在

※池田晋委員と江藤誠之委員は議会選出

3 歴代教育委員長

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
勝又 倭一	S30.2.11	～ S31.9.30	芹澤 英夫	H5.10.1	～ H9.9.30
	S40.3.27	～ S45.9.30		旭 英順	H9.10.1
江藤 誠之	S31.2	～ S31.9.30		H11.10.1	～ H12.9.30
横山 茂理江	S31.10.1	～ S39.9.30	勝又 邦俊	H10.10.1	～ H11.9.30
	S40.4.1	～ S42.2.28	横山 桂子	H12.10.2	～ H13.9.30
杉山 俊郎	S39.10.1	～ S40.3.22	中村 貞治	H14.10.1	～ H15.9.30
岡田 弘	S45.10.5	～ S53.9.30		H13.10.1	～ H14.9.30
勝俣 美雄	S53.10.1	～ S57.9.30	森岡 和鶴子	H15.10.1	～ H18.9.30
杉山 藤雄	S57.10.1	～ S58.9.30	勝間田 善明	H18.10.1	～ H23.9.30
林 皓一郎	S58.10.1	～ S59.9.30	嶋田 征子	H23.10.1	～ H25.9.30
磯辺 岩夫	S59.10.1	～ S63.9.30	稲葉 宏道	H25.10.1	～ H26.3.31
幾田 裕男	S63.10.1	～ H2.9.30	小見山 司朗	H26.7.1	～ H27.9.30
根上 眞一	H2.10.1	～ H5.9.30	勝又 英和	H27.10.1	～ H28.3.31

※平成27年4月1日から施行された改正地方教育行政法による新たな教育委員会制度への移行に伴い、平成28年3月31日をもって教育委員長職は廃止された。

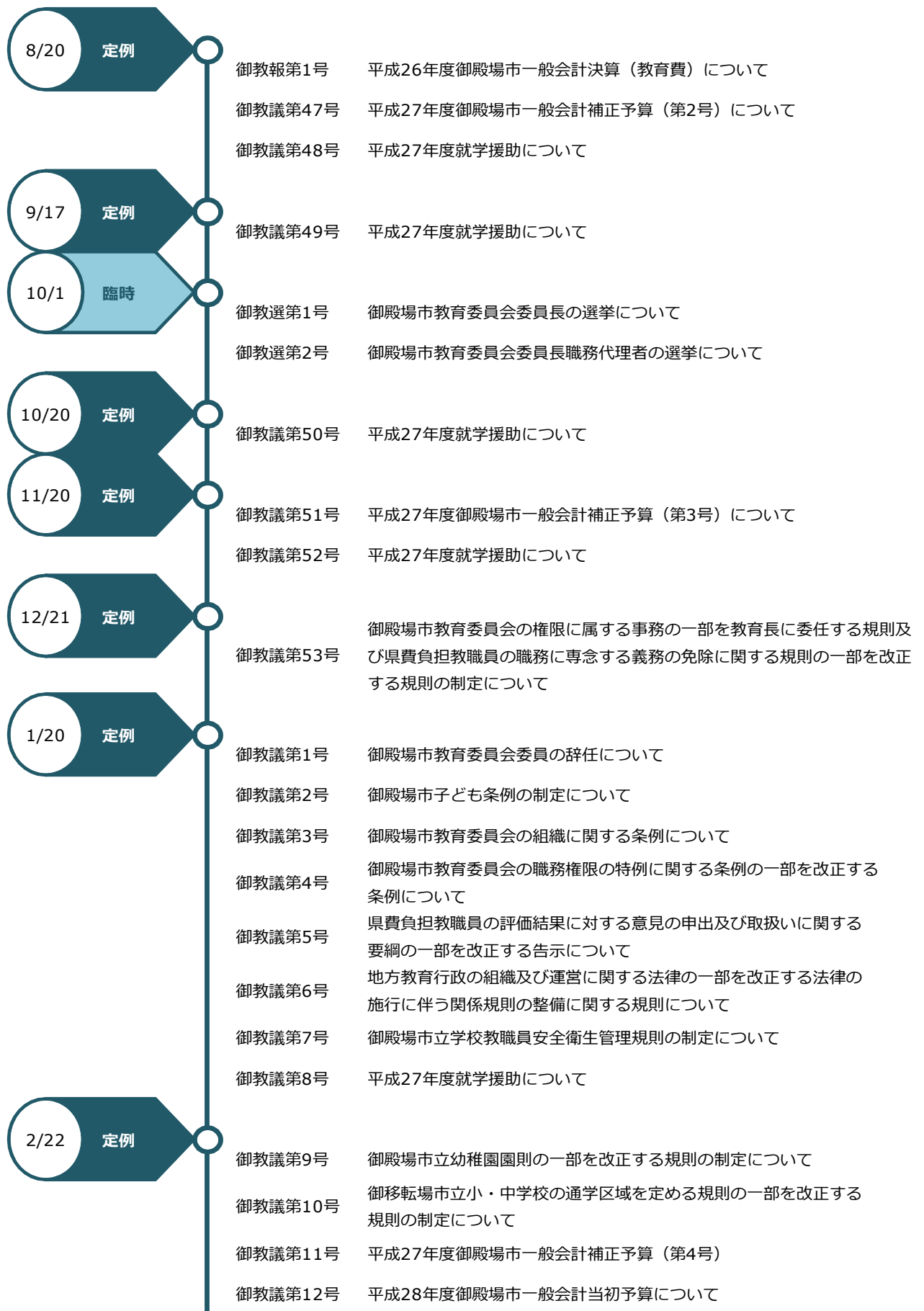
4 歴代教育長

氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
勝又 秀丸	S30.3.13	～ S39.9.30	吉川 桂二	H8.10.1	～ H12.9.30
土屋 一夫	S39.10.1	～ S47.9.30	細谷 旭	H12.10.2	～ H16.9.30
土屋 隆	S47.10.1	～ S55.9.30	三井 米木	H16.10.1	～ H24.9.30
芹澤 栄一	S55.10.1	～ S63.9.30	勝又 将雄	H24.10.1	～ H28.3.31
鈴木 賢治	S63.10.1	～ H8.9.30	※勝又 将雄	H28.4.1	～ 現在

※平成27年4月1日から施行された改正地方教育行政法による新たな教育委員会制度への移行に伴い、平成28年4月1日より新教育長に任命された。

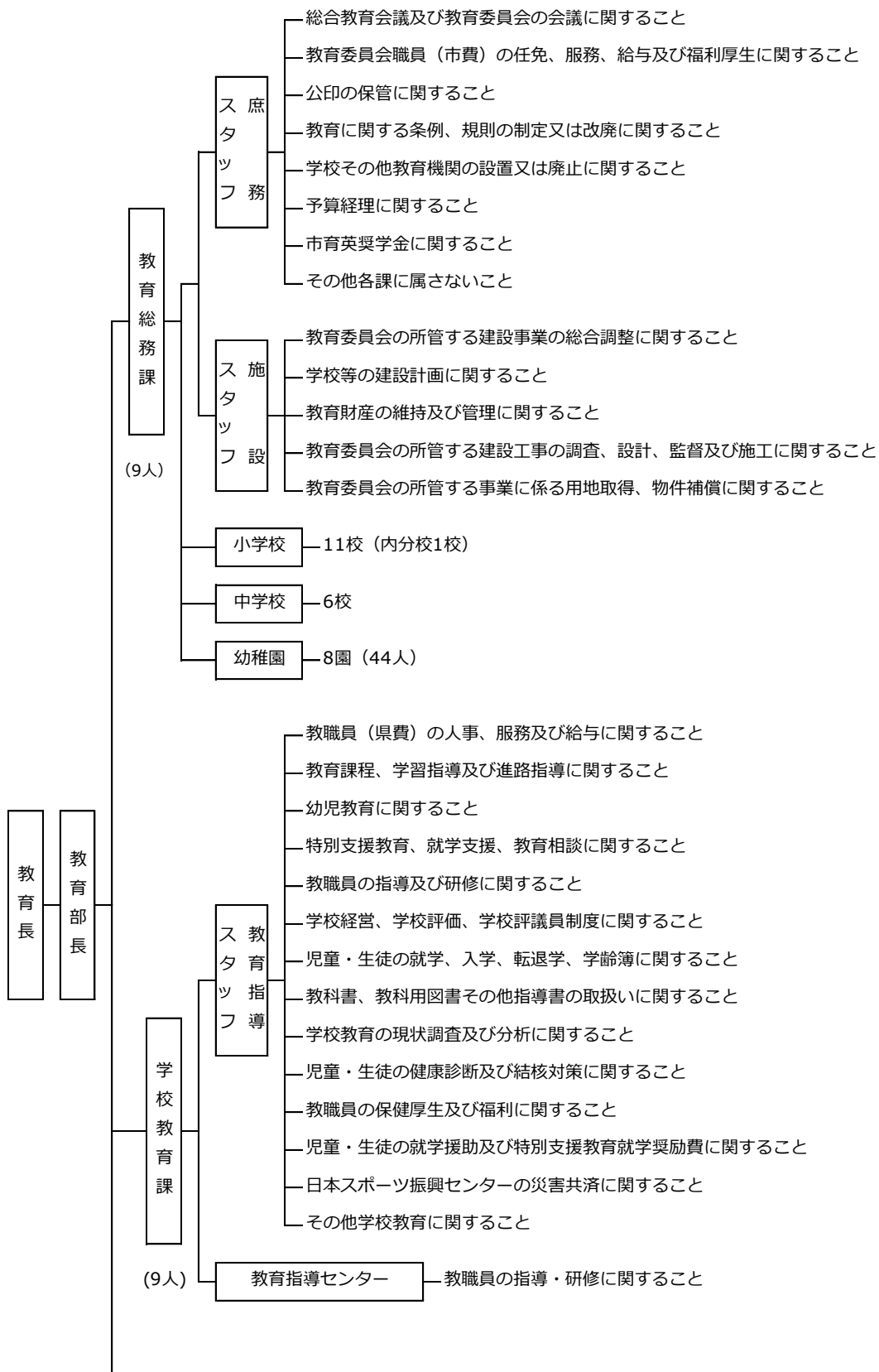
5 平成27年度教育委員会会議

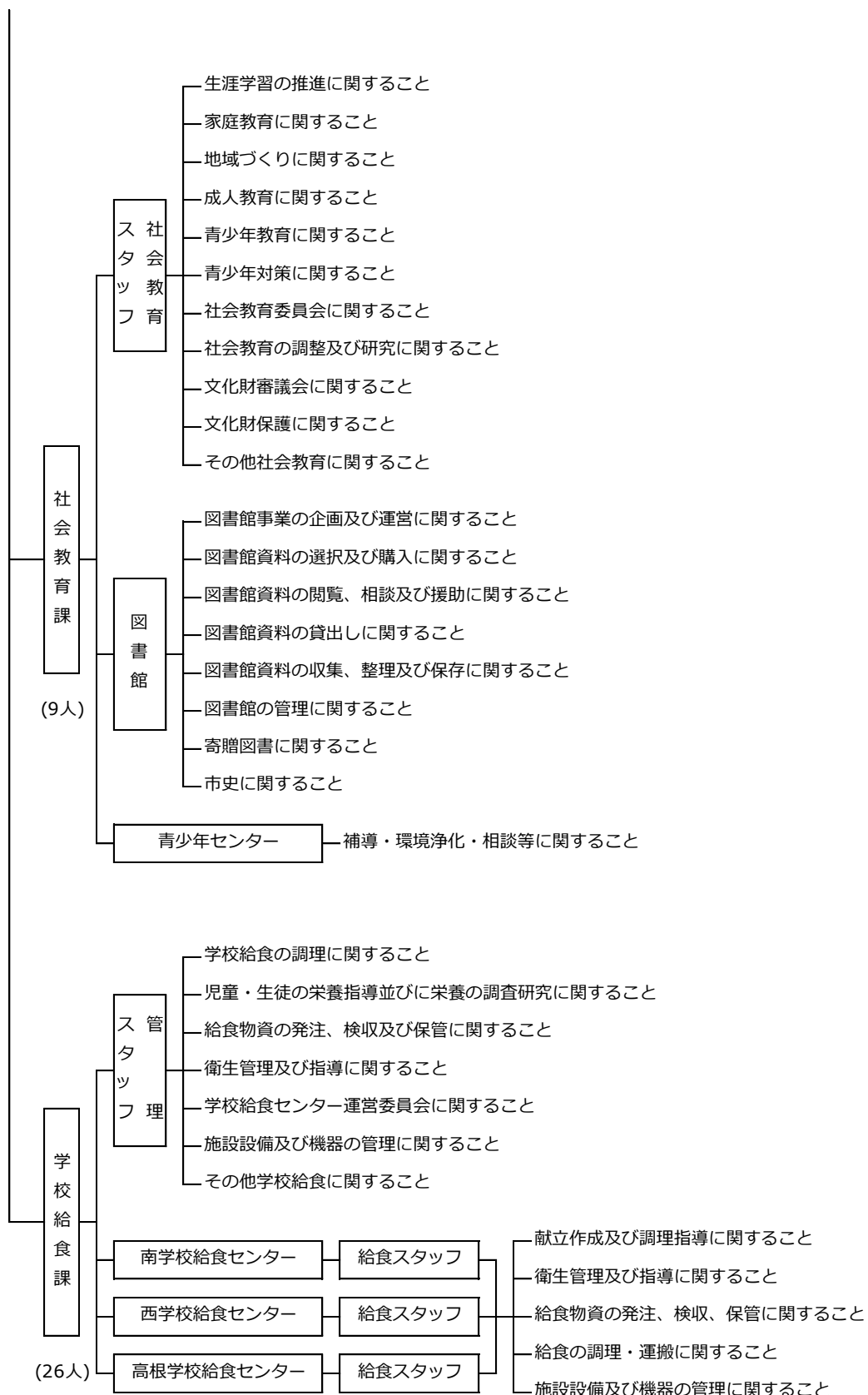
4/20 定例	御教議第21号	平成27年度教育施策について
	御教議第22号	御殿場市社会教育委員の委嘱について
	御教議第23号	平成27年度就学援助について
5/25 定例	御教議第24号	御殿場市スポーツ推進審議会委員の委嘱又は任命について
	御教議第25号	御殿場市立学校設置審議会委員の委嘱について
	御教議第26号	(仮称)御殿場市子ども条例策定庁内検討委員会設置規程の制定について
	御教議第27号	(仮称)御殿場市子ども条例懇話会要綱の制定について
	御教議第28号	御殿場市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第29号	御殿場市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第30号	御殿場市教育委員事務局処務規則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第31号	御殿場市教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第32号	御殿場市就園支援委員会委員の委嘱又は任命について
	御教議第33号	御殿場市就学支援委員会委員の委嘱又は任命について
	御教議第34号	御殿場市学校結核対策委員会委員の任命について
	御教議第35号	御殿場市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について
	御教議第36号	御殿場市いじめの防止対策推進委員会委員の委嘱又は任命について
	御教議第37号	平成27年度就学援助について
6/22 定例	御教議第38号	御殿場市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
	御教議第39号	御殿場市子ども読書活動推進会議委員の委嘱について
	御教議第40号	御殿場市立図書館協議会委員の委嘱について
	御教議第41号	平成27年度就学援助について
7/21 定例	御教議第42号	御殿場市立幼稚園園則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第43号	教科書採択について
	御教議第44号	平成27年度御殿場市教育委員会自己点検・評価について
	御教議第45号	平成27年度特別支援教育就学奨励費について
	御教議第46号	平成27年度就学援助について



	御教議第13号	御殿場市いじめの防止等対策推進委員会委員の委嘱取消について
	御教議第14号	御殿場市いじめの防止等対策推進委員会委員の委嘱について
	御教議第15号	平成28年度御殿場市教育委員会職員の仕事異動について
	御教議第16号	平成28年度県費負担教職員の仕事異動について
	御教議第17号	御殿場市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第18号	御殿場市教育委員会職員職名規則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第19号	御殿場市職員の仕事評価に関する規程の制定について
	御教議第20号	御殿場市仕事評価調整委員会規則の制定について
	御教議第21号	御殿場市立学校処務規程の一部を改正する訓令甲の制定について
	御教議第22号	御殿場市立学校出席停止の命令に関する要綱の一部を改正する告示の制定について
	御教議第23号	御殿場市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について
	御教議第24号	平成28年度就学援助について

6 教育委員会機構及び事務分掌





教育行財政

1 平成 28 年度御殿場市教育施策

第四次御殿場市総合計画における将来都市像である「緑きらきら、人いきいき、交流都市 御殿場」の実現に向けて、これまで脈々と受け継がれてきた当市の特色ある教育文化を誠実に受け継ぐとともに、「富士山のように大きな心を持った人づくり」に取り組み、地域と行政が一体となり、子供から大人までお互いに学びあうことで豊かな心を持ち、地域全体で文化が継承され、いきいきと暮らすことのできる人づくりを進めます。

生涯学習社会にあって、縦の接続と横の連携を組織化し、学校・家庭・地域社会がそれぞれの機能と役割を効果的に発揮できるような教育施策を推進します。また、めまぐるしく変化する現代社会では、知識や技能を主体的に習得し、活用できる人づくりが重要となることから、様々な学習機会の提供、情報発信に努めるとともに、学びあい、人を育む地域づくり活動を積極的に支援します。

さらに、次の時代を支える市民の基礎を培い、生きる力を育むために、学校教育においては、「豊かな感性 確かな知性 健やかな心身」の育成に努めるとともに、現代の重要課題としての、環境、防災・安全、国際理解、情報、キャリア、人権、健康等に関する教育を推進します。そのためには、「魅力ある学びづくり」「学びの見通しを活かした幼・保・小・中連携・一貫教育」「子どものニーズに応じた特別支援教育の充実」「人間力・社会力を育てる心の教育の推進」を重点目標として教育活動を展開し、子ども、保護者、地域から信頼される開かれた学校づくりを進めます。

御殿場市の教育の伝統を尊重しつつ、市民一人ひとりが持ち味を十分に発揮する中で年代に相応した自己教育力の高揚と、自己実現が果たせるように、下記の重点施策を推進していきます。また、「さわやかなあいさつ運動」は引き続き日常生活の中で重点的に展開します。

重 点 施 策

1. 人間力と社会力を核とする心の教育を基本に、確かな学力の定着を図り、安心安全で魅力ある教育を推進する。
2. 生涯学習環境の充実と豊かな人づくり、地域づくりを進めるとともに、心豊かな青少年の育成を図る。
3. 国・県・市指定文化財などの保護と公開・活用を促進するとともに、世界文化遺産富士山の保全が確固たるものとなるよう県や環富士山の市町と広域的な連携を図るとともに、情報発信を推進する。
4. あらゆる種類の知識や情報を利用者が入手できるように「図書館の自由に関する宣言」と「ユネスコ公共図書館宣言 1994」を尊重して読書の普及や自発的な学習活動の支援をする。
5. 健康教育にふさわしい楽しい食習慣の育成と推進を図る。
6. 多様化する教育環境に対応した施設・設備の総合的な整備推進と活用を図る。

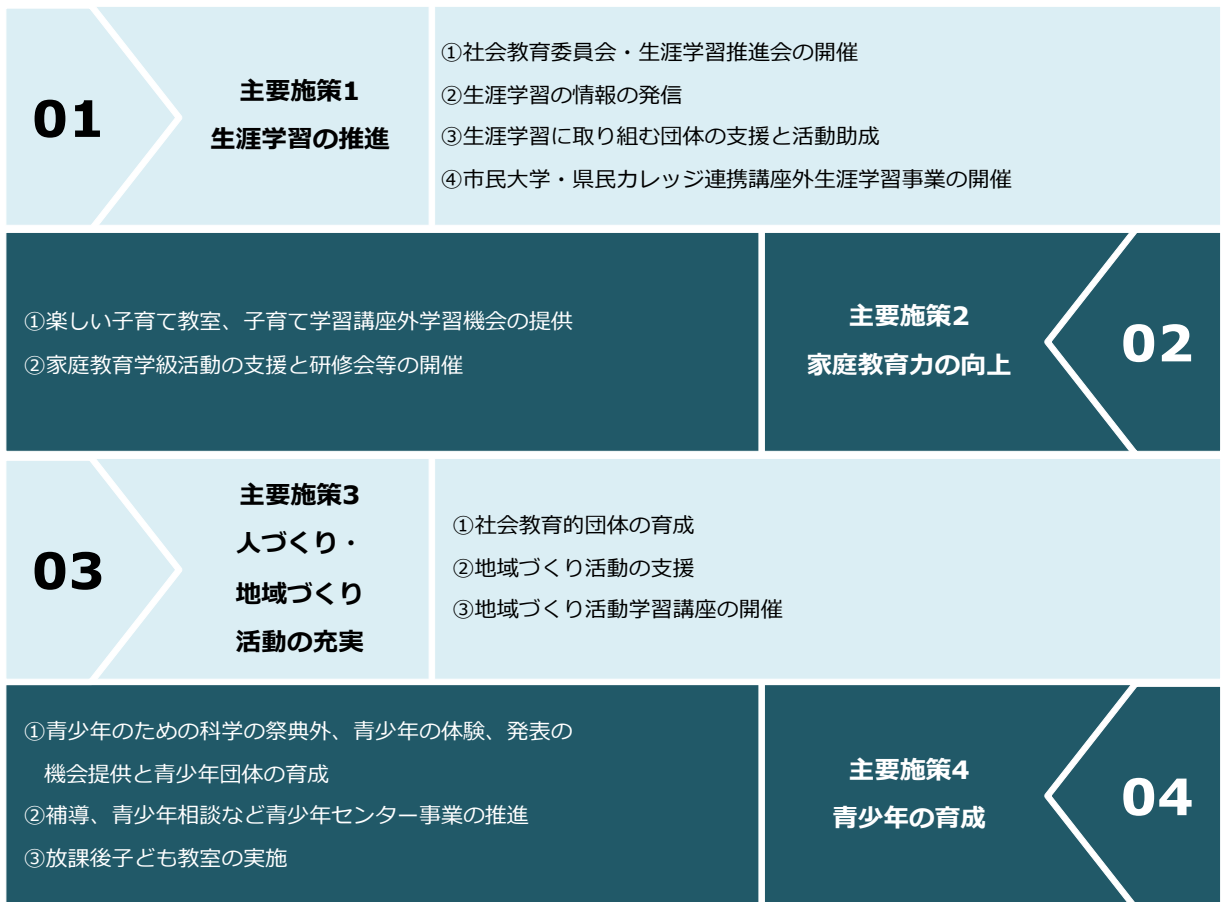
重点施策 第1

心の教育を基本に「こころざし」を育む魅力ある教育の推進（学校教育課）



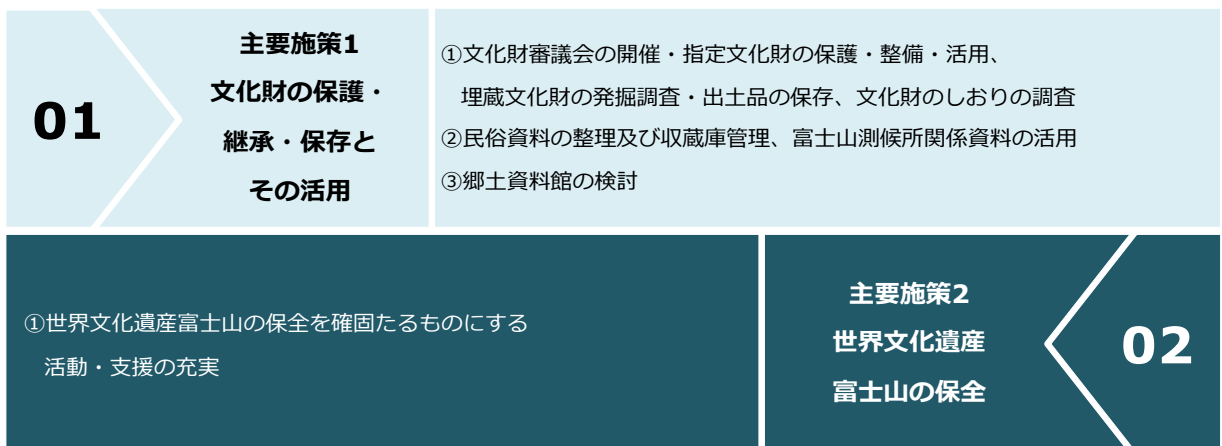
重点施策 第2

生涯学習環境の充実と豊かな人づくり、地域づくりの推進（社会教育課）



重点施策 第3

文化財の保護と活用（社会教育課）



重点施策 第4

読書の普及と自発的な学習活動の支援（社会教育課・図書館）



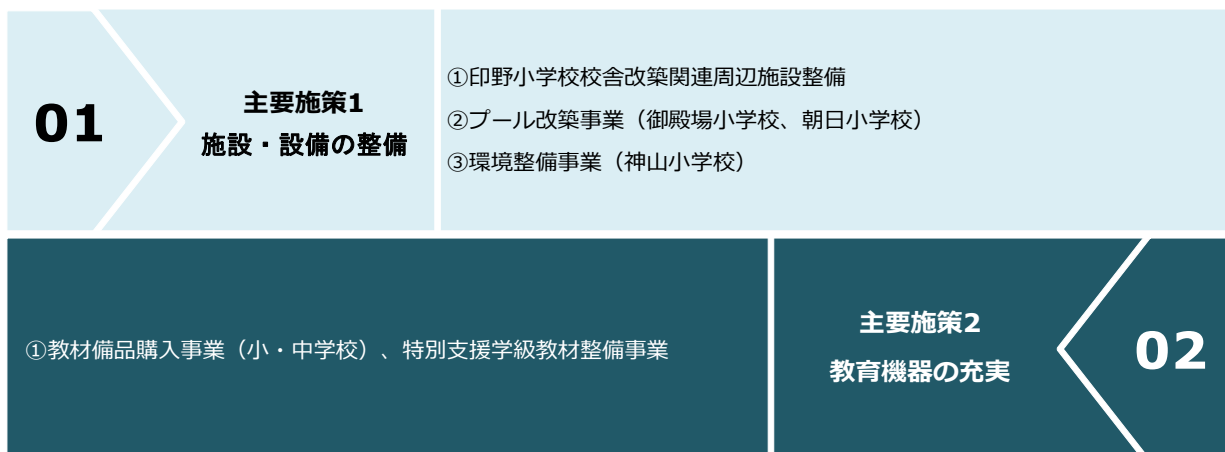
重点施策 第5

健康教育にふさわしい楽しい食習慣の育成と推進（学校給食課）



重点施策 第6

多様化する教育環境に対応した施設・設備の総合的な整備と活用（教育総務課）

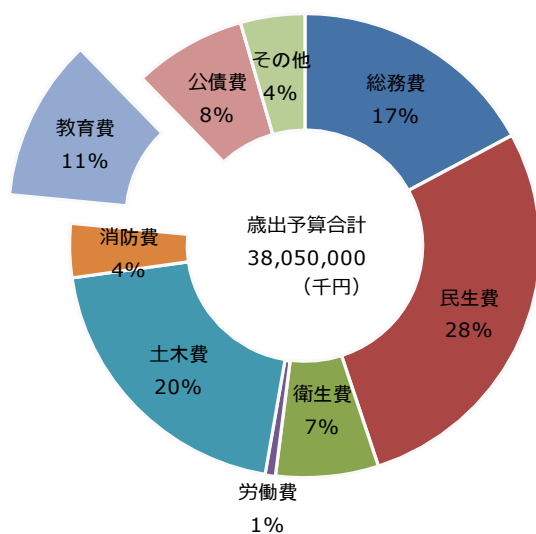


2 平成 28 年度御殿場市一般会計予算

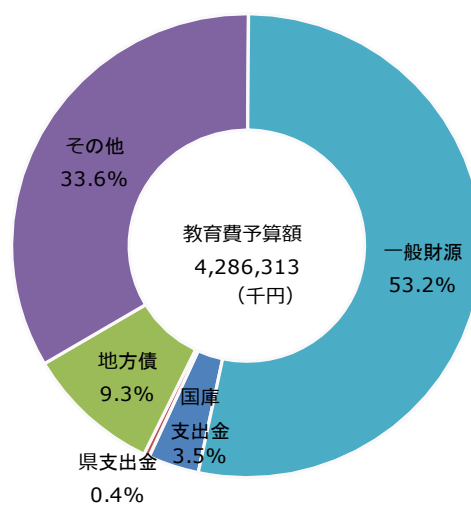
(単位：千円)

区分	本年度 予算額	前年度 予算額	本年度予算額の財源内訳			
			特定財源			一般財源
			国県支出金	地方債	その他	
議会費	234,710	278,058	0	0	0	234,710
総務費	6,518,516	6,762,477	313,579	1,373,200	1,765,587	3,066,150
民生費	10,580,474	10,664,525	4,291,125	3,600	1,252,463	5,033,286
衛生費	2,691,341	2,964,007	46,489	2,800	278,446	2,363,606
労働費	271,219	328,781	0	0	170	271,049
農林水産業費	839,877	824,439	247,808	44,800	119,299	427,970
商工費	535,999	492,072	40,053	0	102,550	393,396
土木費	7,634,082	7,149,530	2,050,197	1,401,300	1,610,899	2,571,686
消防費	1,424,092	1,361,446	51,097	31,300	122,190	1,219,505
教育費	4,286,313	3,654,018	167,120	398,500	1,439,328	2,281,365
災害復旧費	250	255	0	0	0	250
公債費	2,955,802	2,995,075	0	0	65,531	2,890,271
諸支出金	1	1	0	0	0	1
予備費	77,324	57,316	0	0	0	77,324
歳出合計	38,050,000	37,532,000	7,207,468	3,255,500	6,756,463	20,830,569

区分別歳出予算比率



教育費の財源内訳

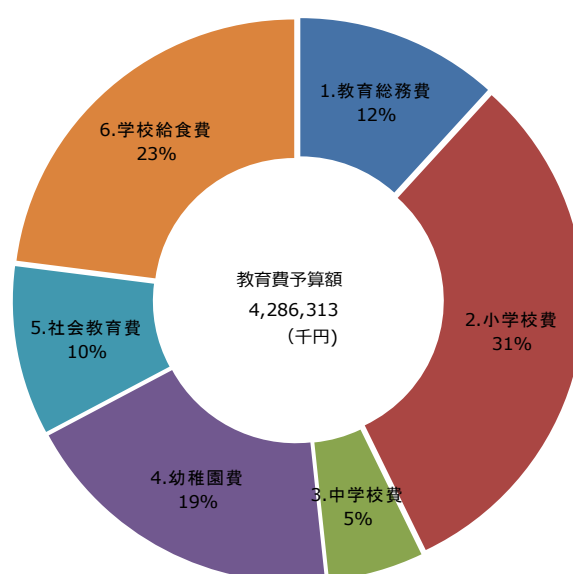


3 平成 28 年度教育費予算

(単位：千円)

	今年度 予算額	昨年度 予算額	昨年度比	特定財源			一般財源
				国・県支出金	地方債	その他	
10.教育費	4,286,313	3,654,018	632,295	167,120	398,500	1,439,328	2,281,365
1.教育総務費	501,498	485,716	15,782	0	0	69,940	431,558
1.教育委員会費	2,753	2,549	204	0	0	0	2,753
2.事務局費	258,199	249,228	8,971	0	0	42,405	215,794
3.教育指導費	240,546	233,939	6,607	0	0	27,535	213,011
2.小学校費	1,334,146	775,843	558,303	47,127	398,500	385,164	503,355
1.学校管理費	1,098,181	632,804	465,377	45,999	398,500	224,001	429,681
2.教育振興費	115,115	109,189	5,926	1,128	0	40,563	73,424
3.印野小学校校舎改築事業費	120,850	33,850	87,000	0	0	120,600	250
3.中学校費	235,707	302,594	66,887	697	0	31,699	203,311
1.学校管理費	156,474	227,644	71,170	0	0	10,507	145,967
2.教育振興費	79,233	74,950	4,283	697	0	21,192	57,344
4.幼稚園費	808,365	640,777	167,588	38,273	0	345,139	424,953
1.幼稚園費	764,974	598,614	166,360	27,570	0	345,139	392,265
2.私立幼稚園就園奨励費	43,391	42,163	1,228	10,703	0	0	32,688
5.社会教育費	422,017	459,313	37,296	81,023	0	154,785	186,209
1.社会教育総務費	321,839	354,929	33,090	80,888	0	147,843	93,108
2.文化財費	11,948	11,316	632	135	0	1,692	10,121
3.図書館費	88,230	93,068	4,838	0	0	5,250	82,980
6.学校給食費	984,580	989,775	5,195	0	0	452,601	531,979
1.給食センター運営費	984,580	989,775	5,195	0	0	452,601	531,979

区別歳出予算比率

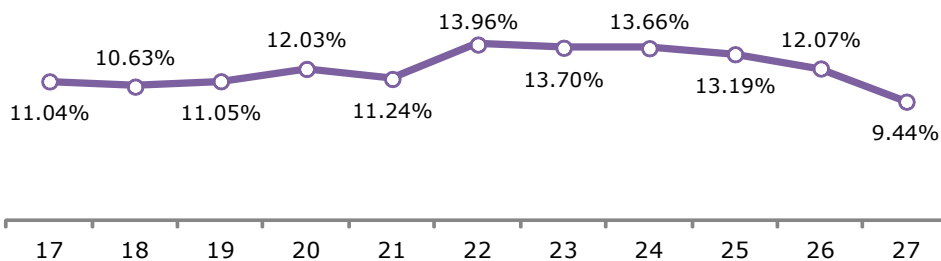


4 教育費の推移

(単位：千円)

年度	一般会計決算額	教育費決算額	比率
17	29,934,346	3,305,814	11.04%
18	31,166,637	3,312,065	10.63%
19	31,991,348	3,536,210	11.05%
20	31,934,935	3,842,279	12.03%
21	33,887,846	3,808,365	11.24%
22	35,492,893	4,953,195	13.96%
23	37,181,412	5,093,787	13.70%
24	34,925,755	4,772,460	13.66%
25	34,871,675	4,600,010	13.19%
26	34,398,000	4,150,999	12.07%
27	35,613,104	3,363,467	9.44%

※決算書より



5 児童・生徒一人当たりの教育費

(単位：円)

区分\年度	21	22	23	24	25	26	27
小学校費	88,809	225,865	375,145	380,988	358,387	225,543	135,326
中学校費	374,328	529,023	330,728	203,451	166,605	132,581	98,716
幼稚園費	405,804	417,168	454,021	433,406	538,934	485,052	637,171

※決算書より

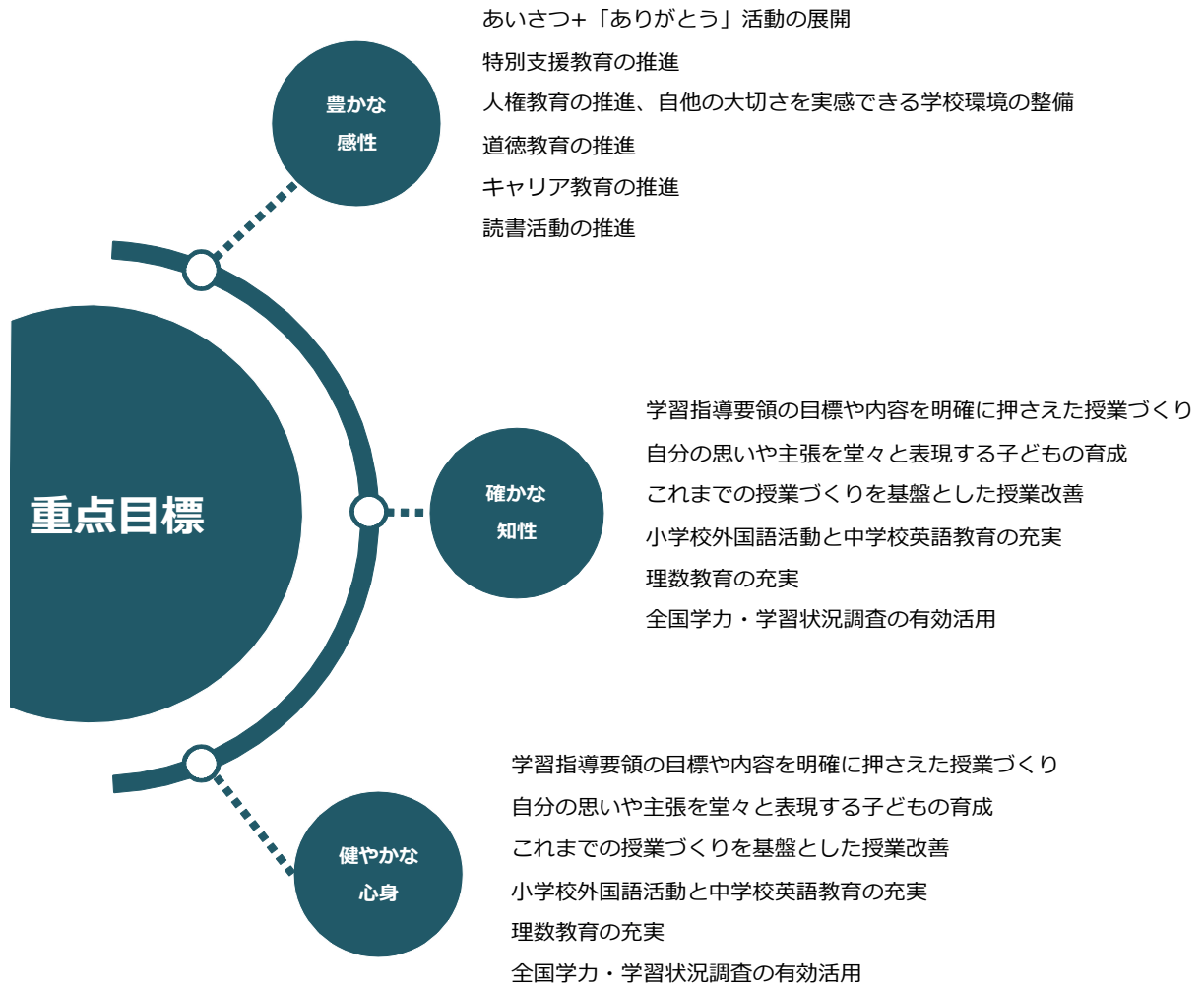
学校教育

1 学校教育

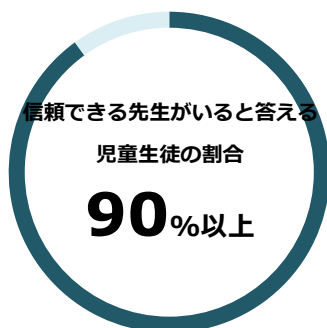
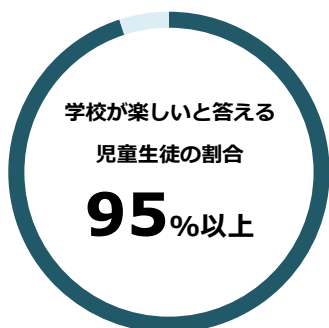
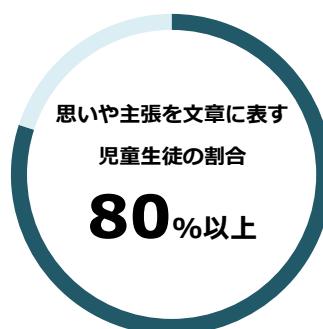
① 平成 28 年度御殿場市教育委員会学校教育課教育構想

◆目指す教育

人間力と社会力を核とする心の教育を基本に、確かな学力の定着を図り、安心安全で魅力ある教育を推進する。



◆重点目標達成率（平成 28 年度目標値）





御殿場市学校教育課グランドデザイン

平成 28 年度 御殿場市教育委員会学校教育課

基本目標

人間力と社会力を核とする心の教育を基本に、確かな学力の定着を図り、安心安全で魅力ある教育を推進する。

重点目標

豊かな感性

★価値ある体験、人との出会い、郷土の良さを学ぶことを通じて「誠実さ」「やる気」「思いやり」を身に付け、言葉や態度で表すことのできる子

気持ちのよい挨拶ができる 90%

進んでありがとうと言える 93%

目標に向かって努力する 90%

確かな知性

★学ぶ意欲をもち、基礎・基本を身に付け、学び合い、よく考え、それを表現できる子

学び合う経験ができた…… 80%

授業がわかる…… 90%

思いや主張を文章に表す 80%

健やかな心身

★元気に登校、楽しく生活し、友達と自分を大切にできる子

学校が楽しい…… 95%

信頼できる先生…… 90%

不登校出現率…… 1%以下

目標達成のための取組

あいさつ+「ありがとう」活動の展開

・市内生徒指導における教師の努力目標設定

特別支援教育の推進

- ・通常の学級における特別支援教育の充実
- ・個のニーズに応じた教育の質の向上
- ・特別支援学級における教育課程の共有・理解
- ・特別支援教育コーディネーターを核にした校内支援体制の充実と就学支援の早期対応
- ・校種間及び関係機関との連携
- ・巡回指導員との積極的な連携・活用
- ・特別支援学校との連携・協力

人権教育の推進

- ・人権教育指導資料の活用
- ・自他の大切さを実感できる学校環境の整備

道徳教育の推進、道徳授業の充実

- ・道徳教育推進教師の積極的活用
- ・心の教育副読本「ふじさんのように」の活用

キャリア教育の推進

- ・夢創造事業のより一層の活用

読書活動の推進

- ・読書量の確保と、読書の質の向上
- ・図書館経営の充実、図書館補助者の活用
- ・学校図書館運営協議会(年 2 回)の設定と活用

保護者・地域との信頼関係の構築

- 地域に開かれた学校
 - ・オープンスクール、学校たより、HP 等による積極的な情報発信
- 子どもの育ちを学校と家庭の両面から支える
 - ・社会におけるモラルやマナーの内面化(パートナーシップとしての参画の意識化)
- 地域と連携した「命を守る教育」の推進

学習指導要領の目標や内容の確実な押さえ

- ・身に付けさせたい力を明確にした授業づくり
- 自分の思いや主張を堂々と表現する子どもの育成
- ・作文や手紙、発表の形で書いたり話したりする場の意図的な設定

これまでの授業づくりを基盤とした授業改善

- ・授業改善の 3 つの視点を押さえ、基礎・基本の確実な定着
- ・ICTの活用 情報モラル教育の推進
- ・35 人学級でのより効果的な指導方法の工夫と補助者の有効活用

小学校外国語活動と中学校英語教育の充実

- ・ALT の効果的な活用

理数教育の充実

- 全国学力・学習状況調査の有効活用
 - ・学力向上委員会の設置
 - ・調査問題及び質問紙の分析と結果の活用

教職員の資質向上

- 教育指導センターの充実と効果的な運営
- 市の研究指定校を核とした研究推進と自主的な研究発表会への支援
- 指導主事の積極的な派遣による校内研修の活性化
- 子ども理解に基づく授業づくりへの支援
- キャリアに応じた研修の充実
 - ・御殿場市教育フォーラムの実施
 - ・希望参加型伝承研修会(架け橋)の実施
 - ・教育研究論文への計画的な応募
- 組織の活性化と学校経営の安定性のバランス確保
- 教職員一人一人の経営力、マネジメント力の養成
- 先輩教員からの学び

積極的な生徒指導の展開

- ・心の居場所づくり(学校・学級)
- 教育相談体制の充実
 - ・市 SSW、学校教育相談員、市教育相談員、SC 等との積極的な連携・活用

組織として機能する生徒指導

- ・子育て支援課、民生児童委員等、その他関係機関との連携(ケース会議の活用)

運動習慣の定着

- ・運動時間の確保、体力づくりの充実

責任を持って働く場づくり

- ・清掃や係活動、奉仕活動等の充実

健康教育の推進

- ・食育、性教育の推進や生活習慣の確立

学校保健安全委員会の充実

- 学校専門医制度の活用実施

冊子『育ちゆく子ら』の活用

- 冊子『育ちゆく子ら』の活用

幼小中連携・一貫教育の推進

- 中学校区を単位として、育ちの目標(15 歳義務教育終了時の姿)を描き、12 年間の成長のイメージを共有する
- 連携・一貫の縦糸となる重点的な目標と取組を明確にし、特色ある教育課程を編成
- 教職員、幼児、児童生徒の積極的な交流
- 自己評価、学校関係者評価を活用した教育課程の改善と組織力の向上
- 家庭や地域との連携を密にした取組の充実

③ 平成 28 年度事業一覧表

事業名	内容	予算 (千円)
健康管理事業	学校教育法及び学校保健安全法による園児・児童・生徒定期健診、次年度の入園・入学予定者に入園児・就学时健康診断を実施する。並びに、教職員を対象とした生活習慣病健診・指定年齢健診・人間ドックを実施する。	28,428
教育相談事業	いじめ問題や不登校児童・生徒の解消を図るため、中学校区ごとに相談員を配置し、児童・生徒の悩み等を聞いて励ます体制を整え、元気に登校できるよう支援活動を実施する。また、子どもを取り巻く環境に着目し、問題解決に向かう方策を立てるスクールソーシャルワーカーを配置する。	10,828
外国人児童生徒 適応指導事業	小・中学校に在籍する外国人を対象に日本語指導、日常生活への適応指導・相談活動等のできる指導員を 3 名派遣し、学校生活への円滑な適応を図る。	3,000
学校教育充実事業	特別支援学級・情緒通級指導教室・保健室・学校図書館補助者を各小中学校に配置し、学校教育充実を図る。	58,781
特別支援教育 推進事業	通常の学級に在籍する発達障害の児童生徒の把握と支援のための一環として、教育委員会に専門家チームを組織し、特別支援巡回指導員を交え、各学校の個別支援計画をより精度の高いものにするための指導助言をする。	969
発達障害児支援事業	通常の学級に在籍する発達障害児の中で、特別な支援を必要とする児童生徒の多い学級に支援員を派遣し、個別の支援を行う。	30,036
魅力ある学びづくり 推進事業	多忙化する教職員が児童生徒一人ひとりと向き合う時間を確保できるよう、事務的な業務を支援する臨時職員を大規模校中心に配置する。	7,732
教育指導センター事業	教職員の授業力や指導力の更なる向上のため、教育指導員が学校を訪問し、個人への指導・支援を行う。また、本市の教育力向上のための調査分析等を行う。(学校教育課内に設置)	7,325

事業名	内容	予算(千円)	
夢創造事業	心豊かな人づくりを目的とし、講演会や鑑賞会、体験活動等、各学校が子どもの実態に基づき特色ある事業を実施し、情操教育や生き方教育の有効な手立てとする。	2,720	
教育研究指定校交付金 交付事業	特別支援教育 研究指定校	南中学校を指定校としてインクルーシブ教育システムの構築をめざし、どの子にとっても「わかる授業」「学びの実感がある授業」づくりを軸に関わり合いの中で生徒の自尊感情を高めていくための効果的な支援のあり方を研究する。	82
	魅力ある 学校づくり 研究指定校	印野小学校・玉穂小学校・西中学校を指定校とし、幼・小・中一貫教育の視点に立った魅力ある学校づくりについて研究する。	246
	学力向上・ 授業改善 研究指定校	御殿場南小学校を指定校とし、学力向上・授業改善における指導方法やカリキュラム等について先進的な研究を行う。	82
	外国人英語指導者（ALT） 配置事業	市内6中学校・10小学校に、外国人指導者（ALT）9名をそれぞれ派遣し、英語教育の充実を図るとともに、いろいろな場面で身近に外国人と接し、コミュニケーション能力を高め、国際感覚を養成する。	40,389
多人数学級支援事業	多人数学級（36人以上）に教科指導・生活指導を行う支援員を派遣し、児童生徒にきめ細やかな指導と支援をする。	6,658	
幼児教育支援事業	幼児教育の充実、幼稚園・保育園・小学校との連携、家庭教育の在り方についての推進を図る。	202	

④ 学校・園一覧（平成 28 年 5 月 1 日現在）

【幼稚園】

御殿場幼稚園				
住所	〒412-0042 二枚橋 260-1	3 歳児	男子 43 人 女子 42 人	
電話	82-0037	4 歳児	男子 59 人 女子 32 人	
園長	長田 幸子	5 歳児	男子 46 人 女子 56 人	
教頭	大屋 美佐	職員数	24 人	

園教育目標

心も体も元気いっぱい！

重点目標

友達と一緒にやってみよう

具体策

- 人とかかわる力を育てる保育
 - ・挨拶でかかわりの基礎を身に付ける
 - ・伝え合いの場の充実
 - ・大規模幼稚園のよさを生かした保育
- 主体的に遊びだせる保育
 - ・子どもたちが自ら遊び出したくなる環境構成
 - ・つながりのある遊びの展開
- たくましさを育てる保育
 - ・試行錯誤する遊び
 - ・年齢や発達に応じた体力や技能を身に付ける

研究主題

やってみようとする意欲を育む保育の工夫

原里幼稚園

住所	〒412-0045 川島田 1917-2	3 歳児	男子 17 人	女子 14 人
電話	89-0766	4 歳児	男子 19 人	女子 10 人
園長	芹澤 ゆき子	5 歳児	男子 13 人	女子 33 人
教頭	—	職員数	11 人	

園教育目標

やってみようとする子

重点目標

本気で遊ぼう！

具体策

- 絵本を通して育てる豊かな心
- 主体性を育む豊かな環境づくり
- 人とかかわる豊かな体験

研究主題

絵本と体験をつなげ、豊かな心と体を育む保育の工夫

原里西幼稚園

住所	〒412-0048 板妻 101-6	3 歳児	男子 5 人 女子 4 人
電話	89-2118	4 歳児	男子 7 人 女子 11 人
園長	田代 一美	5 歳児	男子 6 人 女子 8 人
教頭	—	職員数	8 人

園教育目標

心も体も元気な子

重点目標

幼児自ら意欲をもってやってみる子

具体策

○かかわり力の育成

- ・あいさつ、基本的な生活習慣
- ・異年齢交流
- ・集団生活のルール
- ・幼、保、小、中との交流

○意欲を育む遊びや活動の充実

- ・自然環境を生かした遊びの工夫
- ・栽培体験
- ・園外保育

○家庭・地域との連携

- ・地域の人たちとの交流
- ・保護者の教育活動への参加等

研究主題

思いを素直に出し、かかわり合える子を育てるための保育の工夫

玉穂幼稚園

住所	〒412-0006 中畑 426-1	3 歳児	男子 26 人 女子 25 人
電話	89-2226	4 歳児	男子 25 人 女子 34 人
園長	渡邊 公美	5 歳児	男子 14 人 女子 30 人
教頭	滝口 美香	職員数	13 人

園教育目標

意欲をもってやってみる子

重点目標

自分らしさを出そう

具体策

- 自己発揮体験
 - ・一人一人が自分の良さや得意なことを感じながら、自信をもって自己発揮できる子を育てる
- 人とかかわる豊かな体験
 - ・色々な人とかかわる体験をし、認め合える喜びや充実感を感じたり、思い通りにいかないもどかしさを感じたりしながらも、互いに刺激し合える関係作りをする
- 元気アップ体験
 - ・基本的な生活習慣の確立や遊びに必要な技能の習得をし、体力を向上できるように積み重ねていくことで、一人一人の力を伸ばし、じっくり活動できる子を育てる

研究主題

友達の良さを認め合える子を育てるための保育の工夫

富士岡幼稚園

住所	〒412-0037 中清水 119	3 歳児	男子 13 人 女子 10 人
電話	87-0642	4 歳児	男子 21 人 女子 17 人
園長	岩澤 弘子	5 歳児	男子 18 人 女子 19 人
教頭	—	職員数	13 人

園教育目標

心身ともにたくましい子

重点目標

自ら興味をもち、やってみようとする子

具体策

○学び合える遊びの体験

- ・ 試行錯誤する遊び
- ・ ともだちタイム
- ・ 聞く、話す力の育成

○感性を豊かにする体験

- ・ 園外保育や自然を活かした活動
- ・ 挨拶、ありがとう運動
- ・ 家族ふれあいデイ
- ・ 絵本読み聞かせ

○たくましさを育てる体験

- ・ チャレンジタイム
- ・ たくましい体作り（運動、食育）
- ・ 黙働（お手伝い）
- ・ 実体験の充実

研究主題

たくましい体と心を育む保育の工夫

森之腰幼稚園

住所	〒412-0045 川島田 451-3	3 歳児	男子 18 人 女子 20 人
電話	82-2593	4 歳児	男子 13 人 女子 16 人
園長	水口 美絵	5 歳児	男子 28 人 女子 14 人
教頭	芹澤 由美子	職員数	14 人

園教育目標

心も体も元気な子

重点目標

よく見て 聞いて 考える子

具体策

○学びを育む

- ・認め合いの場を大切にする
- ・発達段階に応じた素材教材の工夫
- ・友達と気持ちがつながる遊びや競い合い
- ・じっくり考えられる場作り

○ものや人とかかわる

- ・身近な自然環境をいかす
- ・見通しをもった飼育や栽培
- ・地域との交流
- ・異年齢交流

○体をつくる

- ・自立できる子をめざす
- ・体を動かす心地よさ
- ・親子共に育ち合う工夫
- ・園と家庭の結びつき
- ・地区一貫教育

研究主題

よく見て 聞いて 考える子を育てるための保育の工夫

竈幼稚園

住所	〒412-0039 竈 154-1	3 歳児	男子 2 人 女子 9 人
電話	83-4144	4 歳児	男子 5 人 女子 9 人
園長	望月 尚美	5 歳児	男子 7 人 女子 5 人
教頭	—	職員数	9 人

園教育目標

瞳きらきら かまどの子

重点目標

心豊かな意欲のある子を育てる

具体策

- 感性を豊かにする体験
 - ・身近な自然との触れ合い
 - ・花や野菜の栽培、収穫
 - ・道徳心を養う手立て
 - ・挨拶の向上
- 意欲を育むあそびの充実
 - ・遊びや体験、友達をつなぐための見通しをもった保育の促進
 - ・体を動かす遊びの充実
 - ・幼児理解と援助の工夫
 - ・異年齢交流の工夫
 - ・黙働、かかわりあいでの学び
- 家庭・地域との連携
 - ・地域との交流
 - ・保護者との連携

研究主題

心が動き体が動く保育の工夫

神山幼稚園

住所	〒412-0033	3歳児	男子4人 女子4人
電話	87-1199	4歳児	男子5人 女子9人
園長	伊藤 昭子	5歳児	男子10人 女子12人
教頭	—	職員数	8人

園教育目標

意欲をもって取り組む子

重点目標

やってみる子

具体策

- 遊びこめる環境をつくろう
- 人の力を活かそう
- 生きる力を伸ばそう

研究主題

あそびこめるつながりのある保育の工夫

【小学校】

御殿場小学校

住所	〒412-0042 萩原 361-1	1年	191人	6学級
電話	82-0100	2年	155人	5学級
校長	高橋 正彦	3年	165人	5学級
教頭	勝又 浩	4年	168人	5学級
県費教職員数	47人	5年	138人	4学級
市費教職員数	7人	6年	134人	4学級
		特別支援学級	10人	2学級

学校教育目標

進んで学び 高め合う 御小の子

重点目標

ちょうせんしょう！やりぬこう！

経営の重点

教科指導

- 分かる授業の追求と学力の定着
- 学びの御小スタイルの活用
- 家庭学習の充実
- 読書活動の質の向上

教科外指導

- キャリア教育の推進
- 心を育てる授業と心を育てる実践活動（言葉遣い、挨拶、黙働）
- 温かで活気のある学級・学年づくり

学校運営

- 学年を縦軸、3部会を横軸にした学校運営
- 「報連相報」の徹底
- 積極的に学校を開き、保護者・地域との連携を進める
- 個に応じた支援の実施

研究分野・教科等

学習指導

研究主題

考えを伝え合い 共に深め合う子の育成

御殿場南小学校

住所	〒412-0045 川島田 580	1年	122人	4学級
電話	82-0911	2年	151人	5学級
校長	小林 博之	3年	159人	5学級
教頭	佐藤 きよ恵	4年	119人	4学級
県費教職員数	40人	5年	140人	4学級
市費教職員数	6人	6年	127人	4学級
		特別支援学級	7人	2学級

学校教育目標

共に学び 進んで挑戦 思いやりいっぱい南っ子

重点目標

授業（夢中になって学ぶ）、黙働（進んで黙働）、あいさつ（気持ちを込めてあいさつ）

経営目標

- ・学ぶ意欲を育み確かな学力をつける学校
- ・どの子にももの視点に立って特別支援教育を大切にする学校
- ・安全安心に力を尽くす学校

経営の重点

- 授業「自ら考え、進んで発表」80%
 - ・伝え合い、練り合い、深め合う
 - ・常に？を持って追求
- 黙働「進んで黙働」85%
 - ・気づいて行動
 - ・他の活動に黙働を活かす
- あいさつ「進んであいさつ」95%
 - ・気持ちを込めたあいさつ
 - ・相手の立場に立って考え、行動する

研究分野・教科等

学力向上・授業改善（市指定研究） 国語科

研究主題

思いや考えを伝え合い、進んで学びを深める子の育成

富士岡小学校

住所	〒412-0035 中山 161	1 年	118 人 4 学級
電話	87-1006	2 年	93 人 3 学級
校長	瀬戸 亮策	3 年	81 人 3 学級
教頭	鈴木 弓子	4 年	93 人 3 学級
県費教職員数	36 人	5 年	113 人 4 学級
市費教職員数	7 人	6 年	90 人 3 学級
		特別支援学級	17 人 3 学級

学校教育目標

共に伸びる子

重点目標

みがく「みんなで がんばる あつくなる」

経営目標

「来たくなる学校」～学ぶ喜び 笑顔 規律がある学校～

①子どもが主役で活躍する ②教職員が協働する ③一貫研を地域に根ざす ④凡事徹底する

経営の重点

○知性をみがく子（授業が楽しい 95%）

- ・基礎学力を確実に身に付ける
- ・かかわりあう中で 友達に自分の考えを分かりやすく説明できる 聴ける
- ・「×10 分」集中して家庭学習
- ・忘れ物を無くす

○感性をみがく子（挨拶すると気持ちよい 95%）

- ・元気に進んで「あいさつ」「ありがとう」が言える
- ・「みがく貯金」で自他の頑張りを認め合える
- ・学校や地域の行事に楽しんで参加する
- ・家庭での読書に親しむ

○心身をみがく子（黙働すると気持ちよい 95%）

- ・目あてを持って朝運動する
- ・清掃、集会、教室移動、給食の準備は黙って行動する
- ・下駄箱の靴を揃える
- ・学校や登下校の約束を進んで守る

研究分野・教科等

学習指導 幼保小中・連携一貫教育

研究主題

共に学び合い、思いや考えを豊かにする子の育成～聴き合い、伝え合うことを通して～

神山小学校

住所	〒412-0033 神山 478-2	1年	71人	3学級
電話	87-0030	2年	92人	3学級
校長	横川 幸次郎	3年	73人	2学級
教頭	川崎 寿	4年	80人	3学級
県費教職員数	26人	5年	103人	3学級
市費教職員数	5人	6年	100人	3学級
		特別支援学級	5人	1学級

学校教育目標

温かく たくましく 磨き合う 神山の子

重点目標

いつもえがおで

経営目標

- ・子どもたちが、目を輝かせて学び合う学校づくり
- ・教職員が、つながりあい、高め合う学校づくり
- ・保護者・地域と信頼し合う学校づくり

経営の重点

1. あいさつ・ありがとうを進んで言える子 90%
2. 運動に前向きに挑戦する子 90%
3. 分かるまで学びを追求する子 90%
4. 保護者・地域に信頼される学校 90%

研究分野・教科等

特別支援教育 学習指導法

研究主題

「目を輝かせて学び合う子の育成」
～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり～

原里小学校

住所	〒412-0045 川島田 1902	1 年	91 人	3 学級
電話	89-0458	2 年	109 人	4 学級
校長	武田 麻里子	3 年	93 人	3 学級
教頭	杉山 道博	4 年	105 人	3 学級
県費教職員数	37 人	5 年	91 人	3 学級
市費教職員数	6 人	6 年	135 人	4 学級
		特別支援学級	10 人	2 学級

学校教育目標

「自分を創る原里の子」目標に向かって努力する

重点目標

- 「やる気」 ～本気で学びに取組追求する・進んで表現する
- 「思いやり」 ～積極的に人と関わる・多面的な見方をする
- 「元気」 ～進んで体を鍛える・健康安全の自己管理ができる

経営目標

安全・安心・楽しい学校

- 【1】 学ぶ意欲を持ち、確かな学力の定着を図る学校づくり
- 【2】 自己肯定感と規範意識を育む学校づくり
- 【3】 開かれた学校づくり

経営の重点

- 【1】 本気で学びに取り組み追求する・目標に向かって努力する
- 【2】 多面的な見方をする
- 【3】 自分と友を大切にす・積極的に人と関わる
- 【4】 進んで体を鍛える・健康安全の自己管理ができる
- 【5】 施設や環境の整備

研究分野・教科等

学習指導 窓口「国語・算数」

研究主題

自ら考え共に追求し学び続ける子
～課題解決型の授業と、それを補う ICT の活用～

玉穂小学校

住所	〒412-0006 中畑 441	1年	78人 3学級
電話	89-0545	2年	94人 3学級
校長	岩瀬 和代	3年	82人 3学級
教頭	小山 志保	4年	70人 2学級
県費教職員数	30人	5年	85人 3学級
市費教職員数	7人	6年	62人 2学級
		特別支援学級	26人 5学級

学校教育目標

富士に学ぶ玉穂の子

- ・富士山のように、高い目標を持って学習する子
- ・富士の裾野のように、心の広い子
- ・富士のように、たくましく健康な子

重点目標

『BEST』な玉穂っ子 → B(Big voice) E(Eye contact) S(Smile) T(Try)

B (元気な声で挨拶・返事・発表)

E (みんなで心を合わせて協力する仲間)

S (笑顔いっぱい仲良く生活する仲間)

T (自分の目標に最後までチャレンジしてじまんをつくる)

経営の重点

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| ①楽しい学校 | 【社会力】 学校が楽しい子 (90%) |
| ②授業が分かる学校 | 【授業力】 授業がわかる子 (90%) |
| ③居場所のある学校 | 【人間力】 先生は自分のことを考えてくれる (90%) |
| ④信頼される学校 | 【教師力】 先生は相談にのってくれる (90%) |
| | 学校は子どもに適切な指導をする (90%) |

研究分野・教科等

学習指導

研究主題

「論理的に思考する子」
 ～よく聴き、話し、学び合う授業づくりを通して～

印野小学校

住所	〒412-0008 印野 1710	1 年	16 人 1 学級
電話	89-2533	2 年	24 人 1 学級
校長	青木 元広	3 年	27 人 1 学級
教頭	勝村 由加利	4 年	18 人 1 学級
県費教職員数	12 人	5 年	20 人 1 学級
市費教職員数	3 人	6 年	22 人 1 学級
		特別支援学級	3 人 1 学級

学校教育目標

大地に生きる印野の子

重点目標

やさしさいっぱい がんばりいっぱい

経営目標

かかわり合っかがやく学校づくり

- ①思いやり合う学校：すすんであいさつ、ありがとうが言える子
自分のめあてに向かって挑戦し、やり抜く子
- ②伝え合う学校：話をよく聞き、自分の考えを伝える子

経営の重点

- (1)生活安全部：心身ともに元気に生活し、自他を思いやる子の育成
 - ・元気なあいさつ、ありがとうが言える子 90%
 - ・目標をもって運動する子 90%
- (2)学習指導部：学ぶ意欲を持ち、考え合い伝え合う子の育成
 - ・授業がわかる子 90%
 - ・自分の考えを伝える子 80%
- (3)特別活動部：印野小ならではの価値ある体験活動を通して、「やる気」「思いやり」を表現できる子の育成
 - ・学校が楽しいと思う子 90%
 - ・自分のめあてに挑戦し、やり抜く子 90%

研究分野・教科等

学習指導

研究主題

「すすんで思いを伝え合える子」
～どの子も表現したくなる学習活動の工夫を通して～

高根小学校

住所	〒412-0017 塚原 38-5	1年	(本校) 28人 1学級 (分校) 12人 1学級
電話	(本校) 82-1003 (分校) 89-3632	2年	(本校) 40人 2学級 (分校) 8人 1学級
校長	菅沼 博之	3年	44人 2学級
教頭	中根 洋一	4年	47人 2学級
県費教職員数	23人	5年	47人 2学級
市費教職員数	4人	6年	45人 2学級
		特別支援学級	2人 1学級

学校教育目標

よい子 学ぶ子 じょうぶな子

重点目標

みっつのじまん高根の子 あいさつじまん・まなびじまん・やりぬくじまん

経営目標

- (1)あいさつ、思いやりあふれる学校づくり
- (2)基礎基本の定着と伝え合う授業づくり
- (3)めあてに向かって最後までやりぬく子どもの育成

経営の重点

- (1)安心安全な学校を第一に、子どもが本気で学び、楽しさのある学校づくりをする。
- (2)職員が一丸となり、活気に満ちた学校づくりをする。
- (3)人との出会いを大切に、生きていくために必要な生活態度を育てる学校づくりをする。

【知】「確かな学力」の育成

【徳】徳のある人間性の育成、キャリア教育の推進

【体】健やかでたくましい心身の育成

研究分野・教科等

学習指導・保小中連携一貫教育

研究主題

「自身を持って、自分の思いや考えを生き生きと表現できる子どもの育成」

朝日小学校

住所	〒412-0045 川島田 84-1	1年	68人 2学級
電話	84-0188	2年	66人 2学級
校長	内藤 成彦	3年	82人 3学級
教頭	百々 由美	4年	75人 3学級
県費教職員数	28人	5年	58人 2学級
市費教職員数	4人	6年	66人 2学級
		特別支援学級	2人 1学級

学校教育目標

あさひの花を咲かせよう

重点目標

「一生けんめいになろう」

【健やかな体】すすんで動き、働き、一生けんめいきたえる子

【豊かな心】人のために一生けんめいになれる子

【確かな学力】自分を伸ばそうと一生けんめい学ぶ子

経営目標

- (1)特別支援教育の考えを土台に、誰もが喜びとやりがいを感じる授業づくりをする。
- (2)よりよい人間関係を結ぶために、子どもを地域や家庭と結び付け、一貫・連携した教育活動を行う。
- (3)各自が自分の立場を自覚し、信頼関係を基盤に協働する学校（チーム朝日）づくりをする。

経営の重点

1 健やかな体

- ・あさがおいさつ…自分から元気に気持ちよい挨拶ができる～90%
- ・あさがおマラソン

2 豊かな心

- ・さくら清掃（黙働）…黙働清掃ができる～90%
- ・さくらボランティア

3 確かな学力

- ・ひまわり授業
- ・ひまわり読書…進んで読書ができる～90%※毎月23日を家庭読書の日に設定

研究分野・教科等

国語・特別支援教育

研究主題

「聴いて 考えて 伝えよう」

よく聴き、考え、自分の思いを生き生きと伝える子の育成

東小学校

住所	〒412-0027 西田中 310	1年	61人 2学級
電話	83-0415	2年	65人 2学級
校長	柴田 敬紀	3年	93人 3学級
教頭	長澤 広志	4年	61人 2学級
県費教職員数	22人	5年	63人 2学級
市費教職員数	5人	6年	72人 2学級
		特別支援学級	9人 2学級

学校教育目標

人にやさしく ものにやさしく 自分にきびしく

重点目標

やる気いっぱい やさしさいっぱい

～笑顔あふれる 明るい学校を目指して～

経営目標

- 子どもが主体的に追求し、学び合う楽しさを実感できる授業づくりに取り組む。
- 笑顔で挨拶・言葉遣いを東小の伝統として継承し、よりよい人間を身につけるとともに、「良いところ見つけ」の実践を通して、自己感と自己有用感を高め、お互いを大切にすることを育てる。あらゆる場で「特別支援教育」の実践を深める。
- 活力があり何でも言い合えるチームとして、組織力と同僚性を大いに高め「教師力の向上」と「学校力の強化」を図る。

経営の重点

- (1)安心安全で楽しい学校づくり
- (2)地域、保護者とともに子どもを育てる信頼される学校づくり
- (3)学び合う楽しさを実感できる授業づくり
- (4)特別支援教育の充実

研究分野・教科等

学習指導 算数

研究主題

学び合いを通して自分の考えを表現できる子の育成

【中学校】

御殿場中学校

住所	〒412-0042 萩原 364	1 年	219 人	7 学級
電話	82-0356	2 年	215 人	7 学級
校長	勝亦 重夫	3 年	226 人	7 学級
教頭	小林 徹	特別支援学級	2 人	1 学級
県費教職員数	41 人	市費教職員数	3 人	

学校教育目標

「こころざしをもち 心豊かで たくましい 御中生」

重点目標

めざす生徒像 『凜とした御中生』

経営目標

凜とした生活をする御中生の育成

【確かな学力】【豊かな心】【健やかな心身】の育成を柱とする

経営の重点

- ① 「学ぶ楽しさを実感する授業づくりを推進する」
 - ・生徒が主体的に取り組む授業を実践する
 - ・ICT 教育を充実させる
 - ・学習に対する意識を高め学習習慣の定着を図る
- ② 「豊かな人間関係づくりを構築する」
 - ・「ありがとう運動」を充実させ、感謝の気持ちを育てる
 - ・道徳教育の充実を図り、思いやりの気持ちを育む
- ③ 「生徒の主体的な学校生活を支える」
 - ・生徒が主体となる生徒会活動を進める
 - ・部活動に精一杯取り組ませる
 - ・様々な人との交流や体験等の機会を設ける

研究分野・教科等

キャリア教育

研究主題

「できた」・「わかった」を生徒が実感できる授業づくり
～エビデンスベーストによる生徒の実態を重視した指導～

富士岡中学校

住所	〒412-0035 中山 825-1	1年	196人 6学級
電話	87-1122	2年	228人 7学級
校長	勝俣 久功	3年	219人 7学級
教頭	本田 章	特別支援学級	13人 2学級
県費教職員数	39人	市費教職員数	4人

学校教育目標

心豊かで活力のある生徒の育成

重点目標

- ・「いきいき」と心身ともに健康的な生活が送れる生徒
- ・「はきはき」と他とかかわりあいながら主体的に授業に取り組む生徒
- ・「きびきび」と部活動や家庭学習に取り組む生徒
- ・「もくもく」と無言で集中して清掃に取り組む生徒

経営目標

「相互信頼」を築き「活力」に満ちた学校をつくる

- (1)学ぶ楽しさを実感し、確実に学力を身に付ける学習環境づくり
- (2)温かな人間関係を構築し、安心して楽しく生活できる学級・学年づくり
- (3)自ら考え主体的に活動する生徒の育成

経営の重点

- (1)学ぶ楽しさを実感し、確実に学力を身につける学習環境づくり
 - ◎確かな学力を身につけさせるように、授業改善を進めるとともに、家庭との連携で家庭学習が定着するように働きかける。
 - 課題を明確にした授業とグループ活動を活かした授業改善を進める。
 - 補充学習を継続的に進める。
 - 家庭学習の定着と自学習の質の向上を図る。
- (2)温かな人間関係を構築し、安心して生活できる学級・学年づくり
 - ◎人間関係を意識した学級づくりを進める。
 - 道徳教育を充実させ、豊かな心を育成する。
 - キャリア教育の中で、様々な人との出会いや話を聞く機会を設ける。
- (3)自ら考え主体的に活動する生徒の育成
 - ◎生徒が主体となる活動を充実させる。
 - 生徒会本部と連携した主体的な委員会活動を行う。
 - 部長・副部長を中心に一人一人が目的意識を持って部活動に精一杯取り組ませる。

研究分野・教科等

- ・富士岡中学校区 幼小中連携・一貫教育研究のその後

研究主題

自分の考えを表現し、かかわり合いながら、互いに高め合うことが出来る生徒の育成
～学力向上に繋がる学習環境づくりの工夫と改善

原里中学校

住所	〒412-0045 川島田 1363-1	1年	160人	5学級
電話	89-0338	2年	176人	6学級
校長	土屋 行広	3年	172人	5学級
教頭	飯塚 誠	特別支援学級	7人	1学級
県費教職員数	30人	市費教職員数	4人	

学校教育目標

たくましく 心やさしい 原里中学生徒

重点目標

「信頼され、活力ある学校」づくり

経営の重点

『思いを持って登校し、ともに感動ある学校づくり』のために

- ①「確かな学力の定着」を目指し、魅力ある授業を実践するための協働的な校内研修
- ②「人間力」の育成を目指し、話し合い活動を通じた学級・学年づくり
- ③幼・小・中の系統的、組織的連携
- ④キャリア教育の推進
- ⑤安全・安心な教育環境づくり
- ⑥特別支援教育の確かな推進・実践

研究分野・教科等

授業改善 魅力ある授業の実践

研究主題

「自分の考えを持ち、仲間と共に（協働的）課題を追求できる生徒」

西中学校

住所	〒412-0006 中畑 662-2	1年	95人 3学級
電話	89-0543	2年	83人 3学級
校長	小松 孝和	3年	102人 3学級
教頭	渡辺 英一郎	特別支援学級	7人 2学級
県費教職員数	22人	市費教職員数	3人

学校教育目標

品性を高め、気力の充実に努める生徒の育成

経営の目標

1. 豊かな人間性を育む 学級活動・行事・生徒諸活動

㊦いさつ〈豊かな人間形成〉

2. 健やかな心身を育む 家庭・地域との関係づくり

㊩のちを育む〈健やかな心身育成〉

3. 意欲を高め 学びを保証する授業づくり

㊵えをめざす〈確かな学び保証〉

経営の重点

- ・「信頼される学校」づくりの更なる推進
- ・生徒の規範意識やマナーの向上
- ・「当たり前活動」継承・推進

研究分野・教科等

「心やさしく たくましい子の育成」

地域一体となった

「園・学校一貫教育」

「魅力ある学校づくり」

・共通指導項目「あいさつ・返事」「聞く・話す」

・「相手意識」「郷土愛」「主体性」を磨く

・授業公開と授業研究会の試み

・小中交流の授業

研究主題

学ぶ意欲と確かな学力を高める授業

～UD化で『わかる・できる』を実感できる授業～

高根中学校

住所	〒412-0042 塚原 4-1	1 年	44 人	2 学級
電話	82-1029	2 年	40 人	2 学級
校長	朝妻 正昭	3 年	41 人	2 学級
教頭	田代 浩明	特別支援学級	—	
県費教職員数	13 人	市費教職員数	2 人	

学校教育目標

感受豊かで ころざしがある たくましい高中生

重点目標

意欲的に学び合い、豊かに表現する

経営目標

- [た]高いころざしをもち、
- [か]感じ、考え、自ら行動し、
- [ね]粘り強くやりぬく 生徒の育成

経営の重点

校訓「守徳」の読み解き…自分のよさ（徳）に気づき、自信をもって発信し、周囲をよりよい状態に変えていくこと。

学校経営構想「豊かな体験」「確かな学び」「健やかな心身」を柱として、PDCA サイクルが機能した学校経営を推進する。

①校訓「守徳」への共感	[生徒]	100%
②学習に対する意欲の向上	[生徒]	90%
③地域行事への積極的な参加	[地域]	100%
④発信力の向上	[生徒]	90%

研究分野・教科等

授業改善 保小中連携・一貫教育

研究主題

自ら問いを持ち、学び合う生徒の育成

南中学校

住所	〒412-0042 萩原 1327	1 年	172 人	5 学級
電話	83-8434	2 年	158 人	5 学級
校長	滝口 盛治	3 年	151 人	5 学級
教頭	小宮 隆	特別支援学級	4 人	1 学級
県費教職員数	34 人	市費教職員数	4 人	

学校教育目標

自ら考え、仲間と共に伸びる

重点目標・経営目標

【確かな学力保障】	「挑戦する、わかる、伝える」
【豊かな人間形成】	「関わり合い、高め合い、発揮する」
【健やかな心身支援】	「時を守り、場を清め、礼を尽くす」

経営の重点

<規範意識とこころざし>

『高いこころざし』

【信頼される魅力ある学校づくり】

- 「学校には熱心に指導してくれる先生がいる」と答える生徒の割合 95%以上
- 「学校は保護者や地域への情報提供を積極的に行っている」と答える保護者の割合 90%以上
- 清掃に精一杯取り組む生徒の割合 95%以上

【確かな学力保障】

- 「授業がわかる」と答える生徒の割合 85%以上
- 進んで意見を交換し、自分の考えを深める生徒の割合 85%以上

【豊かな人間形成】

- 「学校生活が楽しい」と答える生徒の割合 85%以上
- ありがとうと言われる生徒の割合 85%以上

【健やかな心身支援】

- 学校のきまりを守って生活する生徒の割合 95%以上
- 学校・家庭・地域の人にあいさつできる生徒 90%以上

研究分野・教科等

特別支援教育（平成 27 年・28 年度御殿場市教育研究指定校）

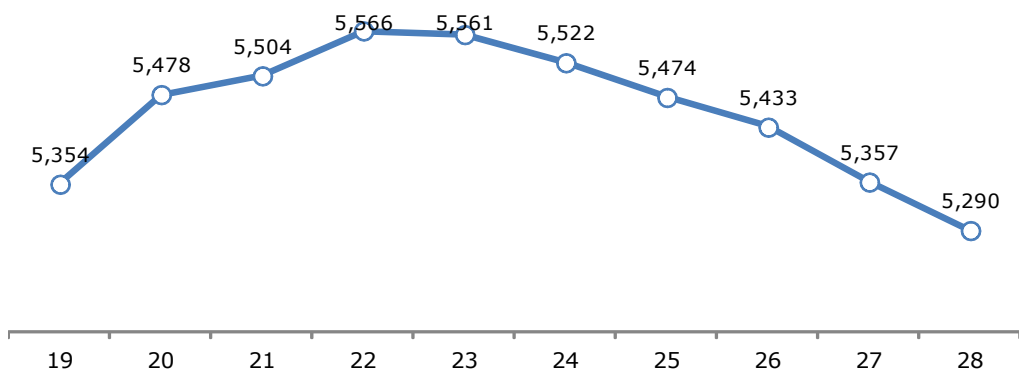
研究主題

ユニバーサルデザインを意識した授業

⑤ 児童・生徒・園児数の推移

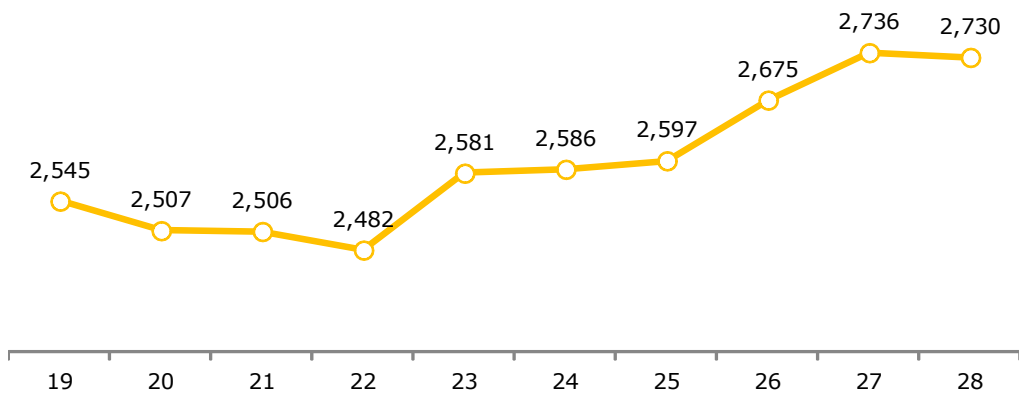
【小学校】

校名\年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
御殿場	924	948	928	954	949	923	954	938	926	961
御殿場南	914	918	913	923	873	887	832	862	856	825
富士岡	541	545	526	514	529	555	570	564	582	605
神山	586	652	701	701	678	679	628	580	544	524
原里	619	651	664	691	740	732	723	699	662	634
玉穂	497	484	489	499	497	513	499	495	519	497
印野	127	123	132	131	137	127	126	132	134	130
高根	240	230	230	231	224	231	236	248	258	253
分校	13	20	18	14	20	23	23	17	13	20
朝日	453	461	470	466	488	457	468	461	431	417
東	440	446	433	442	426	395	415	437	432	424
合計	5,354	5,478	5,504	5,566	5,561	5,522	5,474	5,433	5,357	5,290



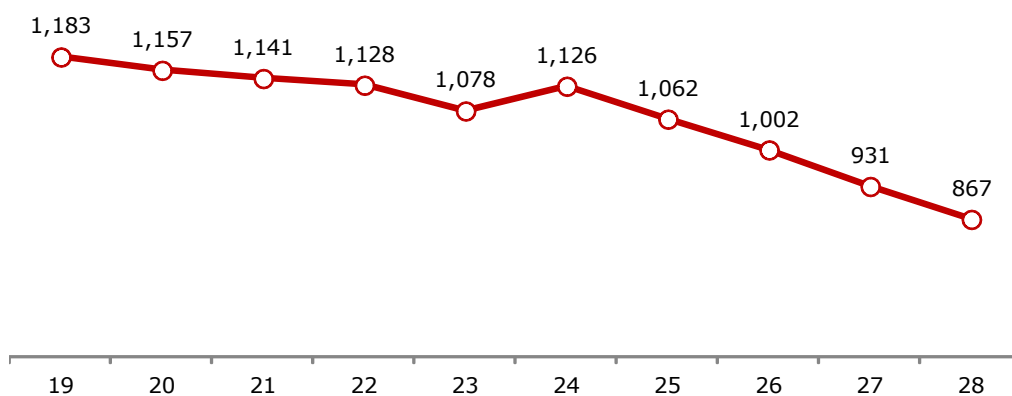
【中学校】

校名\年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
御殿場	660	622	610	623	643	658	627	639	624	662
富士岡	491	518	523	542	630	651	676	679	707	656
原里	412	401	432	416	413	395	407	466	508	515
西	332	316	306	287	272	285	282	305	291	287
高根	165	162	148	133	124	119	119	120	126	125
南	485	488	487	481	499	478	486	466	480	485
合計	2,545	2,507	2,506	2,482	2,581	2,586	2,597	2,675	2,736	2,730



【幼稚園】

園名\年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
御殿場	320	306	282	304	300	311	292	299	282	278
原里	192	191	183	173	171	182	177	145	119	106
原里西	51	47	50	51	45	50	44	43	53	41
玉穂	173	165	168	160	165	174	167	159	146	154
富士岡	178	171	173	160	146	137	125	118	120	98
森之腰	121	136	138	126	109	121	119	106	106	109
竈	55	45	51	56	48	55	53	57	49	37
神山	93	96	96	98	94	96	85	75	56	44
合計	1,183	1,157	1,141	1,128	1,078	1,126	1,062	1,002	931	867



⑥ 中学校卒業者の進路状況

【年度別卒業生進路状況一覧】

年度\区分	進学者						就職者 (その他含む)			卒業生総数		
	高等学校進学者			専修学校等進学者			男	女	計	男	女	計
	男	女	計	男	女	計						
17	393	378	771	0	0	0	4	3	7	397	381	778
18	432	434	866	0	1	1	6	4	10	438	439	877
19	416	398	814	2	0	2	15	7	22	433	405	838
20	425	381	806	0	1	1	8	4	12	433	386	819
21	453	398	851	0	0	0	8	7	15	461	405	866
22	393	391	784	0	0	0	8	5	13	401	396	797
23	443	397	840	1	0	1	3	11	14	447	408	855
24	436	407	843	1	1	2	6	3	9	443	411	854
25	440	390	830	1	0	1	6	4	10	447	394	841
26	437	421	858	0	1	1	11	2	13	448	424	872
27	455	414	869	0	0	0	7	4	11	462	418	880

【平成27年度学校別卒業生進路状況一覧】

学校\区部	高等学校進学者			専修学校等進学者			就職者(その他含む)			卒業生総数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
御殿場	91	83	174	0	0	0	3	0	3	94	83	177
富士岡	130	106	236	0	0	0	0	1	1	130	107	237
原里	79	75	154	0	0	0	0	1	1	79	76	155
西	53	47	100	0	0	0	2	0	2	55	47	102
高根	20	23	43	0	0	0	0	0	0	20	23	43
南	82	80	162	0	0	0	2	2	4	84	82	166
計	455	414	869	0	0	0	7	4	11	462	418	880

【平成27年度学校別卒業生進路状況一覧】

学校\区部	県公立高校等		県内私立高校		県外高校		高専		進学者総数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
御殿場	54	60	36	19	0	2	1	2	91	83	174
富士岡	76	68	34	27	17	11	3	0	130	106	236
原里	46	43	29	29	0	3	4	0	79	75	154
西	27	30	20	17	4	0	2	0	53	47	100
高根	12	18	5	4	0	0	3	1	20	23	43
南	56	49	22	30	4	1	0	0	82	80	162
計	271	268	146	126	25	17	13	3	455	414	869

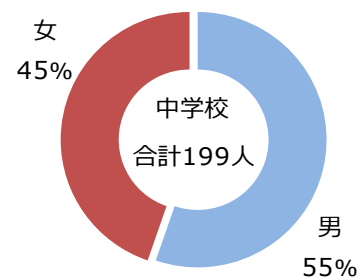
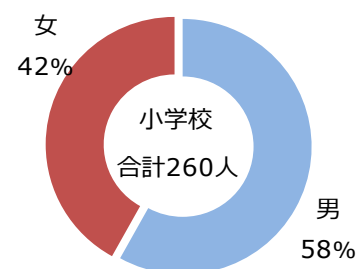
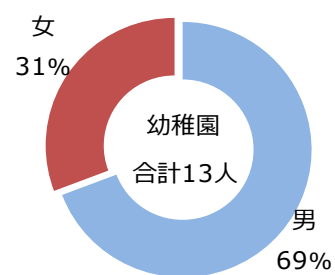
⑦ 日本スポーツ振興センター

【平成27年度 月別災害発生状況】

校種\月	【平成27年度 月別災害発生状況】												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
幼	3	2	2	0	0	0	3	2	0	0	0	1	13
小	21	26	37	11	0	32	43	19	14	24	22	11	260
中	14	28	22	11	7	25	18	5	17	19	18	15	199

【平成27年度性別・学年別災害発生状況】

校種	学年	男	女	計
幼稚園	3歳	2	0	2
	4歳	2	1	3
	5歳	4	3	7
	6歳	1	0	1
	計		9	4
小学校	1年	16	8	24
	2年	20	16	36
	3年	25	11	36
	4年	24	14	38
	5年	27	32	59
	6年	39	28	67
	計	151	109	260
中学校	1年	33	31	64
	2年	49	36	85
	3年	28	22	50
	計	110	89	199
合計		270	202	472



⑧ 育英奨学金

【育英奨学金貸与返還状況】

年度\区分	貸与金額	当該年度新規採用者			当該年度奨学生数			返還状況	
	決算 (円)	高校	専修	大学	高校	専修	大学	人員	金額 (円)
17	15,912,000	1	-	16	3	-	43	58	17,556,400
18	16,848,000	0	-	10	2	-	46	60	11,192,400
19	15,306,000	3	-	8	1	-	33	58	13,177,000
20	13,752,000	0	-	6	3	-	31	51	11,982,400
21	13,392,000	0	-	14	3	-	36	65	13,390,000
22	15,024,000	1	-	14	1	-	42	58	14,489,200
23	18,504,000	0	-	18	1	-	51	53	9,331,200
24	17,892,000	2	-	8	3	-	49	60	10,784,200
25	15,768,000	1	-	14	2	-	44	61	11,967,200
26	18,576,000	2	-	16	4	-	50	67	9,563,400
27	17,712,000	0	1	14	3	1	47	69	16,872,800

※専修学校は平成27年度より貸与対象となった

⑨ 平成 27 年度就学奨励援助

経済的理由により就学困難な児童・生徒の保護者に対して、学用品等の購入に要する経費の一部を援助費として支給している。また、特別支援学級への就学の特殊事情を鑑み、その就学に係る保護者の経済的負担を軽減し、さらに特別支援教育の振興に努めている。

種別	小学校		中学校		合計	
	人員 (人)	金額 (円)	人員 (人)	金額 (円)	人員 (人)	金額 (円)
要保護及び準要保護交付実績	231	14,255,302	158	18,001,074	389	32,256,376
学用品費・校外活動費等	225	3,147,697	149	5,411,773	374	8,559,470
新入学児童生徒学用品費	24	491,280	49	1,153,950	73	1,645,230
給食費	225	9,392,200	149	8,391,407	374	17,783,607
修学旅行費	46	1,111,565	46	2,830,124	92	3,941,689
医療費・眼鏡購入費	6	112,560	13	213,820	19	326,380
特別支援教育就学奨励費交付実績	61	1,897,968	19	933,734	80	2,831,702

(参考) 就学援助費支給児童生徒の数と支給率

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
小学校 (人)	172	179	184	197	207	231
割合	3.1%	3.2%	3.4%	3.6%	3.8%	4.3%
中学校 (人)	145	141	127	126	140	158
割合	5.9%	5.5%	4.9%	4.8%	5.2%	5.7%
合計 (人)	317	320	311	323	347	389
割合	4.0%	3.9%	3.9%	4.0%	4.3%	4.8%

⑩ 小・中学校の入学状況

年度	小学校入学者						中学校入学者					
	市内公立入学者数			私立入学者数			市内公立入学者数			私立入学者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
19	482	441	923	1	4	5	458	409	867	12	15	27
20	485	489	974	1	5	6	415	399	814	5	7	12
21	518	467	985	2	4	6	399	433	832	15	13	28
22	519	446	965	2	4	6	446	396	842	9	15	24
23	484	441	925	1	2	3	451	410	861	5	18	23
24	469	431	900	1	0	1	449	427	876	5	14	19
25	451	454	905	0	0	0	467	418	885	4	8	12
26	466	469	935	2	0	2	468	461	929	4	13	17
27	462	447	909	2	2	4	475	446	921	12	10	22
28	434	437	871	1	3	4	495	406	901	11	11	22

※沼津市立高校中等部は私立入学者数に含む

⑪ 施設の整備状況

【小学校】

学校名	建物面積 (㎡)						合計	校地面積 (㎡)			教室数			プール
	校舎			屋内運動場				運動場	校舎敷地 その他	合計	普通 教室	特別 教室	合計	
	木造	非木造	計	木造	非木造	計								
御殿場	0	8,579	8,579	0	(1,386)	(1,386)	(1,386) 8,579	13,520	12,915	26,435	31	16	47	改築工事中
東	89	5,350	5,439	0	1,724	1,724	7,163	10,523	12,982	23,505	15	9	24	25m×13m ※10m×5.5m
御殿場南	16	6,573	6,589	0	1,225	1,225	7,814	10,246	11,526	21,772	28	10	38	25m×15m ※10m×6m
富士岡	101	5,785	5,886	0	938	938	6,824	10,329	8,961	19,290	22	10	32	25m×15m ※15m×10m
神山	40	4,441	4,481	(70)	(905)	(975)	(975) 4,481	9,664	7,341	17,005	18	8	26	25m×13m ※10m×6m
原里	50	8,057	8,107	0	1,346	1,346	9,453	11,185	13,088	24,273	22	18	40	25m×15m ※10m×6m
朝日	18	5,678	5,696	0	1,024	1,024	6,720	13,554	16,685	30,239	15	11	26	25m×15m ※10m×6m
玉穂	10	5,997	6,007	0	(1,922)	(1,922)	(1,922) 6,007	17,325	13,195	30,520	21	10	31	—
印野	0	4,448	4,448	0	(1,415)	(1,415)	(1,415) 4,448	8,216	8,922	17,138	7	9	16	25m×13m ※8m×5m
高根	0	4,916	4,916	0	1,345	1,345	6,261	11,676	9,763	21,439	14	10	24	25m×13m ※10m×10m
上小林 分校	0	375	375	0	0	0	375	1,871	1,088	2,959	2	1	3	※10m×4m
計	324	60,199	60,523	(70) 0	(5,628) 7,602	(5,698) 7,602	(5,698) 68,125	118,109	116,466	234,575	195	112	307	

注) () は地区体育館

注) ※は低学年用プール

【中学校】

学校名	建物面積 (㎡)						格技室	合計	校地面積 (㎡)			教室数			プール
	校舎			屋内運動場					運動場	校舎敷地 その他	合計	普通 教室	特別 教室	合計	
	木造	非木造	計	木造	非木造	計									
御殿場	33	6,783	6,816	0	2,187	2,187	356	9,359	17,693	11,400	29,093	22	15	37	—
南	0	5,408	5,408	0	2,260	2,260	231	7,899	15,809	13,904	29,713	16	13	29	—
富士岡	0	5,959	5,959	0	1,592	1,592	312	7,863	13,068	13,546	26,614	22	13	35	—
原里	17	5,384	5,401	0	1,798	1,798	342	7,541	12,517	14,732	27,249	17	14	31	—
西	75	6,294	6,369	0	1,798	1,798	301	8,468	11,985	25,903	37,888	11	14	25	—
高根	0	4,322	4,322	0	(1,726)	(1,726)	170	(1,726) 4,492	14,043	11,695	25,738	6	13	19	—
計	125	34,150	34,275	0	(1,726) 9,635	(1,726) 9,635	1,712	(1,726) 45,622	85,115	91,180	176,295	94	82	176	—

注) () は地区体育館

【幼稚園】

園名	建物面積 (㎡)						合計	園地面積 (㎡)			保育室数			プール
	園舎			屋内運動場				園庭	園舎敷地 その他	合計	保育室	遊戯室	合計	
	木造	非木造	計	木造	非木造	計								
御殿場	26	1,487	1,513	—	—	—	1,513	3,037	2,043	5,080	10	1	11	—
富士岡	20	813	833	—	—	—	833	1,639	2,655	4,294	6	1	7	—
竈	142	319	461	—	—	—	461	1,681	1,236	2,917	3	1	4	—
神山	26	525	551	—	—	—	551	1,310	1,693	3,003	3	1	4	—
原里	23	852	875	—	—	—	875	2,883	4,449	7,332	6	1	7	—
玉穂	0	860	860	—	—	—	860	2,747	4,337	7,084	6	1	7	—
原里西	20	584	604	—	—	—	604	2,297	2,653	4,950	3	1	4	—
森之腰	0	1,025	1,025	—	—	—	1,025	1,495	2,420	3,915	6	1	7	—
計	257	6,465	6,722	—	—	—	6,722	17,089	21,486	38,575	43	8	51	—

2 所管外学校等

【幼稚園】

園名	創立年月	所在地	電話	理事長 園長氏名	園児数（人）			教員数 （人）
					男	女	計	
聖マリア 幼稚園	昭和35年 4月	御殿場市新橋 1591番地	84-1215	梅村 昌弘 吉田 公美子	38	55	93	11
みなみ 幼稚園	昭和49年 4月	御殿場市萩原 1193番地の13	83-5373	山崎 元則	136	138	274	18

平成28年度学校基本調査より

【御殿場特別支援学校】

学校名	創立年月	所在地	電話	校長名	生徒数（人）			教員数 （人）	職員数 （人）	
					男	女	計			
静岡県立 御殿場 特別支援学校	平成12年 4月	御殿場市神山 1553番3	87-8200	秋山 弓	小	61	31	92	120	6
					中	36	14	50		
					高	63	24	87		
					計	160	69	229		

平成28年5月1日現在

【高等学校】

学校名	創立年月日	所在地	電話	校長名	学科	生徒数（人）			教員数 （人）	職員数 （人）
						男	女	計		
静岡県立 御殿場 高等学校	明治34年 12月7日	御殿場市 御殿場 192番地の1	82-0111	浅川 典善	情報システム科 情報ビジネス科 情報デザイン科	298	290	588	64	8
静岡県立 御殿場南 高等学校	昭和38年 4月1日	御殿場市 新橋 1450番地	82-1272	岩田 雅子	普通科	322	289	611	41	8
学校法人 東駿学園 御殿場西 高等学校	昭和42年 4月1日	御殿場市 茱萸沢 644番地の1	89-2466	菊池 基	普通科	503	263	766	63	8

平成28年5月1日現在

【各種学校】

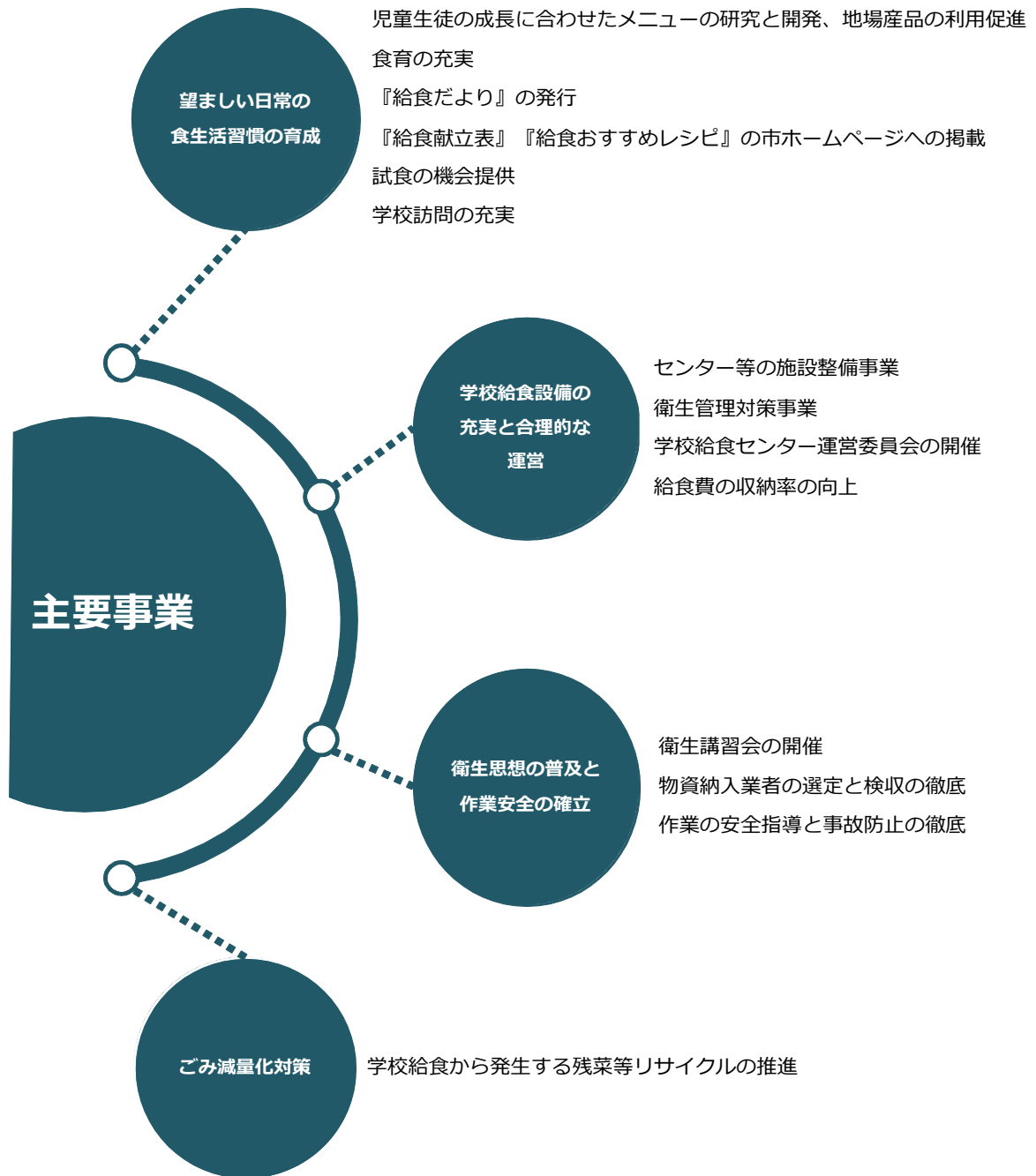
学校名	創立年月	所在地	電話	理事長 園長氏名	生徒数（人）			教員数 （人）
					男	女	計	
御殿場 看護学校	平成17年 4月	御殿場市 川島田 198番地の3	84-5200	齋藤 昌一	19	78	97	12

平成28年度学校基本調査より

学校給食

1 学校給食

① 主要事業



② 学校給食配食校変遷一覧表

年 月	西学校給食センター (第一学校給食センター)	第二学校給食センター	第三学校給食センター	南学校給食センター	高根学校給食センター	単 独 校
30~39						原里小 33年 御殿場南小 35年 御殿場小 30年 玉穂小 34年 富士岡小 31年 神山小 32年 高根小 39年 高根中 39年 印野小 34年 9校
S45年11月	原里小(新) 御殿場南小(新) 養護学校(新)3校					(原里小、御殿場南小→第一へ) 7校
S46年4月	御殿場中(新) 原里中(新)5校					
S52年4月	南中(新) 6校					
S53年4月	上小林分校(新) 7校					
S54年10月	(御殿場中、御殿場南小、南中→第二へ)	御殿場南小 南中 御殿場中 御殿場小(新)4校				(御殿場小→第二へ) 6校
S55年5月	玉穂小(新) 西中(新) 富士岡中(新)7校					(玉穂小→第一へ) 5校
S56年4月	上小林分校 6校					上小林分校 (→高根小へ併設)
S58年3月	朝日小(新)6校 (富士岡中→第二へ)	富士岡中 5校 (富士岡中→第三へ)	富士岡小(新) 神山小(新) 富士岡中 3校			(富士岡小、神山小→第三へ) 3校
S62年4月	(養護学校→第三へ)		養護学校 4校			
H 2年9月	改築竣工移動					
H 3年4月	南中 6校	(南中→第一へ) 東小(新)4校				
H 6年4月		高根小(新) 高根中(新) 上小林分校(新)7校				(高根小、高根中、上小林分校→第二へ) 单独校 1校
H 7年4月		(高根小、高根中、上小林分校→高根へ)			高根小 上小林分校 高根中 3校	
H 8年4月	印野小(新)7校					(印野小→第一へ) 单独校 0校
H12年4月			(養護学校→県立へ)			
H22年8月	原里小 玉穂小 朝日小 印野小 原里中 西中 南中 7校	御殿場小 御殿場南小 東小 御殿場中 4校	富士岡小 神山小 富士岡中 3校			
H22年9月 ~	御殿場小 原里小 玉穂小 印野小 原里中 西中 6校			御殿場南小 東小 富士岡小 神山小 朝日小 御殿場中 南中 富士岡中 8校	高根小 上小林分校 高根中 3校	

※ 平成22年9月1日から南学校給食センターの稼働に伴い、第1学校給食センターを西学校給食センターに名称変更

③ 施設の概要

(1)西学校給食センター（平成28年4月1日現在）

所在地	御殿場市川島田1910番地の9			
敷地	4,530.32㎡			
建物面積	1,609.07㎡	管理・調理棟 1,515.57㎡ ポンプ、プロアー、プロパン庫 35.00㎡ 生ごみ処理棟 58.50㎡		
構造	鉄骨造一部2階建（地下ピット鉄筋コンクリート造）			
工期	着工	平成元年8月5日		
	竣工	平成2年6月9日		
建設費	建築工事費	305,910,000円		
	厨房設備費	258,530,000円		
	その他	59,213,670円		
	計	623,653,670円		
給食開始	平成2年9月4日			
調理能力	4,500食			
配食校	6校（小学校4校、中学校2校）	106学級		
給食対象人員	3,040人			
職員数	23人 所長1、県栄養士2、主幹（給食統括）1、調理職員6、調理臨時職員等13			
配送の状況	方法	コンテナ（1コンテナ6学級分）		
	配送車	3台（委託）…1台は高根センターと兼務		
	配送時間	午前10時30分から正午まで		
	回収時間	午後1時から午後2時30分まで		
厨房設備	蒸気ボイラー2,000kg/h	2基	貯湯槽3,000ℓ	1基
	蒸気回転釜480ℓ	4基	ガス回転釜110ℓ	3基
	トラックイン式食缶消毒保管庫	3基	器具消毒保管庫	4基
	球根皮むき機	1台	真空冷却機	1台
	連続式揚物機	1台	連続式焼物機	1台
	蒸器	2台	さいの目切機	1台
	フードスライサー	2台	高速ミキサー	3台
	縦型焼物機	1台	脱水機	1台
	厨芥破碎機	2台	厨芥絞機	1台
	食缶洗浄機	1台	食器洗浄機	1台
	コンテナ洗浄機	1台	割卵機	1台
	果物洗浄機	1台	スプーン洗浄機	1台
	コンテナ		食器消毒保管室	
	冷蔵室		冷凍庫	3台
冷蔵庫	1台	包丁まな板殺菌保管庫	4台	
特性	学校給食法に基づいた指導、集中管理により施設整備の近代化、労務、衛生、栄養調理技術の向上に努め、諸経費節約、合理化の推進を図る。			

(2)南学校給食センター（平成28年4月1日現在）

所在地	御殿場市竈534番地の1			
敷地	7,388.08㎡			
建物面積	2,419.31㎡	—	管理・調理棟1階 1,962.05㎡	
			管理・調理棟2階 457.26㎡	
			駐輪場 8.82㎡	
			ゴミ置き場 3.35㎡	
構造	鉄骨造2階建			
工期	着工	平成21年9月1日		
	竣工	平成22年6月30日		
建設費	PFI事業費：1,867,035千円			
	内) 施設整備費：1,197,494千円			
	維持管理・運営費：496,271千円			
	その他：173,270千円			
給食開始	平成22年9月1日			
調理能力	5,000食			
配食校	8校（小学校5、中学校3）	160学級		
給食対象人員	4,656人			
職員数	36人	課長（所長）1、管理スタッフ統括（副参事）1、主幹1、県栄養士2、		
		主幹（給食統括）1、調理職員10、調理臨時職員等20		
配送の状況	方法	コンテナ（1コンテナ6学級分）		
	配送車	4台（委託）		
	配送時間	午前10時30分から正午まで		
	回収時間	午後1時から午後2時30分まで		
厨房設備	電気式連続フライヤー	114,88kW 1台	スチームコンベクションオープン	56kW 2台
	コンテナ消毒保管庫	27kW 19台	電気式食器消毒保管庫	8.75kW 3台
	電気式食器消毒保管庫	13.5kW 2台	トラックイン電気式消毒保管庫	54kW 3台
	トラックイン電気式消毒保管庫	27kW 4台	トラックイン電気式消毒保管庫	13.5kW 2台
	真空冷却機	56kg/h 2.4kW 1台	蒸気回転釜	76kg/h 310L 9台
	IH調理器	1.3kW 1台	IH調理器	7.85kW 2台
	コンテナ洗浄機	169.65kW	食器トレー洗浄機	100kg/h 63.2kW 1台
	食缶洗浄機	100kg/h 77.7kW 1台		
	特性	学校給食法に基づいた指導、集中管理により施設整備の近代化、労務、衛生、栄養調理技術の向上に努め、諸経費節約、合理化の推進を図る。		

(3)高根学校給食センター（平成28年4月1日現在）

所在地	御殿場市塚原41番地の3		
敷地	815㎡		
建物面積	500.54㎡	—	管理・調理棟 494.24㎡ ボイラー室・電気室等 6.3㎡
構造	鉄骨造平屋建（地下ピット鉄筋コンクリート造）		
工期	着工	：平成6年3月30日	
	竣工	：平成7年3月20日	
建設費	建築工事費	：	126,817千円
	電気工事費	：	28,753千円
	機械設備工事費	：	101,276千円
	計	：	256,846千円
給食開始	平成7年4月1日		
調理能力	1,000食		
配食校	3校（小学校2、中学校1）		21学級
給食対象人員	397人		
職員数	9人	所長（西と兼務）1、主幹（給食統括）1、市栄養士1、調理職員2、調理臨時職員等4	
配送の状況	方	法：コンテナ（1コンテナ6学級分）	
	配	送車：1台（委託）…西学校給食センター兼務	
	配	送時間：午前11時20分から午前11時45分まで	
	回	取時間：午後1時45分から午後2時5分まで	
厨房設備	給湯ボイラー	1,170ℓ	1基
	揚物機	1台	
	果物洗浄機	1台	
	真空冷却機	1台	
	さいの目カッター	1台	
	スプーン洗浄機	1台	
	食器・食缶洗浄機	1台	
	食缶消毒保管庫	2基	
	箸洗浄機		
	冷凍庫	1台	
	冷凍冷蔵庫	1台	
	ガス回転釜	110ℓ	4基
	球根皮むき機	1台	
	食器消毒保管庫	2基	
フードスライサー	1台		
焼物機	1台		
蒸器	1台		
超音波洗浄機	1台		
器具消毒保管庫	2基		
高速ミキサー	1台		
冷蔵庫	1台		
特	性	学校給食法に基づいた指導、集中管理により施設整備の近代化、労務、衛生、栄養調理技術の向上に努め、諸経費節約、合理化の推進を図る。	

④ 学校給食の実施状況

平成 28 年 5 月 1 日現在

センター名	学校名	クラス数	対象人員	給食型
西学校給食センター	御殿場小学校	31	961	完全
	原里小学校	22	634	〃
	玉穂小学校	21	497	〃
	印野小学校	7	130	〃
	原里中学校	17	515	〃
	西中学校	11	287	〃
	小計		109	3,024
南学校給食センター	御殿場南小学校	28	825	完全
	東小学校	15	424	〃
	富士岡小学校	23	605	〃
	神山小学校	18	524	〃
	朝日小学校	15	417	〃
	御殿場中学校	22	662	〃
	南中学校	16	485	〃
	富士岡中学校	22	656	〃
小計		159	4,598	
高根学校給食センター	高根小学校	12	253	完全
	上小林分校	2	20	〃
	高根中学校	6	125	〃
小計		20	398	
合計		288	8,020	

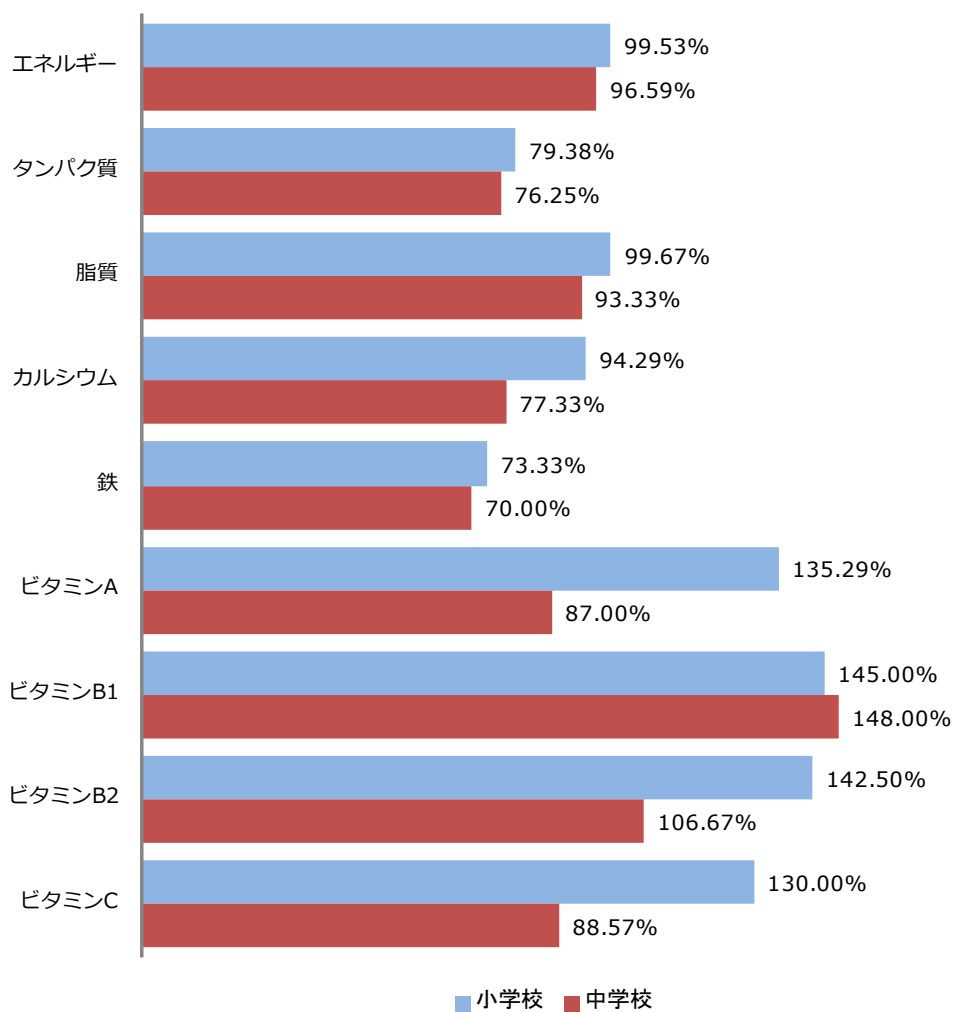
【給食費】 小学校：月額 4,300 円
 中学校：月額 5,200 円
 (11 ヶ月分徴収)

【人数】 小学校：5,290 人
 中学校：2,730 人

⑤ 児童・生徒一人当たり栄養摂取状況

区分	単位	小学校				中学校			
		規準量	摂取量			規準量	摂取量		
			5月	11月	年平均		5月	11月	年平均
エネルギー	Kcal	640	638	639	637	820	793	790	792
タンパク質	g	18~32	25.5	26.0	25.4	25~40	30.8	31.2	30.5
脂質	%	25~30	30	30	30	25~30	29	28	28
カルシウム	mg	350	332	332	330	450	359	357	348
鉄	mg	3	2.2	2.0	2.2	4	2.8	2.6	2.8
ビタミンA	μgRE	170	224	227	230	300	279	256	261
ビタミンB1	mg	0.4	0.57	0.59	0.58	0.5	0.70	0.75	0.74
ビタミンB2	ng	0.4	0.57	0.56	0.57	0.6	0.65	0.65	0.64
ビタミンC	mg	20	28	26	26	35	33	30	31

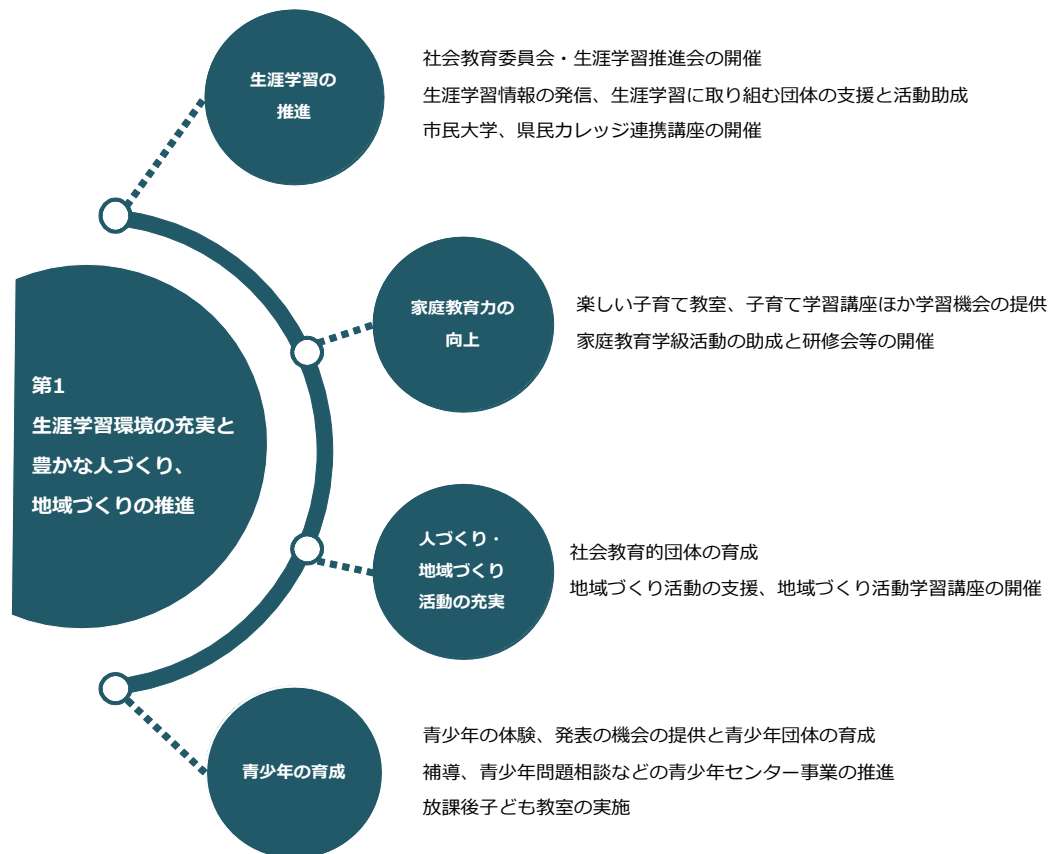
栄養充足率（年間平均）



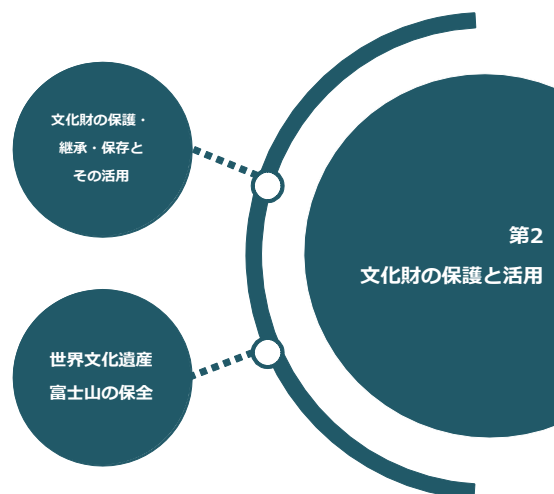
社会教育

1 社会教育

① 主要事業



- ・文化財審議会の開催、指定文化財の保護・整備・活用、埋蔵文化財の発掘調査、出土品の保存、調査研究成果のまとめ（文化財のしおりの発行）
- ・民俗資料の整理及び収蔵庫管理、富士山測候所関係資料の活用、阿部雲気流博物館資料の調査・活用
- ・郷土資料館の検討
- ・世界遺産富士山の保全を確固たるものにする活動・支援の充実



② 平成 28 年度事業一覧表

社会教育体制整備

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
社会教育委員会	豊かな人づくり地域づくりのための社会教育の施策を研究調査する。	4回		会議 研修	565
社会教育指導員の 設置	社会教育の特定分野（相談・家庭教育・補導活動・団体育成など）について指導・支援にあたる。		年間	4人	5,208
社会教育担当者 研修	社会教育担当者の資質向上を図る。		年間	研修 講習	-
社会教育調査	社会教育行政に必要な参考資料を整備し、調査体制を確立する。		年間		-

生涯学習推進の推進

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
生涯学習推進会等 運営事業	推進会で生涯学習の推進を図る。 生涯学習ボランティアセンターの育成。		年間	会議 研修	750
生涯学習啓発情報提供 事業・学習相談事業	市民が生涯にわたり自主的に学習に取り組む気運を醸成するため、啓発活動を行う。		年間	みちしるべ 発行	-
みくりやの5×5 (J'-J'-)活動事業	生涯学習の定着・みくりやの5×5活動の拡大を図るため、市内各機関団体への助成を行う。		年間	生涯学習 奨励事業	249
視聴覚器材の 管理・運営	多くの市民が視聴覚器材（ビデオ・DVD等）を学習活動等に利用しやすいように整備管理する。		年間	管理	-
市民大学講座	教養を高め豊かな精神を養うために、生涯にわたって学ぶ心を育てる。	6回	9月 ～ 2月	講座	540

家庭教育力の向上

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
家庭教育学級活動の推進	家庭で果たすべき役割を明確にし、問題意識をもった家庭教育学級の開設の奨励と意識の高揚を図る。	24学級	年間	指導 助言	1,080
家庭教育学級の 手引き発行 (ふじざくら)	家庭教育学級の記録を作成し学級振興の手引きとする。		6月	発行配布	163
家庭教育学級 運営委員研修会	望ましい運営のあり方の研修を行うと同時に、学級間の連絡調整を目的とする。	7回	4月 ～ 1月	研修	-
楽しい子育て教室	幼児の教育を中心に学習を進め、家庭教育の一助とする。	12回	5月 ～ 12月	学習	618
子育て学習講座	小中学校の新入学児童生徒の保護者を対象に、その時期の子どもの特徴等を学習し家庭教育を見直す機会にする。	各校 1回	1月 ～ 2月	講座	60

人づくり・地域づくり

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
地域づくり活動 学習講座	地域づくり活動の指導者、あるいは実践者としての幅広い学習活動を支援するための研修を行う。	3回 程度	年間	講義	90
地域づくり活動主事 連絡会	地区公民館の主事の情報交換と、地域づくり活動を活発にするための研修活動を行う。		年間	座談研修	252
地域の文化・ 体育振興団体及び 地域団体の育成	地域の文化・体育団体及び地域づくり関係団体の支援を行う。		年間	補助金 指導助言	68,379
女性団体育成	助成団体活動への指導助言と各種の研修会や大会への参加。		年間	指導 参加 助言	714

青少年の育成

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
青少年活動推進 委員活動	次代を担う青少年を育むために推進 委員を置き、青少年健全育成のため の活動等の支援を行う。 また、青年活動の活性化を図るため の活動を実施する。	定例12回 ほか臨時	年間	会議 実践活動 支援活動	748
青少年チャレンジ体験 事業	青年スタッフの指導者としての資質 向上を図り、また小学生に体験活動 を通じ、出会った仲間と協力し合い 一つのことをやりとげる体験をする 機会を提供する。		10月	宿泊研修 ほか	800
青少年活動事業	青少年や青少年団体が資質の向上に 努める研修会等の活動を支援する。		年間	研修会	122
青少年団体育成	青少年の健全育成を図るため、団体 活動を支援する。		年間	指導 育成	341
わたしの主張 発表大会	小中学生が、日頃の生活の中で思っ ている事や体験したことなどについ て、発表する場を設ける。	1回	6月	発表大会	21
成人式	新成人を祝い励まし、成人としての 自覚と御殿場市民としての誇りを高 める。	1回	1月	式典	3,138

青少年の対策

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
青少年問題協議会	青少年の指導、健全育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立に必要な事項を調査・審議する。	年3回		会議 調査	201
青少年センター運営懇話会等	青少年センター事業（補導・相談・環境浄化事業等）について総合的かつ効果的に推進できるように、運営に関し専門的意見を聴取する。	年1回		会議 研修	219
青少年相談事業	青少年や保護者から相談を受け助言等を行う。		年間	電話 ・面接 ・相談	47
補導事業	学区・学校・PTA等から推薦された補導委員により不良行為等の早期発見と青少年への声掛けを行い、非行防止・事故防止を図る。		年間	街頭・一斉 校区・ センター補導	932
環境浄化事業	青少年のための良好な環境づくりのため、地域や事業所の協力のもとパトロール・立入調査等を実施する。		年間	立入調査 パトロール	-
放課後子ども教室推進事業	放課後等の子どもの安全・安心な居場所づくりのため、運営委員会を設置、放課後子ども教室を実施する。		年間	会議調査 教室実施	3,150
健全育成啓発活動	青少年健全育成のための啓発活動を推進し、家庭や地域等での教育機能を高める。		年間	キャンペーン 広報掲載	10
青少年健全育成会連絡協議会	市内6地区の青少年健全育成組織が相互に連絡調整を図り、青少年の健全育成活動を全市的に展開する。		年間	会議研修 共催事業	225
市PTA連合会事業補助金	PTA活動の支援及び育成を図る。		年間	活動費助成	145

文化財の保護と活用

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
文化財審議会	文化財に対する調査研究及び審議を すると共に、委員の資質向上を図 る。	6回	年間	会議 調査	446
埋蔵文化財調査	埋蔵文化財包蔵地等の確認調査及び 本発掘調査を必要により実施。		随時	調査	108
文化財の保護と活用	指定及び国登録文化財（国5・県9・市 13・国登録2・国選択1）の保存公開・ 啓発活動並びに賞賜金の交付。		年間	保存 管理	4,618
民俗資料収蔵庫 管理・運営事業	民俗資料収蔵庫の管理及び資料整理 委託		年間	保存 管理	1,313
世界遺産富士山の 保全	保全のための活動、支援事業		年間	調査ほか	375
印野の溶岩隧道 （丸尾苑）管理事業	丸尾苑の維持管理業務委託など		年間	保全整備 管理	757
富士山御殿場口登山道 等調査啓発事業	巡礼路富士山御殿場口登山道調査及 びマップ作成を行う。また、徳川御 殿造園400年祭に際し、御殿造園に 関し調査を行い、報告書を発行す る。		年間	調査研究	2,577

その他

事業名	内容	回数	時期	方法	予算 (千円)
勝間田清一伝 編纂事業	名誉市民である勝間田清一翁の伝記 編纂を平成28年度末までに行う。		年間	調査研究 冊子刊行	13,400
(仮称) 東山青少年広場 整備事業	青少年会館跡地を青少年の野外活 動・自然体験広場として整備する。 平成29年度供用開始予定。			整備事業	149,805

③ 文化財・史跡

国指定

指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
天然記念物	駒門風穴	T11.3.8	駒門	駒門風穴保存会
天然記念物	印野の溶岩隧道	S2.4.8	印野(古印野) 印野(丸尾)	印野郷土振興協会 御殿場市
特別名勝	富士山	S27.11.22	富士山	
史跡	富士山	H23.2.7	富士山	
重要文化財	手焙形土器	S48.6.6	萩原	御殿場市

県指定

指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
天然記念物	二枚橋のカシワ	S32.12.25	二枚橋	個人
史跡	深沢城跡	S35.2.23	深沢	御殿場市 (管理団体)
天然記念物	永塚の大スギ	S35.2.23	永塚	永塚浅間神社
工芸品	刀銘(葵文)主水正藤原正清	S37.6.15	新橋	個人
天然記念物	宝永のスギ	S38.2.19	柴怒田	子之神社
天然記念物	川柳浅間神社のスギ	S38.12.27	川柳	川柳浅間神社
天然記念物	東山のサイカチ	S40.3.19	東山	御殿場市
工芸品	刀銘備州長船家重	S41.3.22	神場	個人
無形民俗文化財	沼田の湯立神楽	S42.10.11	沼田	沼田の湯立神楽 保存会

市指定

指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
工芸品	善龍寺の喚鐘	S47.9.11	中畑	善龍寺
工芸品	二岡神社の灯籠	S47.9.11	二の岡	二岡神社
無形民俗文化財	鮎沢の祈祷三番	S48.12.24	鮎沢	鮎沢の祈祷三番 保存会
天然記念物	永塚のカシワ	S55.5.27	永塚	個人
天然記念物	駒門の大公孫樹	S55.5.27	駒門	駒門浅間神社
天然記念物	二岡神社の社叢	S62.3.3	二の岡	二岡神社
天然記念物	神山のタブノキ	H2.12.1	神山	個人
工芸品	光真寺の三十三体仏	H5.1.5	印野	印野区
建造物	林氏の長屋門	H5.1.5	上小林	個人
天然記念物	印野内山のヒノキ	H6.2.1	印野	小木原区
建造物	旧石田家住宅	H11.3.18	印野	印野地域施設 管理運営委員会
建造物	旧秩父宮御殿場御別邸	H12.3.27	東山 二の岡	御殿場市
工芸品	久成寺の鰐口	H12.8.1	清後	久成寺

国登録

指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
建造物	神山復生病院事務所棟	H18.3.2	神山	一般財団法人神山復生会 神山復生病院
建造物	富士カントリー倶楽部 クラブハウス	H24.2.23	東山	株式会社 富士カントリー倶楽部

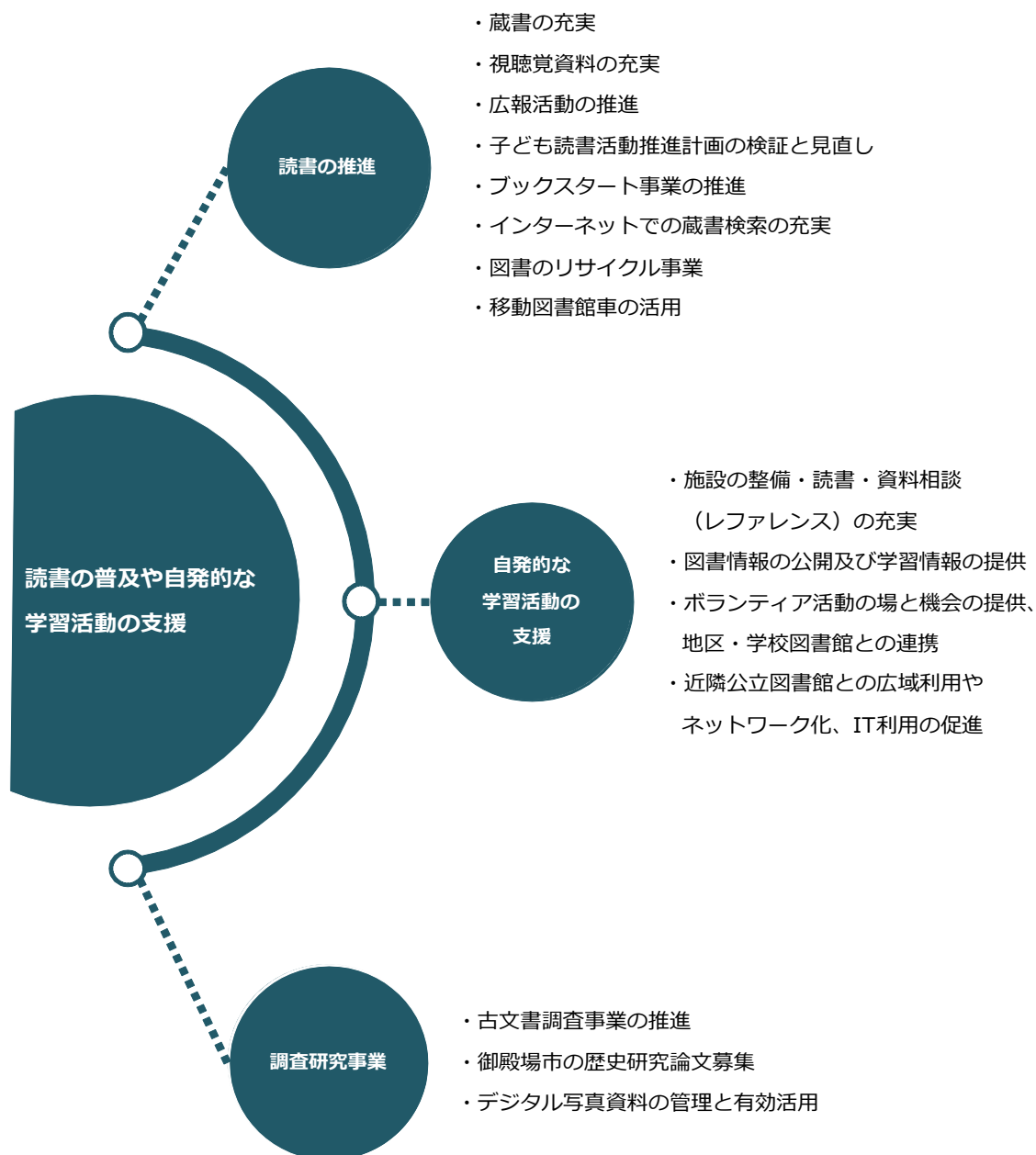
国選択

指定区分	名称	指定年月日	所在地	管理者・所有者
無形民俗文化財	沼田の湯立神楽	H19.3.7	沼田	沼田の湯立神楽 保存会

2 図書館

あらゆる種類の知識や情報を利用者が入手できるよう「図書館の自由に関する宣言」と「ユネスコ公共図書館宣言 1994」を尊重し、主要事業を進めていきます

① 主要事業



② 平成 28 年度事業一覧表

事業名	内容	予算 (千円)
読書推進及び利用の充実	<p>図書の企画展示開催等、様々な機会をとらえて読書に親しむよう PR する。特に 5 月のこども読書週間と 11 月の読書推進月間中は特別に PR する。</p> <p>また、健康福祉部等と連携し、親子読書普及事業を推進する。図書の広域利用を近隣他市町と協力し推進する。</p>	
社会教育指導員の設置	<p>社会教育の特定分野（中学生ボランティア・地方史研究等）について指導・支援にあたる。</p>	1,302
ブックスタート事業	<p>子育て支援、子どもの読書推進活動の一環として、保健センターの 6 か月児健診の受診者に絵本等を提供し、親子のふれあいと絵本へ親しみを深める。</p>	924
子ども読書活動推進計画事業	<p>「御殿場市子ども読書活動推進計画」の更新を行うとともに、各推進事業を実施する。</p>	102
親子おはなしの会	<p>幼児とその親を対象に絵本の読み聞かせ・紙芝居などを行い、本の楽しさを伝え、親子の読書週間を培う。</p>	
文学講座	<p>文学を学ぶことにより、広く文化への理解を深め、より高度な学習や読書へ誘う。近代文学講座を開催。</p>	40
文学散歩	<p>文学作品に関する文学碑、史跡、資料館などを探訪する。</p>	103
地方史研究の募集	<p>図書館で収集した郷土資料等を活用し、御殿場市の歴史を調査研究した論文を募集・審査し、佳作以上の作品を「地方史研究」に掲載し発表する。</p> <p>審査員は横浜国立大学名誉教授の松元宏先生。</p>	75
統計グラフ教室	<p>夏休み宿題相談コーナーの一環として、小学生が統計グラフのテーマの選択や資料収集の仕方、グラフの書き方などを学ぶ。</p>	10
夏休み宿題相談コーナー	<p>レファレンス業務の一環として、小中学生の宿題や総合的学習の相談にのり、適切な資料を紹介し援助する。</p>	
図書館資料等のリサイクル	<p>除籍資料や市民からリサイクルを依頼された資料を希望者に無料で提供する。図書館まつりや生活フェアにもリサイクルボックスコーナーを設けて参加。</p>	

事業名	内容	予算(千円)
中高生ボランティア 及び体験学習	中高生が図書館業務を体験することにより、図書館サービスの理解を深める。	
(※) 図書館ボランティアの会	図書館で子どもを対象に「おはなし広場」を開催し、絵本等の読み聞かせを行っている。 また、ブックスタート事業の運営に全面的に協力している。	350
(※) くろつぐみの会	視覚障害者に対する奉仕活動として、広報ごてんば・市議会だよりや図書の録音 CD 作成のほか、対面朗読も行っている。	50
(※) 古文書を読む会	御殿場市内に所在する古文書を整理・解読し地域の歴史を学び、その研究成果を発表する。	

(※)図書館関係団体による自主運営事業

③ 施設の概要

(1)本館

所在地	御殿場市萩原 580 番地の 2 TEL:82-0391 FAX:82-0382		
敷地面積	7,718.81 m ²		
建物面積	1,901.38 m ²		
建物の構造	鉄筋コンクリート（一部鉄骨造） 2 階建		
延床面積	2,382.86 m ² 1 階:1,829.92 m ² 2 階:518.63 m ² 3 階:34.31 m ²		
着工	昭和 55 年 9 月 14 日		
竣工	昭和 56 年 8 月 31 日		

(2)富士岡地区図書館

所在地	御殿場市中山 435 番地の 1（市役所富士岡支所内） TEL:87-0976 FAX:87-0977		
床面積	42.12 m ²		

(3)移動図書館

名称	移動図書館車ライオンズ号			
車両の概要	車幅 216cm	車高 267cm	車長 618cm	排気量 4,000cc
積載冊数	約 3,600 冊			
巡回場所	市内 40 箇所（2 週間毎に巡回）			

(4)図書館の歩み

市立図書館は、市民の献本運動による寄贈図書をもとにして、昭和 45 年 11 月 10 日に社会教育会館（現在の保健センター所在地）の一部を改造し開館した。

蔵書の増加等により施設が手狭になり、老朽化もあって、昭和 56 年 11 月 3 日に新館を現在地に開館し、市民の資料・情報の場として幅広い分野の資料を収集し、サービスに努めている。富士岡地区図書館は、昭和 62 年 7 月より図書館サービスを開始した。

平成 12 年に視聴覚資料の館内視聴と貸出サービスを開始。平成 13 年に成人書架を増設し、蔵書能力の向上と資料を探しやすい・使いやすい図書館を目指した。

平成 19 年 3 月に「子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもたちの読書の機会の増加に努めている。

移動図書館車による巡回サービスは、昭和 46 年 4 月 26 日に開始し、図書館の全域サービスを図ってきた。現在の移動図書館車は 5 台目、平成 23 年 12 月に更新し、市内 40 箇所を 2 週間かけて巡回している。

④ 所蔵資料

(1) 図書		(2) その他の資料	
種類	所蔵冊数	種類	点数
(a)一般図書	182,421	雑誌	133種
0総記	9,401	新聞	23紙
1哲学	7,594	CD	1,034枚
2歴史	18,035	ビデオテープ	22巻
3社会科学	28,080	カセットテープ	6巻
4自然科学	12,347	DVD	1,064本
5工学	8,245	点字図書	113タイトル
(59)家事	5,936	視覚障害者用録音図書	226タイトル
6産業	5,402		1,218巻
7芸術	14,561		
8言語	3,506		
9文学	69,314		
(b)児童図書	64,012		
児童図書	38,193		
絵本	24,238		
紙芝居	1,581		
(c)郷土資料	21,850		
(d)外国語図書	1,455		
合計(a)+(b)+(c)+(d)	269,738		

平成28年3月末現在

⑤ 平成 27 年度の利用状況

(1) 利用者数・貸出冊数

区分	開館日数	入館者	利用者
本館	340	271,666	100,855
地区図書館	226	-	3,569
移動図書館	191	-	3,164
合計		271,666	107,588

区分	貸出冊数(冊)					計
	一般図書等	児童図書	外国語図書	雑誌	視聴覚	
本館	242,215	237,532	552	20,162	9,687	510,148
地区図書館	4,581	11,170	0	748	0	16,499
移動図書館	4,359	17,885	0	721	0	22,965
合計	251,155	266,587	552	21,631	9,687	549,612

(2) 貸出冊数の資料種別の比率

(%)

区分	一般図書等	児童図書	外国語図書	雑誌	視聴覚	計
本館	47.48	46.56	0.11	3.95	1.90	100.00
地区図書館	27.77	67.70	0	4.53	0	100.00
移動図書館	18.98	77.88	0	3.14	0	100.00
合計	45.70	48.50	0.10	3.94	1.76	100.00

(3) 1日平均入館者・利用者・貸出冊数

区分	入館者(人)	利用者(人)	貸出冊数(冊)
本館	799	297	1,500
地区図書館	-	16	73
移動図書館	-	17	120
全館	-	330	1,693

(4) 年代別登録者数及び比率

区分	登録者数(人)	比率(%)
0～12歳	4,591	10.3
13～15歳	2,185	4.9
16～18歳	2,186	4.9
19～29歳	7,318	16.4
30～39歳	7,721	17.3
40～49歳	8,767	19.7
50～59歳	4,876	10.9
60歳以上	6,954	15.6
合計	44,598	100.0

(5) その他の利用者統計

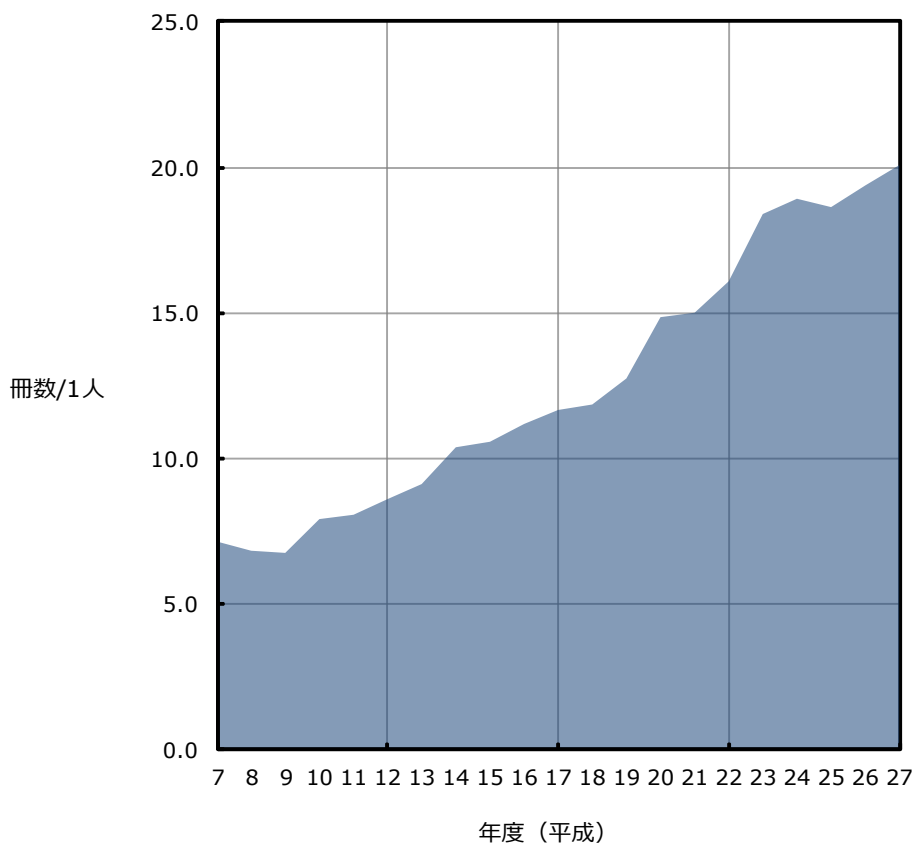
事業名称	利用実績等	実施月日	参加人数
親子おはなしの会	28回開催	毎月第2・4水曜日	478人
おはなし広場	48回開催	毎週土曜日	780人
文学散歩	神奈川（鎌倉）方面へ	5月29日	35人
近代文学講座	講師 菊地 治彦 氏 テーマ「現代文無責任講座」	2月20日 2月27日	23人
統計グラフ教室	講師 大森 友希 氏（小学生対象）	7月12日	32人
図書館まつり	パネル展、おはなし会、手作り絵本教室、児童図書のリサイクル等	11月3日	1,835人
複写サービス	受付件数 960件/5,058枚	年間	-
予約・リクエスト件数	受付件数 11,462件	年間	-
レファレンス質問 受付件数	受付件数 7,906件 (対面7,283件・電話623件)	年間	-
視聴覚コーナー利用件数	受付件数627件	年間	-
リサイクルブックステーション回数と実績	18回開催/提供冊数8,557冊	毎月第3日曜日外	-
視覚障害者用朗読テープ作成	広報ごてんば、市議会だより外 (録音テープ作成)	年間	23人 (提供者)
ブックスタート	24回（6か月健診時に実施）	毎月第1・3水曜日	794組

(6) 他図書館との相互貸借利用冊数

区分	国立国会 図書館	県立中央 図書館	他市町村 図書館	大学・専門 図書館	キャンプ富士 図書館	合計
借受冊数	0	119	794	0	0	913
貸出冊数	0	2	616	0	0	618
合計	0	121	1,410	0	0	1,531

(7) 児童書貸出冊数の年次推移

年度 (平成)	児童図書 貸出冊数	0-14歳人口 (10月1日時点)	冊数/1人
7	104,310	14,584	7.2
8	98,054	14,345	6.8
9	95,392	14,106	6.8
10	109,862	13,867	7.9
11	109,960	13,628	8.1
12	115,210	13,388	8.6
13	122,605	13,438	9.1
14	140,072	13,488	10.4
15	143,121	13,538	10.6
16	151,935	13,588	11.2
17	159,049	13,640	11.7
18	161,903	13,665	11.8
19	174,448	13,689	12.7
20	203,550	13,714	14.8
21	206,021	13,738	15.0
22	221,207	13,763	16.1
23	251,224	13,670	18.4
24	256,587	13,576	18.9
25	250,984	13,483	18.6
26	259,132	13,389	19.4
27	266,587	13,296	20.1



資料

1 事業年譜

昭和 29 年度		昭和 32 年度		
30.	2.11	御殿場市制施行	32. 4.1	高根小学校に特殊学級を設置
	2.11	御殿場市教育委員会事務局は職員 33 名により発足	5.10	玉穂幼稚園開園
	2.	教育委員 6 名により教育委員会を構成	5.22	富士岡小学校給食室竣工
	2.	御殿場幼稚園開園	6.22	玉穂幼稚園園舎竣工
	3.13	初代教育長勝又秀丸が就任	9.11	古沢地区編入により地区小・中学生は高根小学校に入学する
昭和 30 年度		9.20	市の紋章制定される	
30.	4.1	御殿場市体育協会発足	9.27	全国一斉学力調査を実施
	4.16	印野中学校屋内運動場竣工	11.28	美乃和、西田中、二の岡公民館竣工
	5.5	神山小学校増築校舎竣工	12.25	二枚橋のカシワ、県指定天然記念物となる
	6.20	御殿場小学校本館竣工	33. 1.22	神山小学校給食室竣工
	7.14	御殿場小学校給食室竣工	2.11	新学制発足 10 周年記念講演開催 原田三夫氏「人工衛星と宇宙旅行」
	8.27	玉穂中学校屋内運動場竣工	昭和 33 年度	
	9.5	市立高等家政学校認可	33. 6.18	御殿場市文化団体連絡協議会発足
	10.10	第 1 回市民体育祭開催	6.30	市立青少年会館増築竣工（永原剥離病舎移築）
	10.17	市立高等家政学校開講式挙行	9.16	原里小学校給食室竣工
	12.	社会科学習指導要領改訂	10.1	教職員勤務評定実施
31.	1.1	高根村が合併する	10.1	学習指導要領全面改訂
	2.	公選による教育委員が選任される	11.3	第 1 回市民文化祭開催
	2.12	御殿場小学校、県教委指定学校給食研究発表会開催	12.15	御殿場南小学校（新設）工程整地工事完了
	3.31	富士岡小学校竈分校を廃校とする	34. 3.3	神山小学校増築校舎竣工
昭和 31 年度		3.10	深沢城跡に乃木希典の碑建立	
31.	4.1	原里幼稚園開園	3.31	文化財のしおり第 1 集「御殿場古代文化」刊行
	4.	中田遺跡発掘調査	昭和 34 年度	
	5.24	市立青少年会館竣工	34. 4.1	御殿場南小学校開校
	10.1	地方教育行政の組織及び畝伊に関する法律の施行により新教育委員就任	4.14	富士岡幼稚園、同竈分園、同神山分園開園
	10.1	教育長勝又秀丸再任	5.26	富士岡中学校長高杉博学校葬執行
	10.13	校医宮田元平文部大臣より表彰をうける	5.30	御殿場南小学校第 1 期工事竣工
32.	1.11	原里中学校屋内運動場竣工		
	1.31	御殿場小学校 5 号校舎竣工		

	5.31	印野小学校給食室竣工		12.12	西中学校の敷地決定
	6.8	玉穂小学校給食室竣工		12.14	原里小学校給食優良校につき県教育長表彰をうける
	6.9	御殿場南小学校 1 年生、5 年生入校		12.22	原里中学校子ども銀行大蔵大臣表彰をうける
	8.31	市立青少年会館増築工事竣工		12.24	原里中学校増築校舎竣工
	9.19	国立中央青年の家開所式		2.18	川島田公民館竣工
	12.18	アメリカ合衆国チェンバースバーグ市との都市提携の件、市議会で議決	37.	3.6	御殿場幼稚園県幼稚園研究会東部支部指定研究会発表
35.	2.23	永塚の大スギ県指定天然記念物となる		3.20	中畑南公民館竣工
	2.23	深沢城跡県指定史跡となる		3.31	文化財のしおり第 3 集「御殿場市の名所史跡案内」刊行
	3.26	高根中学校改築校舎竣工		3.31	神山小学校駿河分校を休校する
	3.30	御殿場南小学校第 2 期工事竣工			
	3.30	文化財のしおり第 2 集「御殿場の道祖神」刊行			
昭和 35 年度			昭和 37 年度		
35.	5.1	御殿場小・中学校に特殊学級設置	37.	4.1	高根小学校特殊学級を御殿場小中学校特殊学級（御殿場学園）に統合する
	4.1	私立聖マリア幼稚園開園		6.15	刀銘（葵紋）主水正藤原正清 県指定（工芸）文化財となる
	5.25	御殿場南小学校給食室竣工		6.23	御殿場市子ども会連合会発足
	7.16	原里中学校技術科室竣工		8.3	滝ヶ原でアジアジャンボリー開催（8 日まで）皇太子、同妃殿下御臨席
	7.25	御殿場市歌制定		11.13	印野中央公民館竣工
	8.22	市制施行 5 周年式典並びにアメリカ合衆国チェンバースバーグ市と都市連携祝典挙行		12.26	鈴木県教育長御殿場南高等学校敷地及び御殿場学園視察
	8.31	森之腰公民館竣工	38.	2.1	板妻区立幼稚園竣工
	10.1	教育長勝又秀丸再任		2.15	宝永のスギ県指定天然記念物となる
	10.18	校舎を新設し特殊学級（御殿場学園）開園 秩父宮妃御臨席		3.15	文化財のしおり第 4 集「富士宝永の噴火と長坂遺跡」刊行
	10.31	原里小学校用務員住宅竣工		3.29	富士岡幼稚園舎竣工
	10.31	ぐみ沢上公民館竣工	昭和 38 年度		
	11.6	原里中学校県教委指定技術家庭科教育研究発表会開催	38.	4.1	市立養護学校認可、開校
36.	1.20	永塚公民館竣工		4.1	県立御殿場南高等学校開校
	1.31	川柳公民館竣工		4.14	市立養護学校開校式
昭和 36 年度				5.14	御殿場南小学校屋内運動場竣工
36.	4.1	玉穂中学校印野中学校を統合して市立西中学校開校		8.13	御殿場小学校 3 号校舎竣工
	5.26	御殿場中学校増築校舎竣工		9.1	ボーイスカウト御殿場小山地区発足
	6.18	ボーイスカウト御殿場 1・2 団発足		9.18	湯沢公民館竣工
	7.20	県立御殿場南高等学校（新設）敷地まとまる		10.2	玉穂小学校 70 周年記念式典挙行
	9.30	富士岡中学校増築工事竣工		10.3	原里小学校貯金率優良校として文部大臣表彰をうける
	10.1	原里小学校給食施設優良校につき文部大臣表彰をうける		11.1	市立養護学校マイクロバスによる送迎を始める
				11.15	市立養護学校校舎落成式

	12.27	川柳浅間神社のスギ、県指定天然記念物となる		2.15	高根小・中学校屋内運動場竣工
39.	2.1	神山小学校創立 10 周年記念式典挙行		3.20	養護恰好教員住宅竣工
	2.10	印野本村公民館竣工		3.20	文化財のしおり第 7 集「御殿場の古文書」刊行
	3.20	文化財のしおり第 5 集「御殿場の文化財」刊行		3.20	ライオンズスポーツセンター竣工（高根学園保育所建物移築）
	3.28	ガールスカウト集 33・34 団発足		3.22	刀銘備州長船家重、県指定文化財（工芸）となる
昭和 39 年度			昭和 41 年度		
39.	4.1	板妻区幼稚園を市に移管し、原里西幼稚園として発足	41.	7.3	玉穂小学校プール竣工
	6.10	御殿場南小学校集団赤痢発生		7.20	御殿場小学校プール竣工
	7.2	時之栖公民館竣工		8.19	駒門風穴へ電灯設備（文部省認可）
	7.11	高根小・中学校給食室竣工		9.10	御殿場小学校 80 周年記念式典挙行
	7.21	玉穂幼稚園増築工事竣工		10.25	養護恰好特殊教育学習指導法研究発表会開催
	8.1	御殿場南小学校プール竣工		10.26	原里幼稚園県幼稚園研究会指定研究発表会開催
	9.12	高根中学校運動場造成工事完了		10.27	市営東運動場竣工
	9.25	「教育十年の歩み」刊行		12.15	富士岡中学校屋内運動場竣工
	10.1	教育長勝又秀丸任期満了により退任、土屋一夫新教育長就任	42.	1.19	原里幼稚園園舎増築
	10.29	玉穂小学校給食優良校により文部大臣表彰をうける		2.11	文化財のしおり第 8 集「鮎沢の祈禱三番」刊行
	11.5	西中学校県教委指定理科教育課程研究発表会開催		3.20	東運動場バックネット竣工
	11.14	原里小学校文部省指定、道徳教育研究発表会開催	昭和 42 年度		
	12.15	玉穂小学校給食優良校により県教育長表彰を受ける	42.	4.1	東駿学園私立御殿場西高等学校開校
40.	3.10	御殿場南小学校増築校舎竣工		4.24	新橋東公民館竣工
	3.19	東山のサイカチ、県指定天然記念物となる		5.30	御殿場市歌市民の歌レコード作成
	3.20	文化財のしおり第 6 集「御殿場の仏像」刊行		6.24	富士岡小学校教員住宅竣工
	3.20	神山小学校、御殿場南小学校教員住宅竣工		8.22	養護学校は新築中の新敷地に移転
	3.25	西中学校屋内運動場竣工		9.30	富士岡小学校災害復旧校舎及危険校舎改築工事竣工
	3.31	富士岡中学校駿河分校を休校する		10.11	沼田の湯立神楽、県指定無形民俗文化財となる
昭和 40 年度				11.20	西中学校県知事より子ども銀行表彰をうける
40.	4.1	森之腰区立幼稚園を市に移管する		11.25	養護学校新校舎竣工
	8.25	森之腰幼稚園増築園舎竣工		12.19	養護学校に関する裾野市並びに小山町との協定成立
	9.1	子ども会事務を児童館に移管する	43.	1.19	原里幼稚園園舎増築竣工
	11.8	御殿場幼稚園県教委指定音楽リズム研究発表会開催		2.9	市営南運動場竣工
	11.30	西中学校創立 5 周年記念式挙行		3.15	原里小学校増改築工事（北校舎）竣工
41.	2.1	市立幼稚園連絡協議会結成		3.28	御殿場中学校屋内運動場竣工
				3.31	文化財のしおり第 9 集「御殿場の文化財案内」刊行

昭和 43 年度

- 43. 5.10 市の鳥（くろつぐみ） きまる
- 7.1 学習指導要領全面改訂
- 8.5 阿部雲気流博物館資料の貸与をうける
- 10.1 教育長土屋一夫再任
- 10.21 市営南運動場バックネット竣工
- 11.13 御殿場中学校県教委指定保健体育研究発表会開催
- 11.27 富士岡幼稚園県幼稚園研究会指定研究発表会開催
- 44. 2.7 養護学校増築竣工
- 2.10 御殿場南小学校県教委指定学校給食研究発表会開催
- 3.30 高根中学校用地取得
- 3.30 高根小学校プール竣工
- 3.31 文化財のしおり第 10 集「御殿場のれいめい」刊行
- 3.31 市立高等家政学校を休校とする

昭和 44 年度

- 44. 4.14 御殿場小学校科学技術庁長官賞（創意工夫）をうける
- 5.1 市立高等家政学校休校により、社会教育会館と名称変更し、社会教育課が使用を開始する
- 7.14 御殿場南小学校低学年用プール完成
- 8.15 養護学校スクールバス更新
- 8.21 印野小学校野鳥愛護林 15ha 設置
- 9.1 町屋公民館竣工
- 9.1 養護学校実習地拡張
- 9.1 市史編さん準備委員会設置
- 10.7 学校開放事業始まる（御中屋体 3 日間）
- 10.23 森之腰幼稚園県幼稚園研究会指定研究発表会開催
- 45. 1.15 養護学校職員住宅竣工
- 3.10 文化財のしおり第 11 集「老樹と銘木」刊行
- 3.20 御殿場小学校増改築 5 号校舎竣工
- 3.20 富士岡小学校プール竣工（地区プール）

昭和 45 年度

- 45. 7.7 御殿場南小学校、学校給食優良校として県教育長より表彰をうける
- 9.15 第一学校給食センター竣工
- 9.20 萩原公民館竣工

- 10.5 第一学校給食センター事業開始
- 10.18 印野小学校創立 80 周年記念式典挙行
- 11.2 原里中学校校舎の一部消失
- 11.10 市立図書館会館（社会教育会館の一部使用）
- 11.12 玉穂小学校県教委指定音楽研究発表会開催
- 46. 1.31 御殿場南小学校増築工事竣工
- 3.15 文化財のしおり第 12 集「沼田の湯立神楽」刊行
- 3.25 印野小学校プール竣工（地区プール）
- 3.31 原里中学校災害校舎復旧

昭和 46 年度

- 46. 4.26 移動図書館車「ライオンズ号」の寄贈をうける
- 8.6 第 13 回世界ジャンボリー富士宮市朝霧で開催、暴風により市内各学校を避難所に使用
- 9. 原里中学校用地拡張
- 10.25 市立養護学校屋内運動場竣工
- 10.31 原里小学校増改築校舎（南校舎）竣工
- 11.10 図書館主催講演会児童文学作家清水達也氏
- 12.8 足長おじさんこと、佐藤徳栄氏死亡
- 12.20 高根中学校新築校舎竣工（新敷地）
- 47. 1.2 札幌冬季オリンピック聖火通過
- 3.20 深沢城跡案内板作成
- 3.21 玉穂小学校校地拡張

昭和 47 年度

- 47. 4.1 社会教育指導員設置
- 4.11 市役所新庁舎開庁式 教育委員会は 5 階を使用
- 5.20 原里中学校増築（2 教室）竣工
- 6.27 市の木（けやき）市の花（富士桜）決まる
- 9.1 小・中・養護学校防災施設（火災報知器）整備完了
- 9.11 善龍寺の喚鐘、二岡神社の灯籠、市指定文化財となる
- 10.1 教育長土屋一夫任期満了につき退任、新教育長土屋隆就任
- 10.1 学習指導要領一部改訂
- 10.7 第 1 回市民スポーツ祭挙行

10.17	西中学校子ども銀行大蔵大臣表彰を受ける	2.28	神山小学校新築校舎竣工（新敷地）
11.3	文化財のしおり第 13 集「御殿場のあゆみ」刊行	3.10	神山小学校新築校舎入校式
12.17	富士岡幼稚園県幼稚園研究会指定、研究発表会開催	3.27	オリエンテーリング御殿場東山コース公認決定 県公認 No.9 JoCL 公認 No.303
12.27	南中学校（新設）敷地取得	3.28	文化財のしおり第 15 集「御殿場の供養塔と道標」刊行
48. 3.26	玉穂小学校増改築校舎竣工		
昭和 48 年度		昭和 50 年度	
48. 4.28	大坂公民館竣工	50. 4.22	留守家庭児童保育開始
6.6	手焙形土器が国指定重要文化財となる	8.20	養護学校スクールバス更新
7.1	神山小学校敷地取得（移転）	11.1	第一学校給食センター排水処理施設施行
10.1	森之腰幼稚園園舎増築竣工	11.13	玉穂小学校県教委指定視聴覚教育研究発表会開催
11.2	原里幼稚園園舎増築竣工	11.28	南中学校（新設校）用地取得
11.10	図書館主催講演会児童文学作家浜野卓也氏	12.25	富士岡小学校増改築校舎竣工
12.24	鮎沢の祈祷三番が市指定無形民俗文化財となる	12.29	図書館主催講演会作家井上靖氏
49. 3.1	高根小学校内務員宿舎竣工	51. 1.24	高根小学校学校給食優良校により県教育長表彰をうける
3.15	文化財のしおり第 14 集「古民家をたずねて」刊行	1.31	印野小学校内務員住宅竣工
3.25	富士岡小学校増改築校舎竣工	2.26	NHK 委嘱養護学校放送教育研究会開催
3.31	玉穂小学校敷地内に民俗資料館設置	3.1	文化財のしおり第 16 集「御殿場の文学碑」刊行
昭和 49 年度		3.29	南中学校（新設）校地造成完了
49. 4.1	教育次長制を設ける	3.31	永原追分遺跡発掘調査
4.1	派遣社会教育主事設置	3.31	御殿場小学校基本調査有料により文部大臣表彰をうける
4.1	私立「みなみ幼稚園」開園	3.31	市立高等家政学校を廃校とする
4.1	市少年活動指導員制始まる		
4.30	原里小学校増改築校舎竣工	昭和 51 年度	
5.15	青少年センター設置	51. 4.17	移動図書館車「ライオンズ 2 世号」寄贈をうける
6.22	東運動場野球場整備（芝生）	6.10	高根小学校渡廊下竣工
6.26	高根小学校増改築校舎竣工	8.15	富士登山マラソン復活第 1 回大会開催
7.1	各地区（支所）に社会教育担当職員（併任）をおく	8.20	玉穂小学校学校給食調理コンクールに出場 奨励賞をうける
8.28	玉穂幼稚園移転（旧玉穂中学校改造）	10.1	教育長土屋隆再任
10.29	高根小学校県教委指定学校給食研究発表会開催	10.15	学校給食米給食開始（月 2 回）
11.3	高根小学校創立 100 周年記念式典挙行	10.15	御殿場中学校文部省指定教育課程国語漢字指導研究発表会開催
11.22	印野小学校増家畜校舎竣工（防音校舎）	11.12	高根中学校文部省指定社会福祉教育研究発表会開催
50. 1.17	神場公民館竣工	12.7	高根小学校給食優良校により文部大臣表彰をうける
1.24	高根中学校学校給食優良校により県教育長表彰をうける		

- 52. 1.20 南中学校（新設）新築校舎（第 1 期工事）竣工
- 3.1 文化財のしおり第 17 集「御殿場の民話伝説」刊行
- 3.11 原里中学校 30 周年記念としてプラスバンドを編成する
- 3.24 美乃和、保土沢地区コミュニティ併用施設竣工

昭和 52 年度

- 52. 4.1 南中学校開校
- 4.1 スポーツ振興審議会発足
- 4.1 御殿場市文化団体連絡協議会を発展解消し、御殿場市文化協会発足
- 5.1 社会教育職員の地区駐在制度（選任）設置
- 7.1 学習指導要領全面改訂
- 53. 1.1 富士岡幼稚園電分校は独立して電幼稚園となる
- 2.12 印野小学校市教委指定視聴覚教育研究発表会開催
- 2.13 電幼稚園新園舎竣工
- 2.15 御殿場小学校増改築校舎（1 号）竣工
- 3.16 杉名沢地区コミュニティ供用施設竣工
- 3.25 南中学校増築校舎（第 2 期工事）竣工
- 3.30 東運動場夜間照明設置
- 3.31 文化財のしおり第 18 集「御殿場の神社・寺院案内」刊行

昭和 53 年度

- 53. 4.1 総合体育施設建設室設置
- 4.1 上小林分校第一学校給食センターより給食配送となる
- 4.10 学校給食米飯給食月 3 回実施
- 7.27 関屋塚遺跡発掘調査
- 8.3 第 7 回日本ジャンボリー土屋台にて開催
- 8.20 第 1 学校給食センター兼主催調理コンクールに出場優秀賞をうける
- 10.11 養護学校増築校舎竣工
- 11.1 西中学校、玉穂小学校、印野小学校、玉穂幼稚園県指定幼少中一貫教育研究発表会開催
- 11.1 富士岡幼稚園神山分園は独立して神山幼稚園となる
- 11.20 神山幼稚園新築園舎竣工（旧神山小学校跡地）

- 11.21 原里小学校市指定視聴覚教育研究発表会開催
- 54. 2.5 南中学校屋内運動場竣工
- 2.6 森之腰幼稚園敷地拡張
- 3.26 玉穂地区児童屋内体育施設竣工
- 3.30 高根中学校夜間照明施設竣工
- 3.31 印野小学校体育器具庫竣工
- 3.31 文化財のしおり第 19 集「御殿場の農業」刊行

昭和 54 年度

- 54. 4.1 養護学校義務化実施
- 4.10 米飯給食集 1 回実施
- 4.17 富士岡小学校創意工夫育成功労学校として科学技術庁長官賞をうける
- 8.2 栄養士小松静子学校給食功勞により文部大臣より表彰をうける
- 8.20 高根小学校給食調理コンクールに出場奨励賞をうける
- 10.18 原里幼稚園並びに県幼稚園研究会東部文部指定研究発表会開催
- 10.20 風穴公民館竣工
- 10.24 第二学校給食センター竣工
- 10.30 鮎沢公民館竣工
- 11.6 西中学校、富士岡中学校給食開始
市内各学校の全員給食が実現
- 11.16 御殿場小学校、県教委指定歯の保健指導研究発表会開催
- 11.20 富士岡中学校市指定特別教育活動研究発表会開催
- 55. 1.31 水士野地区コミュニティ併用施設竣工
- 1.31 富士岡小学校屋内運動場竣工
- 2.25 南運動場夜間照明施設竣工
- 2.29 西中学校増築校舎竣工
- 3.10 深沢地区コミュニティ併用施設竣工
- 3.25 ぐみ沢下区公民館竣工
- 3.30 西中学校夜間照明施設竣工
- 3.30 東運動場観覧席竣工

昭和 55 年度

- 55. 4. 家庭教育学級（委託学級から自主学級へ）
- 5.15 ~16 第 1 回青年国内研修（愛知県安城市）
- 5.16 炊き込みご飯学校給食に取り入れる

5.27	永塚のカシワ、駒門の大公孫樹、市指定文化財となる	昭和 57 年度		
10.1	教育長土屋隆任期満了につき退任、新教育長に芹沢榮一就任	57. 4.1	高根小学校「ことばの教室」開級	
11.22	市体育館竣工	7.1	社会教育課事務室を市民会館に移転（市民会館管理運営教育委員会に委任される）	
56.	2.10	西田中地区コミュニティ併用施設竣工	8.7	養護学校スクールバス更新
	2.17~	第 1 回婦人国内研修（埼玉県所沢市）	9.26	市第 2 体育館竣工
	3.14		12.4	みんなのかるた御殿場発行（3,000 部）
	3.20	仁杉・北久原地区コミュニティ併用施設竣工	58. 1.15	文化財のしおり第 11 号改訂復刻
	3.26	南中学校夜間照明施設竣工	3.9	二枚橋地区コミュニティ併用施設竣工
	3.26	御殿場中学校 1 号校舎改築竣工	3.14	神山小学校校舎増築竣工
	3.26	養護学校スクールバス増車（小山方面・裾野方面をわけて送迎）	3.14	新橋地区コミュニティ併用施設竣工
	3.31	文化財のしおり第 20 集「御殿場の民俗資料」刊行	3.15	中畑東地区コミュニティ併用施設竣工
昭和 56 年度		3.19	御殿場幼稚園園舎改築竣工	
56. 4.1	上小林分校の給食高根小学校より配送になる	3.27	高根地区児童屋内体育施設竣工	
4.9	米飯給食週 2 回実施	3.31	深沢城跡航空測量	
8.13	文化財のしおり第 21 集「御殿場の養蚕」刊行	3.31	生涯教育基礎調査（第二次 600 人）	
8.27	市立図書館建設工事竣工	昭和 58 年度		
8.31	新図書館へ移転のため、旧図書館を閉館、移動図書館車による巡回業務停止	58. 4.1	市立幼稚園授業料口座振替開始	
10.1	体育課発足	5.2	朝日小学校校舎建築竣工	
10.23	生涯教育推進準備委員会	7.6	生涯教育目標策定委員会発足（委員 99 名、事務局 29 名）	
10.31	原里中学校校舎改築竣工	7.23	朝日小学校プール竣工	
11.3	新図書館開館、図書館業務にコンピュータシステム導入稼働開始	8.17	富士山御殿場口登山道開設 100 年史発行	
11.10	移動図書館車ライオンズ号を大型車（3,000 冊積載）に更新 以後 1 台で巡回業務を再開	10.1	萩原地区コミュニティ併用施設竣工	
11.11	神山小学校プール竣工	10.21	西中学校校舎耐震補強竣工	
12.12	上小林公民館竣工	10.24	養護学校校舎増築竣工	
57.	1.22	第 1 回全国統一献立給食実施	59. 1.30	富士岡小学校給食優良校として県教育長表彰をうける
	1.30	永原地区コミュニティ併用施設竣工	1.31	文化財のしおり第 22 集「御殿場の変わりゆく職業」刊行
	2.22	小木原地区コミュニティ併用施設竣工	2.24	玉穂幼稚園園舎移転改築竣工
	2.27	中畑南地区コミュニティ併用施設竣工	3.1	朝日小学校屋内運動場竣工
	3.10	市民文芸「ごてんば」創刊号発行	3.1	御殿場地区児童屋内体育施設竣工
	3.13	御殿場小学校 2 号校舎改築竣工	3.24	川島田地区コミュニティ併用施設竣工
	3.31	「御殿場の発展につくした人々」刊行	3.24	川柳地区コミュニティ併用施設竣工
	3.31	生涯教育基礎調査（第一次 3,000 人）	3.27	塚原地区コミュニティ併用施設竣工
	昭和 59 年		3.31	「生活の知恵、御殿場」刊行
	59. 4.~	静岡県地域学習推進モデル地区指定		

4.1	青少年健全育成会各地区に結成（富士岡、玉穂県指定モデル地区）	3.27	「御殿場市生涯教育」「希望のみくりや」全戸配布
4.1	文化振興会結成（富士岡、玉穂、印野）		生涯区学習推進のつどい実施
6.15	原里中学校技術、格技室建設竣工	3.31	文化財の絵はがき発行 12 枚セット（国・県指定文化財）
7.13	団体事務所（ふれあい会館）建設竣工		二の岡地区コミュニティ併用施設竣工
8.1	図書館駐車場舗装完成	昭和 61 年度	
8.1	「御殿場地区のことば」刊行	61. 4.～	文部省格技（剣道）指定西中学校
10.1	教育長芹沢榮一再任	4.10	図書館用連絡兼搬送車の寄贈をうける
11.9	玉穂幼稚園学校安全優良園として日本学校健康会静岡志部長表彰をうける	5.19	学校給食による集団食中毒発生（御殿場小学校、御殿場南小学校、御殿場中学校、南中学校）
12.12	印野地区児童屋内体育施設竣工	9.19	生涯学習推進組織体制を教育委員会に建議
60. 1.22	富士岡小学校 3 年杉山道洋交通安全スローガン最優秀賞（内閣総理大臣表彰）をうける	10.9	御殿場小学校創立 100 周年記念式典挙行
1.30	第一学校給食センター優良施設として県教育長表彰をうける	10.26	原里小学校創立 100 周年記念式典挙行
1.31	「深沢城」刊行	11.4	多目的広場竣工
3.8	御殿場南小学校校舎特別教室棟改築竣工	11.～	各地区生涯学習啓蒙の集い（50 地区）
3.8	原里中学校屋内運動場改築竣工	62. 3.3	二岡神社の社叢が市指定記念物となる
3.11	西中学校屋内運動場改築竣工	3.10	高根中学校パソコン教育設備機器ネットワークシステム導入
3.16	栢ノ木地区コミュニティ併用施設竣工	3.31	御殿場市立図書館叢書第 1 号「ぐみ沢村名主 江藤孫右衛門道中記」
3.17	印野地区コミュニティ併用施設竣工	昭和 62 年度	
3.30	山之尻地区コミュニティ併用施設竣工	62. 4.	生涯学習推進協議会発足
昭和 60 年度		7.1	図書館コンピュータシステム更新
60. 4.～	文部省研究指定 玉穂幼稚園	7.17	御殿場中学校校舎改築竣工
7.19	富士岡中学校校舎改築竣工	7.22	富士岡地区図書館開設
9.6	生涯教育目標制定完了	8.15	文化財のしおり第 24 集「御殿場馬車鉄道」刊行
10.12	第 1 回東部青年の翼（中国・上海・杭州）3 泊 4 日	8.23	サンデースポーツ第 1 回中央大会
61. 1.15	成人式式典内容の変更（講演→手作りの舞台）	8.29	生涯学習シンポジウム開催
1.31	文化財のしおり第 23 集「御殿場の変わりゆく生業と用具」刊行	9.12	御殿場南小画工校舎改築竣工
2.19	富士岡中学校格技棟建設竣工	9.12	I Love スポーツ章制定
3.8	御殿場市体育協会創立 30 周年記念式典挙行「御殿場市体育史」刊行	11.13	玉穂幼稚園倉庫竣工
3.10	西中学校普通・特別教室増築及び格技棟建設竣工	11.16	朝日小学校学校歯科優良学校として静岡県保健研究大会において表彰をうける
3.14	高根小学校上小林分校校舎改築竣工	63. 3.3	御殿場小学校分離新設校用地取得
3.15	第三学校給食センター竣工	3.7	御殿場中学校格技棟竣工
3.16	尾尻地区コミュニティ併用施設竣工	3.15	御殿場南小学校プール改築竣工
3.17	御殿場南小学校屋内運動場改築竣工	3.15	高根小学校屋内運動場竣工
3.20	地域指導者名簿作成 各公民館へ配布	3.15	原里西幼稚園園舎敷地造成竣工
		3.27	時之栖地区コミュニティ併用施設竣工

	3.31	養護学校スクールバス更新		10.23	姉妹都市ビーバートン市教育使節団来訪
	3.31	南運動場（Bコート）ダックアウト設置		10.25	朝日小学校生活研究発表会
	3.31	東・南運動場フラッグポール設置	2.	2.9	高内地区コミュニティ併用施設竣工
昭和63年度				2.23	柴怒田地区コミュニティ併用施設竣工
63.	4.8	高根小学校屋内運動場落成式		3.15	永塚地区コミュニティ併用施設竣工
	6.21	御殿場南小学校プールお浄め式		3.23	女性の主張「女が変わる・男が変わる」刊行
	7.12	御殿場小学校分離新設事業説明会		3.31	文化財のしおり第25集「御殿場に伝わる藤の巻狩」刊行
	8.3	原里小学校プール安全祈願祭		3.31	生涯学習実践報告等「みんないきいき生涯学習」刊行
	9.26	玉穂小学校運動場拡張に係る墓地移転の閉眼式		平成2年度	
	10.1	教育長芹沢榮一任期満了につき退任、新教育長鈴木賢治就任	2.	4.1	体育課体育館から本庁現業棟へ移転
	10.7	文部省格技（剣道）指定研究発表会 西中学校		5.14	森之腰幼稚園起工式
	10.19	富士岡幼稚園敷地造成工事地鎮祭		6.5	文部省会計検査
	11.17	JRC市指定研究発表会		6.9	第一学校給食センター改築工事竣工
元	1.19	玉穂小学校運動場拡張事業地鎮祭		7.5	富士岡幼稚園落成式
	2.2	南中学校校舎増築棟落成披露		7.27	東小学校屋体起工式
	2.18	中清水地区コミュニティ併用施設竣工		8.4	市制施行35周年記念式典
	3.2	御殿場小学校分離新設校、校名「東小学校」に決定		8.6	東小画工校舎建築工事竣工
	3.3	御殿場小学校分離新設校地取得		9.17	総合体育施設（屋外）グラウンド舗装工事起工式
	3.6	原里小学校屋内運動場落成式		9.21	東部9市教育委員長会議
	3.11	富士岡中学校屋内運動場落成式		10.1	高校総体準備室を体育課内に設置
	3.20	富士岡幼稚園敷地造成竣工		10.14	ビーバートン市教育使節団来庁
	3.20	御殿場市立学校設置審議会答申		10.15	深沢城跡総合案内板設置
	3.20	東小学校通学区域の決定		10.22	学校設置審議会（養護学校高等部）
	3.31	深沢城跡案内標柱設置		11.23	市体育館開館10周年
	3.31	御殿場市立図書館叢書第2号「土屋五東日記」刊行		12.1	神山のタブノキ、市指定天然記念物となる
平成元年			3.	1.29	東小学校工事監査
元	4.25	東小学校建設地元説明会		1.31	仁杉・北久原地区コミュニティ併用施設増改築工事竣工
	5.12	原里西幼稚園落成式		2.	森之腰幼稚園園舎竣工
	5.16	東小学校建設委員会		3.30	「女性の主張」（テーマ 女性の自立）刊行
	5.18	東小学校建設地埋蔵文化財調査		3.30	萩蕪地区コミュニティ併用施設竣工
	7.12	富士岡幼稚園建設（改築）建設委員会		3.30	東小学校プール竣工
	7.20	東小学校建設起工式		3.30	玉穂地区西広場竣工
	8.12	富士岡幼稚園園舎改築起工式		平成3年度	
	9.19	国立中央青年の家開設30周年記念式典 皇太子殿下の御臨席を賜る	3.	4.1	東小学校開校式
	9.25	社会教育課市民会館から本庁5回へ移転			

- 5.24 東小学校グラウンド竣工
- 8.1~4 全校高校総体剣道大会
- 8.31 東小学校屋内運動場竣工
- 9.30 高校総体準備室の廃止
- 4. 3.25 御殿場地区コミュニティ併用施設竣工
- 3.25 中畑北地区コミュニティ併用施設竣工
- 3.30 総合体育施設中央テニスコート竣工
- 3.30 印野地区スポーツ公園丸尾パーク竣工
- 3.31 文化財のしおり第 26 集「続・御殿場のあゆみ」刊行

平成 4 年度

- 4. 4.1 養護学校高等部開設
- 4.1 富士フェニックス短期大学開校
- 10.1 教育長鈴木賢治再任
- 11.30 中山中央公民館竣工
- 5. 1.5 光真寺の三十三体仏、林氏の長屋門、市指定文化財となる
- 3.10 竈幼稚園園舎増築工事竣工
- 3.14 総合体育施設陸上競技場竣工
- 3.25 高根ふれあい広場竣工
- 3.25 中畑西地区コミュニティ併用施設竣工
- 3.30 東小学校体育器具庫兼屋外便所建築工事竣工

平成 5 年度

- 5. 4.1 ライオンズスポーツセンターを民俗資料収蔵庫として利用する
- 8.4 杉名沢区公民館竣工
- 9.1 文化財のしおり第 27 集「御厨の巡礼」刊行
- 10.23 高根中郷館竣工
- 11.19 北久原区公民館竣工
- 6. 2.1 印野内山のヒノキ、市指定天然記念物となる
- 3.25 総合体育施設陸上競技場夜間照明竣工

平成 6 年度

- 6. 6.1 朝日小学校に放課後児童教室開設
- 10.29 静岡女性ミリオンフォーラム御殿場地域大会
- 12.20 はればれダイヤル（青壮年相談電話）設置
- 7. 2.5 地域づくり活動「ごてんば DONDON」
- 2.13 印野小学校復旧温度保持工事竣工

- 3.1 養護学校県立移管が正式決定
- 3.20 高根小学校 C 棟及び高根学校給食センター完成

平成 7 年度

- 7. 4.27 東運動場スコアボード落成式
- 5.15 御殿場地区広場起工式
- 5.20 教育講演会
- 6.6 平成 15 年開催の国民体育大会馬術競技会場市に決定
- 8.6 95 富士山スポーツフェスティバル
- 9.16 男女共同参画社会づくり講演会
- 11.3 図書館祝日特別開館(以後 5/3,5,11/3)
- 11.23 体育館入場者 150 万人記念セレモニー
- 12.13 御殿場中学校女子チーム全国中学校駅伝競走大会出場
- 12.22 原里地区広場起工式
- 8. 2.17 男女共同参画社会づくり「パートナーフォーラム」
- 3.15 印野小学校最後の単独休職
- 3.31 文化財のしおり第 28 集「御殿場の別荘」刊行

平成 8 年度

- 8. 7.6 パレット御殿場完成
- 7.17 茱萸沢上地区コミュニティ併用施設起工式
- 7.17 図書館ボランティアの会発足
- 8.9 わたしの主張'96、平成 8 年度「少年の主張」静岡県大会開催
- 10.1 教育長鈴木賢治任期満了につき退任、教育長吉川桂二就任
- 10.25 印野小学校給食受領室完成
- 12.25 竈幼稚園グラウンド改修工事完成
- 12.26 御殿場中学校女子チーム全国中学校駅伝競走大会準優勝
- 9. 3.8 生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」
- 3.10 神山小学校駿河分校、富士岡中学校駿河分校廃止
- 3.30 茱萸沢上地区コミュニティ併用施設完成

平成 9 年度

- 9. 4.1 近隣 4 市 3 町（御殿場市・裾野市・沼津市・三島市・小山町・長泉町・清水町）で図書館の広域利用を開始
- 4.4 放課後児童教室を原里小学校に設置

6.27	芸術文化事業を統一した市民芸術祭始まる	平成 11 年度	11. 4.1	玉穂小学校・朝日小学校に養護学級開設
8.12	原里地区広場(友愛パーク・原里)完成		6.26	玉穂地区屋内プール落成式
11.16~	生涯学習ボランティアセンター自主講座		8.20	富士岡小学校 1-1 号校舎改築工事完成
11.29	青少年健全育成キャンペーン「市民のつどい」開催		9.19	国立中央青年の家 40 周年記念事業
12.15	玉穂地区プール建設工事起工式		11.5	夢とゆとりの教育モデル事業
12.23	御殿場中学校女子チーム全国中学校駅伝競走大会全国制覇		12.23	御殿場中学校女子チームが第 7 回全国中学校駅伝競走大会 3 連覇
12.24	陸上競技場公認継続		12. 1.31	高根ふれあい広場本部関建設工事完成
10. 1.16	雪害により東小学校上屋付プール外被災		3.27	旧秩父宮御殿場御別邸、市指定文化財となる
1.30	高根地区体育館駐車場整備工事完成		3.31	幼児教育振興計画策定所完成
1.30	御殿場中学校屋内運動場完成		3.31	西中学校養護学級整備工事完成
2.22	男女共同参画社会づくり「パートナーフォーラム」		3.31	御殿場市立養護学校閉校
2.25	市内各所に分散保存していた歴史資料を一括保存し活用するために、茱萸沢に民俗資料収蔵庫を整備	平成 12 年度	12. 4.1	県立御殿場養護学校開校
2.26	国体中央競技団体正規視察		4.1	西中学校に養護学級開設
2.27	県立養護学校関連水路改修工事完成		4.1	幼児教育推進事業開催
3.30	文化財のしおり第 29 集「御殿場の記念碑」刊行		5.31	第 58 回国体馬術競技場建設工事着工
			5.31	市指定文化財旧石田家住宅を御殿場市たくみの郷に移築完了
			7.15	高根西部地区広場起工式
			8.1	久成寺の鱈口、市指定文化財となる
			9.29	原里中学校、高根中学校心の教室整備工事完成
			10.2	教育長吉川桂二任期満了につき退任、教育長細谷旭就任
			11.18	東小学校創立 10 周年記念式挙行
			11.23	第 1 回静岡県市町対抗駅伝競走大会準優勝
			12.16	第 6 回生涯学習のつどい「ごてんば
			~17	DONDON」開催
			12.23	御殿場中学校女子チーム第 8 回全国中学校駅伝競走大会準優勝
			13. 2.14	文化財のしおり第 30 集「新版御殿場の文化財」刊行
			2.28	富士岡幼稚園増築工事完成
			3.30	陸上競技場写真判定室設置工事完成
			3.30	東運動場夜間照明改修工事完成
			3.31	(仮) 幼児教育センター調査研究書完成
		平成 13 年度	13. 4.1	御殿場小学校、富士岡小学校に養護学級開設
平成 10 年度				
10. 4.1	はればれ巡回相談開始			
4.6	放課後児童教室を富士岡小学校に設置			
6.10	市議会で第 58 回国民体育大会馬術競技開催を決議			
7.21	第 58 回国民体育大会御殿場市準備委員会設立			
8.28	富士岡小学校 1-1 号校舎改築工事着手			
10.1	図書館コンピュータシステム更新、併せて県中央図書館とのパソコン通信(資料検索用)開始、利用者解放端末機の設置			
12.23	御殿場中学校女子チームが第 6 回全国中学校駅伝競走大会 2 連覇			
11. 1.23	第 5 回生涯学習のつどい「ごてんば			
~24	DONDON」開催			
2.2	夢とゆとりの教育研究会提言書提出			
3.18	旧石田家住宅が市指定文化財となる			
3.23	西中学校心の教室整備工事完成			
3.25	深沢城跡保存管理計画策定報告書完成			
3.31	西中学校駐車場整備工事完成			
3.31	玉穂地区屋内プール建設工事完成			

4.17～	国体馬術競技場施設整備	2.12	高根小学校受水槽設置工事完成
4.26～	国体馬術競技実行委員会	3.	御殿場市スポーツ振興基本計画を策定
5.18～	国体馬術競技用具等整備	3.19	御殿場南小学校 1-2 号校舎改築工事完成
8.10	富士岡小学校校舎改築工事完成	3.21	深沢城跡馬伏川河川改修に伴う発掘調査報告書刊行
8.31	小学校インターネット導入	3.25	「日野承認山中兵右衛門家文書目録」刊行
9.8	幼稚園・保育園合同研修会開催	3.31	御殿場南小学校 1-2 号校舎改築付帯外構工事完成
10.7	市スポーツ祭 30 周年記念式典	3.31	西中学校技術科棟解体工事完了
10.14	高根西部地区広場竣工	3.31	市民文芸ごてんば第 19 号刊行
10.22	南中学校、富士岡中学校心の教室整備工事完成		
11.8	図書館新館開館 20 周年記念式典	平成 15 年度	
11.10	第 7 回報徳サミット開催	15. 4.1	御殿場南小学校、東小学校に養護学級開設
11.23	第 2 回静岡県市町対抗駅伝競走大会準優勝	8.31	朝日小学校心の教室整備完成
12.23	御殿場中学校女子チーム第 9 回全国中学校駅伝競走大会 7 位入賞	9.10	富士岡小学校・高根小学校心の教室整備完成
14. 1.15	玉穂地区屋内プール整備（駐車場外整備工事 4,500 m ² 他）	10.26～30	第 58 回国民体育大会馬術競技会御殿場馬術競技場で開催
3.13	中央テニスコート管理棟竣工 66 m ²	11.16	親子読書普及促進事業「松谷みよ子講演会」開催
3.25	西中学校夜間照明設備撤去工事	12.2～	深沢城跡第 II 郭確認調査
3.25	陸上競技場放送設備改修工事完成	12.5	第 4 回静岡県市町対抗駅伝競走大会御殿場市チーム準優勝
3.29	御殿場中学校テニスコート整備（コート 2 面）	16. 3.10	神山幼稚園園舎増築工事完成
平成 14 年度		3.15	西中学校特別教室棟改築工事完成
14. 4.1	原里小学校、御殿場中学校、富士岡中学校、原里中学校に養護学級開設	3.26	西中学校特別教室棟付帯工事完成
5.17～	ワールドカップサッカーウルグアイチームのキャンプ地受け入れ	平成 16 年度	
5.26		16. 7.1	御殿場市馬術・スポーツセンターの管理運営に NPO 法人御殿場市体育協会を指定管理者として協定書を締結
8.10	幼稚園・保育園・小学校合同研修会開催	7.20～24	第 38 回全国高等学校馬術競技会御殿場市馬術・スポーツセンターで開催
8.28	玉穂小学校心の教室整備完成	9.21	印野小学校心の教室整備完成
9.30	原里小学校心の教室整備完成	10.1	教育長細谷旭任期満了につき退任、教育長三井米木就任
10.	国民体育大会馬術競技で川口雅美選手が 3 年連続優勝	10.1	図書館コンピュータシステム更新
11.9	朝日小学校創立 20 周年記念式典	10.29	御殿場中学校、西中学校テニスコート整備工事完成
11.30	第 3 回静岡県市町村大公駅伝競走大会御殿場市チーム優勝	11.1	市民文芸ごてんば第 20 号刊行
12.2～	深沢城跡第 1 郭確認調査	11.2	ブックスタート事業開始
12.8	陸上競技場 2 種公認継続申請に伴う改修	12.4	第 5 回静岡県市町対抗駅伝競走大会御殿場市チーム準優勝
15. 2.1～	第 7 回生涯学習のつどい「ごてんば	12.6～	深沢城跡第 III 郭確認調査
2.2	DONDON」開催		
2.5	富士岡幼稚園園舎増築工事完成		
2.12	原里幼稚園園舎増築工事完成		

17.	1.31	西中学校渡ろうか建設工事完成	2.10	親子読書普及促進事業講演会「心に響く語りの世界」開催
	2.9	東小学校心の教室整備完成		
	2.9～13	市制施行 50 周年記念「目で見る御殿場市 50 年の歩み展」開催	3.12	南運動場夜間照明改修工事完成
	2.12～13	第 8 回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」開催	3.30	子ども読書活動推進計画策定
	3.15	神山小学校校舎増設工事完成	平成 19 年度	
	3.15	御殿場幼稚園園舎増築工事完成	19.	6.9～10 駿東地区体育指導委員実技宿泊研修会
	3.15	印野地区体育館建設工事完成	8.1	「第 24 回国民文化祭御殿場市実行委員会」設立総会及び第 1 回実行委員会開催
	3.25	神山小学校屋上防水改修工事完成	11.3	図書館まつり
平成 17 年度			11.26	二枚橋のカシワ記念物保存修理事業、
17.	6.29	印野地区プール建設工事完成	～1.31	東山のサイカチ保護増殖事業、永塚のカシワ・林氏の長屋門看板作製・設置
	8.29	NHK 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催	12.1	第 8 回静岡県市町村対抗駅伝競走大会 5 位入賞
	10.7	神山幼稚園耐震補強工事完成	12.11～16	宝永噴火・富士山資料展開催
	10.12～19	市制施行 50 周年記念「50 年後の御殿場市絵画展」開催	12.15	第 15 回全国中学校駅伝競走大会富士岡中学校女子チーム優勝、富士岡中学校男子チーム 9 位
	12.1	文化財のしおり第 31 集「御殿場の石仏」刊行	20.	2.8～9 東海 4 県体育指導委員研究大会(熱海市)
	12.3	第 6 回静岡県市町村対抗駅伝競走大会御殿場市チーム優勝	2.9～10	青少年のための科学の祭典開催
	12.18	第 13 回全国中学校駅伝競走大会御殿場中学校男子 9 位、富士岡中学校女子 10 位	3.13	陸上競技場第 2 種公認継続認定
18.	3.2	神山複生病院事務所棟、国登録文化財となる	3.23	中央テニスコート改修工事完了
	3.15～	「東山のサイカチ」保護増殖事業	3.31	御殿場市学校評価システム構築
	3.31	深沢城跡確認調査報告書刊行	3.31	神山小学校校舎増築工事完成
			3.31	文化財のしおり第 32 集「富士山に関わった人々」刊行
平成 18 年度			平成 20 年度	
18.	4.1	総合体育施設指定管理者制度導入	20.	4.24 国民文化祭御殿場市実行委員会第 2 回会議
	8.26	第 5 回東京国際和太鼓コンテスト南中学校太鼓クラブ全国大会出場	6.1	国民文化祭「富士の恵み 御殿場大茶会」第 1 期練習会
	9.28	御殿場小学校 A 棟建設工事完成	7.26	国民文化祭「富士山一人打ち太鼓まつり」プレ大会
	11.14	竈幼稚園耐震補強工事完成	～27	
	12.2	第 7 回静岡県市町村対抗駅伝競走大会御殿場市チーム 6 位入賞	10.1	教育長三井米木再任
	12.16	第 14 回全国中学校駅伝競走大会富士岡中学校女子準優勝	10.31	御殿場小学校 B 棟建設工事完成
	12.16	第 34 回マーチン具バンド・バトントワリング全国大会西中学校吹奏楽部銀賞	11.3	図書館まつり
19.	2.3～4	第 9 回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」	11.9	国民文化祭「富士の恵み 御殿場大茶会」第 2 期練習会
		青少年のための科学の祭典開催	11.16	駿東地区レクスポ大会
			12.6	第 9 回静岡県市町村対抗駅伝競走大会 第 2 位
			12.21	第 16 回全国中学校駅伝競走大会富士岡中学校女子チーム第 8 位、富士岡中学校男子チーム第 22 位

- 21. 2.7~8 第 10 回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」開催
- 2.14~15 青少年のための科学の祭典開催
- 3.25 高根小学校耐震補強工事完成
- 3.25 原里中学校便所建築工事完成
- 3.31 二岡神社の社叢看板更新

平成 21 年度

- 21. 4.1 馬術・スポーツセンター指定管理者制度導入
- 4.16 国民文化祭御殿場市実行委員会第 3 回会議
- 6.5 御殿場小学校完成報告会
- 7.16 国民文化祭開催 100 日前記念イベント カウントダウンボード除幕式
- 7.29~31 第 43 回全日本高等学校馬術競技大会
- 8.1~ 中田遺跡・松ノ木遺跡発掘調査
- 8.17~ 市指定文化財「林氏の長屋門」屋根修繕
- 9.17 国民文化祭御殿場市実行委員会第 4 回会議
- 10.25 国民文化祭「富士山一人打ち太鼓まつり」開催
- 10.31 国民文化祭「富士の恵み 御殿場大茶会開催」
- ~11.1
- 11.3 図書館祭り
- 12.5 第 10 回記念静岡市町村対抗駅伝競走大会 第 3 位
- 12.19 第 17 回全国中学校駅伝競走大会富士岡中学校女子チーム第 5 位
- 22. 2.8 国民文化祭御殿場市実行委員会第 5 回会議
- 2.13~14 「青少年のための科学の祭典」開催
- 3.2~24 市指定文化財「旧秩父宮御殿場御別邸」母屋廊下修繕
- 3.16 南中学校技術科棟完成
- 3.19 竈幼稚園 3 歳児保育室完成
- 3.24 御殿場中学校部室等完成
- 3.26 中田遺跡・松ノ木田遺跡発掘調査報告書刊行
- 3.31 国指定天然記念物「駒門風穴」及び「印野の熔岩隧道」保存計画刊行

平成 22 年度

- 6.30 南学校給食センター竣工
- 7.26 高根中学校校舎完成
- 8.20 南学校給食センター完成披露式

- 8.31 第二・第三学校給食センター閉鎖
- 9.1 南学校給食センター稼働開始
- 第一学校給食センターを西学校給食センターに名称変更
- 9.1 文化財のしおり第 33 集「御殿場の人物事典」刊行
- 11.3 図書館まつり
- 12.19 第 18 回全国中学校駅伝競走大会富士岡中学校女子チーム優勝、富士岡中学校男子チーム第 13 位
- 23. 2.5 ~ 第 11 回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」開催
- 6 2.10 社会教育委員会提言「次世代に伝えたい郷土資料館」提出

平成 23 年度

- 23. 8.8 高根中学校屋外便所建築工事完成
- 8.22 高根中学校校舎完成報告会
- 9.16 南中学校屋内運動場改築工事完成
- 11.3 図書館まつり
- 11.26 第 6 回青少年のための科学の祭典富士山大会 in ごてんば開催
- ~27
- 11.29 市公民館廃止
- 24. 2.17 南中学校屋内運動場完成報告会
- 2.17 玉穂小学校校舎改築工事完成
- 2.23 富士カントリー倶楽部クラブハウス国登録文化財となる
- 3.15 御殿場市公民会解体業務完了
- 3.21 御殿場小学校 1 号棟耐震補強・改修工事完成
- 3.23 神山小学校グラウンド整備工事完成

平成 24 年度

- 24. 10.1 教育長三井米木任期満了につき退任、教育長勝又將雄就任
- 10.10 玉穂小学校校舎完成報告会
- 11.3 図書館まつり
- 11.16 第 18 回全国報徳サミット御殿場市大会開催
- ~17
- 25. 2.8 原里小学校校舎改築工事完成
- 2.23 第 12 回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」開催
- 3.7 原里中学校校舎耐震補強・改修工事完成
- 3.20 阿部雲気流博物館資料寄贈される

平成 25 年度

25.	6.29～	富士山世界文化遺産登録記念企画展示	1.29	松ノ木田遺跡 IV 次調査報告書刊行
	7.29	「富士山への街道と信仰」	2.22	神山地区児童屋内体育施設耐震補強工 事完成
	7.1	印野の熔岩隧道「丸尾苑」供用開始	3.15	中田遺跡 IV 次調査報告書刊行
	8.5	富士岡小学校 3 号棟耐震補強工事完成	3.31	御殿場の神社棟札-印野編-刊行
	8.5	御殿場市教育フォーラム 2013		沼田の湯立神楽調査報告書刊行
	8.18	西中学校給食センター汚水浄化システ ム更新修繕		歴史の道富士山御殿場口登山道 MAP 刊行
	11.3	図書館まつり	3.31	教育長勝又將雄新教育委員会制度への 移行に伴い退任、新制度における新教 育長として就任
	11.9	富士山世界文化遺産登録記念第 7 回青 少年のための科学の祭典富士山大会 in ごてんば開催		
	11.30	原里幼稚園園庭拡張工事完成		
	12.9	西学校給食センター回転蒸気釜更新		
26.	1.15	原里西幼稚園園舎増築工事完成		
	1.21	南中学校校舎耐震補強工事完成		
	2.10	印野小学校校舎改築工事完成		
	2.20	原里小学校校舎改築事業完成報告会		
	3.17	原里西幼稚園園庭拡張工事完成		
平成 26 年度				
26.	5.28	高根小学校プール改築工事完成		
	8.1	御殿場市教育フォーラム 2014		
	8.10	御殿場市いじめ防止基本方針策定		
	10.8	「富士山世界遺産登録記念」舞台芸術 鑑賞事業実施		
	11.3	図書館まつり		
27.	2.18	富士岡小学校屋内運動場耐震補強工事完成		
	2.20	玉穂地区体育館（えがお）建設工事完成		
	2.20	印野小学校校舎改築事業完成報告会		
	3.7	第 13 回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」開催		
平成 27 年度				
27.	5.2	玉穂地区体育館（えがお）外構工事完成		
	6.8	玉穂地区体育館（えがお）完成報告会		
	8.10	御殿場市教育フォーラム 2015		
	8.11～22	親と子の文化財講座		
	11.3	図書館祭り		
	12.1	図書館システム更新		
	11.8	第 8 回青少年のための科学の祭典富士 山大会 in ごてんば		
	12.9	印野小学校記念館・資料館改修工事完成		
28.	1.28	食物アレルギー対応給食ごてんばこめ こカレー実施		

2 各種委員名簿

御殿場市学校設置審議会委員 任期2年（平成28年4月1日～平成30年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	瀬戸 亮策	校長会	8	委員	増倉 俊助	知識経験者
2	委員	岩瀬 和代	校長会	9	委員	勝間田 喜輔	知識経験者
3	委員	勝亦 重夫	校長会	10	委員	勝又 正敏	知識経験者
4	委員	廣中 伸行	PTA連合会	11	委員	杉山 孝一	知識経験者
5	委員	西岡 美保	PTA連合会	12	委員	三改木 英夫	知識経験者
6	委員	芹澤 立長	区長会	13	委員	横山 初江	知識経験者
7	委員	湯山 豊彦	知識経験者				

御殿場市就学支援委員会委員 任期2年（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	田内 守之	医師会代表	9	委員	新澤 章彦	学校関係者
2	副委員長	菅沼 博之	学校関係者	10	委員	奥村 慶子	学校関係者
3	委員	江島 光彦	医師会代表	11	委員	渡邊 公美	幼稚園保育園 関係者
4	委員	勝亦 徳恵	知識と経験を 有する者	12	委員	勝間田 なをみ	幼稚園保育園 関係者
5	委員	鹿島 満里子	学校関係者	13	委員	長田 つや子	家庭相談員
6	委員	小松 孝和	学校関係者	14	委員	加藤 明子	市職員
7	委員	百々 由美	学校関係者	15	委員	鈴木 可奈	市職員
8	委員	小宮 隆	学校関係者				

御殿場市就園支援委員会委員 任期2年（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	田内 守之	医師会代表	6	委員	井上 知可江	学校関係者
2	副委員長	渡邊 公美	幼稚園保育園 関係者	7	委員	長田 つや子	家庭相談員
3	委員	百瀬 理美子	知識と経験を 有する者	8	委員	加藤 明子	市職員
4	委員	高杉 江身	幼稚園保育園 関係者	9	委員	鈴木 可奈	市職員
5	委員	鹿島 満里子	学校関係者	10	委員	宮島 千知	市職員

御殿場市いじめの防止等対策推進委員会委員 任期2年（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	太田 正義	大学教員	4	委員	菅沼 大祐	臨床心理士
2	副委員長	内海 雅秀	弁護士	5	委員	中村 仁美	社会福祉士
3	委員	齋藤 昌一	医師				

御殿場市いじめ問題対策連絡協議会委員 任期2年（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	滝口 盛治	学校関係者	14	委員	高杉 聡哉	学校関係者
2	副会長	内海 隆治	保護司	15	委員	柏 伸吾	学校関係者
3	委員	小林 徹	学校関係者	16	委員	中川 智史	学校関係者
4	委員	勝間田 辰也	学校関係者	17	委員	眞東 成至	学校関係者
5	委員	東 真剛	学校関係者	18	委員	勝野 由志雄	学校関係者
6	委員	芹澤 速水	学校関係者	19	委員	竹内 康裕	学校関係者
7	委員	杉山 知太郎	学校関係者	20	委員	永田 一吉	御殿場警察署 生活安全課
8	委員	中村 雅昭	学校関係者	21	委員	小林 寿々代	家庭相談員
9	委員	大倉 盛昭	学校関係者	22	委員	三津山 弘樹	東部児童相談所
10	委員	湯山 昌一	学校関係者	23	委員	青山 公彦	御殿場市 青少年センター
11	委員	倉澤 優司	学校関係者	24	委員	山下 清春	社会教育指導員
12	委員	土屋 典子	学校関係者	25	委員	佐藤 久美	主任児童委員
13	委員	及川 功次郎	学校関係者	26	委員	石田 善正	指導主事

御殿場市学校結核対策委員会委員 任期2年（平成28年4月1日～平成30年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	齋藤 昌一	医師会代表	5	委員	岩間 真人	御殿場保健所長
2	委員	岩田 祥吾	医師会代表	6	委員	内藤 成彦	学校関係者
3	委員	安田 敏男	医師会代表	7	委員	野々上 利佳子	学校関係者
4	委員	中川 靖夫	医師会代表	8	委員	勝又 良衣	市職員

御殿場市立学校専門相談医制度運営講話会構成員 任期2年（平成28年4月1日～平成30年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	構成員	岩田 祥吾	医師会代表	4	構成員	小野 恵子	学校関係者
2	構成員	前田 隆寛	医師会代表	5	構成員	杉本 哲哉	市職員
3	構成員	土屋 行広	学校関係者	6	構成員	福島 英子	市職員

学校専門相談医一覧表

平成28年4月1日現在

産婦人科	整形外科医	脳神経外科	皮膚科医	精神科 (心療内科)
五十嵐 辰博	足利 邦和	勝田 洋一	志水 達也	飛澤 彰
勝間田 寛	石川 正晃	前田 隆寛	富井 直子	
牧野 恒久	渡辺 幸雄			
宮下 明功				

学校名	内科医	耳鼻科医	眼科医	歯科医	薬剤師
御殿場小学校	勝又 厚 西田 四郎	斉藤 彰治	石川 友昭	豊山 篤 渡邊 栄一郎 杉山 良夫	原 久昌
東小学校	江島 経子	斉藤 彰治	石川 友昭	渡辺 孝 土屋 聡	芹澤 尚子
御殿場南小学校	西田 四郎 田内 守之	斉藤 彰治	石川 昭	勝又 修 佐藤 栄樹	勝間田 あけみ
富士岡小学校	齋藤 昌一	斉藤 彰治	石川 昭	斉藤 衛 三浦 文嗣	長田 進
神山小学校	安田 敏男	斉藤 彰治	石川 昭	谷中 満 稲葉 一嘉	滝口 秀之
原里小学校	渡辺 幸雄	早間 隆	石川 昭	梶本 弘 大庭 礼之	原田 義信
朝日小学校	石川 制二	斉藤 彰治	石川 昭	長島 喜久 岩瀬 靖	永井 久雄
玉穂小学校	安田 敏男	早間 隆	石川 昭	梶本 智子 石田 雅彦	原 久昌
印野小学校	石川 制二	早間 隆	石川 昭	杉山 有一	勝間田 尚
高根小学校	勝又 厚	斉藤 彰治	石川 友昭	江本 月美	杉山 博昭
御殿場中学校	勝又 厚	斉藤 彰治	石川 友昭	野田 光子 鎌田 耕	芹澤 尚子
南中学校	安田 敏男	斉藤 彰治	高松 太	園田 正敏 瀧川 妙子	高橋 忠資
富士岡中学校	齋藤 昌一	斉藤 彰治	高松 太	矢後 博次 江塚 孝子	太田 祐治
原里中学校	渡辺 幸雄	早間 隆	高松 太	石川 春人	原田 義信
西中学校	渡辺 幸雄	早間 隆	高松 太	斉藤 保	原 久昌
高根中学校	江島 光彦	斉藤 彰治	石川 友昭	杉山 良夫	杉山 博文
御殿場幼稚園	勝又 厚			渡辺 孝	
富士岡幼稚園	齋藤 昌一			斉藤 衛	
竈幼稚園	齋藤 昌一			大津 昌一	
神山幼稚園	齋藤 昌一			江塚 孝子	
原里幼稚園	石川 制二			矢後 博次	
玉穂幼稚園	西田 四郎			梶本 智子	
原里西幼稚園	石川 制二			岩瀬 靖	
森之腰幼稚園	田内 守之			勝又 邦明	

御殿場市立学校給食センター運営委員会委員名簿 任期1年（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員	小林 博之	御殿場南小学校	10	委員	西山 多喜子	玉穂小学校 PTA副会長
2	委員	横川 幸次郎	神山小学校長	11	委員	武田 怜子	原里小学校 PTA副会長
3	委員	滝口 盛治	南中学校長	12	委員	大内 由佳	御殿場南小学校 PTA副会長
4	委員	土屋 行広	原里中学校長	13	委員	宮澤 みゆき	神山小学校 PTA副会長
5	委員	勝又 厚	御殿場市医師会	14	委員	門馬 有紀子	朝日小学校 PTA副会長
6	委員	富井 明望	御殿場市医師会	15	委員	山本 明久	西中学校 PTA会長
7	委員	石田 雅彦	駿東歯科医師会	16	委員	益山 卓哉	御殿場中学校 PTA会長
8	委員	長田 進	北駿薬剤師会	17	委員	鈴木 眞二	御殿場保健所 衛生業務課長
9	委員	吉浜 忍	御殿場小学校 PTA副会長	18	委員	山崎 信男	静岡県御殿場食品 衛生協会 会長

御殿場市社会教育委員 任期2年（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	菊池 いづみ	図書館活動	8	委員	勝間田 和子	市婦人会 連絡協議会
2	副委員長	木内 幸代	学識経験者 (御殿場)	9	委員	齋藤 治俊	学識経験者 (御殿場)
3	委員	青木 元広	小中学校	10	委員	勝又 明雄	学識経験者 (富士岡)
4	委員	山口 之夫	高等学校	11	委員	菅沼 博文	学識経験者 (原里)
5	委員	滝口 兼光	NPO法人体育協会	12	委員	福島 法子	学識経験者 (玉穂)
6	委員	川口 修江	文化協会	13	委員	勝間田 やす代	学識経験者 (印野)
7	委員	本崎 泰人	市子ども会 世話人連合会	14	委員	林 永野	学識経験者 (高根)

文化財審議会委員 任期2年（平成28年4月1日～平成30年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	渡辺 好洋	原里地区	7	委員	土屋 共榮	富士岡地区
2	副委員長	勝間田 喜明	印野地区	8	委員	芹澤 義廣	原里地区
3	委員	鮎澤 仁司	御殿場地区	9	委員	土屋 俊光	玉穂地区
4	委員	岩澤 良充	御殿場地区	10	委員	高村 典子	高根地区
5	委員	藤方 慶子	御殿場地区	11	委員	杉山 元治	高根地区
6	委員	瀬戸 利満	富士岡地区	12	専門委員	柳井 康弘	平成24年4月1日～

生涯学習推進会委員 任期2年（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	巢瀬 武士	生涯学習 ボランティアセンター	10	委員	岩田 福代	高等学校代表
2	副会長	瀬戸 亮策	市校長会	11	委員	土屋 廣実	商工会
3	副会長	勝又 直美	家庭教育学級	12	委員	中嶋 行雄	駒門工業団地 企業連絡協議会
4	委員	川口 恵子	保育の会	13	委員	勝又 壮平	社会福祉協議会
5	委員	菅沼 久美子	市婦人会連絡協議会	14	委員	土屋 静子	国際交流協会
6	委員	勝間田ふみ子	市子ども会 世話人連合会	15	委員	山下 達也	国立中央 青少年交流の家
7	委員	鈴木 繁	市老人クラブ連合会	16	委員	新田 豊	NPO法人体育協会
8	委員	杉山 敏久	市区長会	17	委員	福井 真澄	文化協会
9	委員	大胡田 幸子	地域づくり活動 主事連絡会	18	委員	菊池 いづみ	社会教育委員会

青少年問題協議会委員 任期2年（平成28年4月1日～平成30年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	若林 洋平	市長	12	委員	山下 達也	国立中央青少年 交流の家
2	副会長	高田 知	商工会	13	委員	鈴木 宏哉	御殿場警察署長
3	副会長	滝口 光江	市婦人会 連絡協議会	14	委員	岩間 真人	御殿場健康福祉 センター所長
4	委員	木内 幸代	社会教育委員会	15	委員	芹澤 卓司	ライオンズクラブ
5	委員	杉山 高士	青少年補導委員	16	委員	勝間田 泰彦	青少年健全育成会
6	委員	滝口 盛治	市校長会	17	委員	上道 勝人	市PTA連合会
7	委員	山口 之夫	高等学校代表	18	委員	真庭 裕司	市子ども会 世話人連合会
8	委員	大窪 民主	市議会 福祉文教委員会	19	委員	渡邊 泰史	青少年活動推進委員
9	委員	根上 清逸	市区長会長	20	委員	藤曲 敏春	ボーイスカウト
10	委員	高村 秀幸	北駿地区保護司会	21	委員	鈴木 光子	ガールスカウト
11	委員	北川 至	民生委員 児童委員協議会				

放課後子どもプラン運営委員会委員 任期2年（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	池谷 洋子	放課後子ども教室	10	委員	勝間田 由美	放課後子ども教室
2	副委員長	柴田 敬紀	市校長会	11	委員	勝又 悦子	主任児童委員
3	委員	勝間田 實	コミュニティ活動	12	委員	本崎 肇	放課後児童クラブ
4	委員	林 典男	コミュニティ活動	13	委員	勝間田 清次	放課後子ども教室
5	委員	勝又 英夫	放課後児童育成会	14	委員	中根 洋一	市教頭会
6	委員	佐々木 民子	放課後児童クラブ	15	委員	鈴木 秋広	教育委員会職員
7	委員	真庭 裕司	市PTA代表	16	委員	山本 宗慶	福祉事務所職員
8	委員	良知 不二子	市PTA代表	17	委員	石田 善正	教育委員会職員
9	委員	鈴木 ひとみ	市子ども会代表				

青少年活動推進委員 任期2年（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

No.	職名	氏名	No.	職名	氏名
1	委員	米津 亮信	8	委員	矢口 雅士
2	委員	芹澤 良幸	9	委員	萩倉 康
3	委員	渡邊 泰史	10	委員	和泉 友喜
4	委員	齋藤 雅斗	11	委員	芹澤 仁美
5	委員	立道 美奈	12	委員	湯川 満
6	委員	熊谷 友彦	13	委員	保福 大輔
7	委員	岩城 憲	14	委員	鈴木 一史

青少年センター運営懇話会委員 任期2年（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	座長	勝又 將雄	教育長	8	構成員	滝口 盛治	市校長会
2	副座長	杉山 高士	青少年補導委員長	9	構成員	高杉 聡哉	市生徒指導部長
3	構成員	山本 修司	青少年補導副委員長	10	構成員	大倉 盛昭	市生徒指導副部長
4	構成員	永田 一吉	御殿場警察署 生活安全課長	11	構成員	齋藤 光高	高等学校代表
5	構成員	永井 久雄	北駿薬剤師会	12	構成員	石田 善正	学校教育課
6	構成員	山崎 博史	商業振興協同組合	13	構成員	伊藤 美香	子育て支援課
7	構成員	武藤 泰二	市立図書館 図書納入組合				

図書館協議会委員 任期2年（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	会長	生川 善司	学識経験者	6	委員	渡辺 英一郎	学識経験者
2	副会長	池谷 岩夫	学識経験者	7	委員	芹沢 さくら	学校教育関係者
3	委員	勝又 昭雄	社会教育関係者	8	委員	近藤 祐里	学校教育関係者
4	委員	勝間田 清次	社会教育関係者	9	委員	横山 時子	家庭教育の向上に 資する活動を行う者
5	委員	内藤 成彦	学識経験者	10	委員	古賀 啓子	家庭教育の向上に 資する活動を行う者

御殿場市子ども読書活動推進会議委員 任期2年（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

No.	職名	氏名	区分	No.	職名	氏名	区分
1	委員長	加藤 千恵子	図書館 ボランティアの会	9	委員	萩倉 奈津子	小学校司書教諭
2	副委員長	鈴木 治子	図書館 ボランティアの会	10	委員	杉村 浩一	中学校司書教諭
3	委員	稲葉 早苗	一般公募	11	委員	松井 永治	特別支援学級 担当教諭
4	委員	岡本 昌子	一般公募	12	委員	江間 紀子	県立御殿場 特別支援学校教諭
5	委員	岩田 いつ子	民生委員 児童委員協議会	13	委員	立野 綾	小中学校PTA
6	委員	中谷 恵美子	民生委員 児童委員協議会	14	委員	磯邊 恭子	幼稚園保護者会
7	委員	渡辺 直子	地域文庫	15	委員	井下 大輔	保育園保護者会
8	委員	浜田 宏美	図書館 ボランティアの会				

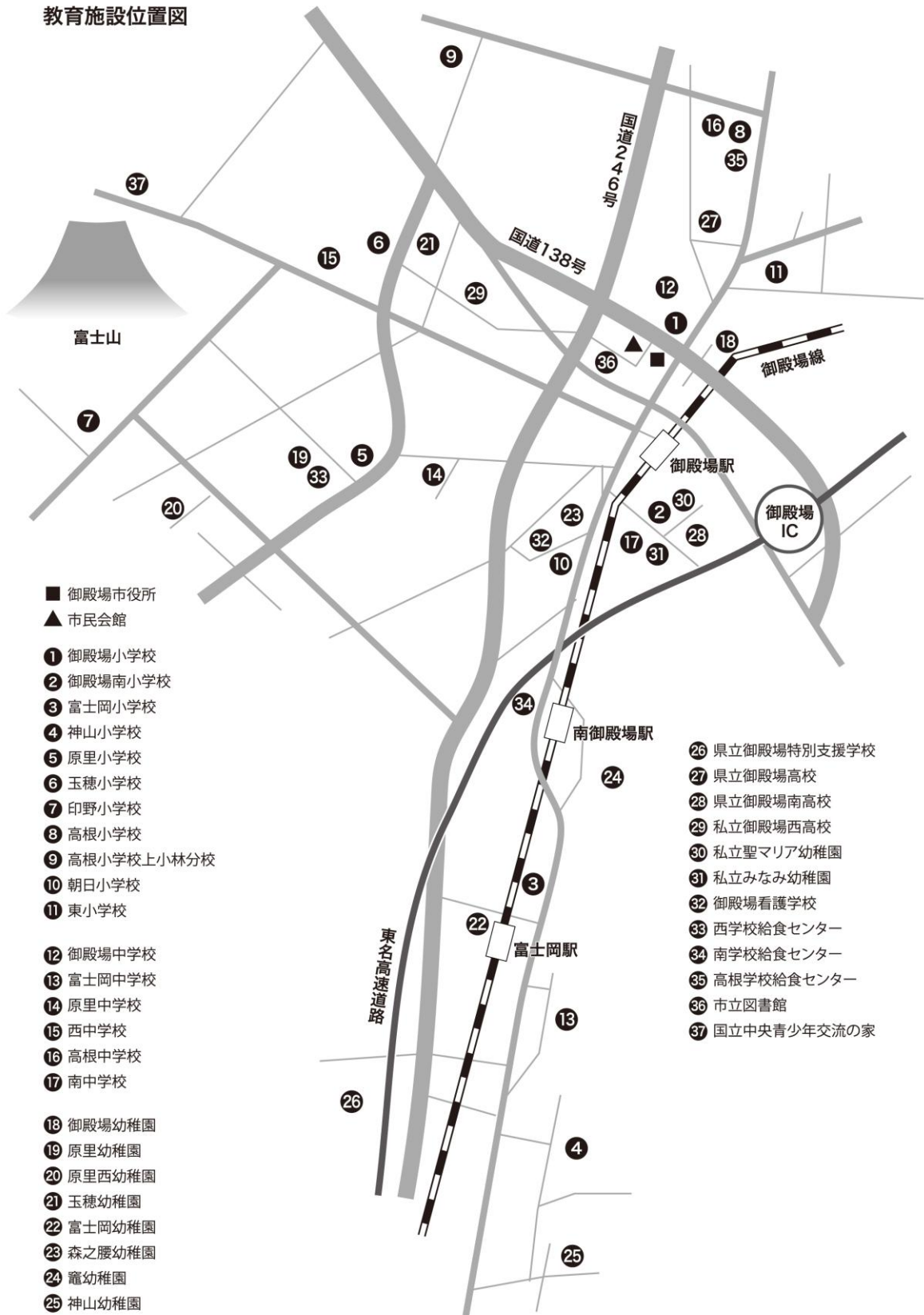
地域づくり活動主事

No.	区名	氏名	活動施設名	施設所在地	施設電話番号
1	御殿場	日比野 一義	御殿場コミセン	御殿場 190-2	82-9364
2	深沢	小宮山 公平	深沢区公民館	深沢 843-2	83-5225
3	東山	横山 重夫	東山コミセン	東山 1017-1	83-3878
4	東田中	永田 雅夫	東田中中央公民館	東田中三丁目 4-12	84-5151
5	二の岡	村上 浩	二の岡コミセン	二の岡一丁目 3-15	84-0134
6	鮎沢	渡邊 猛	鮎沢公民館	新橋 351	82-6685
7	新橋	石川 又英	新橋コミセン	新橋 2081-2	83-0604
8	湯沢	稲葉 光一	湯沢区公民館	萩原 719-3	なし
9	萩原	芹澤 辰春	萩原公民館	萩原 510-1	83-0897
10	二枚橋	勝又 章	二枚橋コミセン	二枚橋 229-1	82-8956
11	西田中	砂山 信行	西田中コミセン	北久原 603-1	83-3901
12	北久原	勝又 邦雄	北久原公民館	北久原 483-1	78-6888
13	仁杉	勝又 博之	仁杉公民館	仁杉 320-1	89-0302
14	栢ノ木	内藤 昌純	栢ノ木コミセン	二枚橋 470	83-4866
15	永原	木村 浩幸	永原コミセン	萩原 1360-120	83-0850
16	竈	渡邊 秀明	竈区公民館	竈 1190-1	83-6822
17	萩蕪	勝間田 幹雄	萩蕪コミセン	萩蕪 152-6	82-7057
18	沼田	瀬戸 進吾	沼田区公民館	沼田 191	なし
19	二子	都平 進	二子公民館	二子 375-1	なし
20	中山上	佐藤 好之	中山上公民館	中山 281-1	87-0810
21	中山下	小澤 明	中山中央公民館	中山 624-5	87-5573
22	風穴	小澤 昭司	風穴区公民館	中山 906-8	なし
23	中清水	吉海 好雄	中清水コミセン	中清水 177	87-2252
24	駒門	小澤 仁志	駒門コミセン	駒門 471	87-0963
25	大坂	渡邊 英邦	大坂コミセン	大坂 249-1	87-0876
26	町屋	沓間 捷 加藤 勲	町屋中央公民館	神山 1686-8	87-1546
27	高内	神山 高	高内コミセン	神山 400-1	87-1471
28	尾尻	山田 香里	尾尻コミセン	神山 930-7	87-1523
29	神山	鈴木 茂喜 佐々木 誠	神山区公民館	神山平 2-52	87-3285

No.	区名	氏名	活動施設名	施設所在地	施設電話番号
30	富士見原	石垣 浩之	富士見原集会所	富士見原一丁目 33	87-2452
31	川島田	下田 弘信	川島田コミセン	川島田 923	83-2831
32	森之腰	川島 輝夫	森之腰中央公民館	川島田 512	83-7356
33	神場	勝亦 慶徳	神場公民館	神場 588-1	89-2013
34	板妻	長田 寛一郎	板妻区公民館	板妻 131-1	89-2912
35	保土沢	加藤 数俊	保土沢区公民館	保土沢 18-18	89-0771
36	永塚	勝亦 和男	永塚コミセン	永塚 692-1	89-0289
37	北畑	斉藤 康宏	北畑区公民館	川島田 1792-1	89-0617
38	大沢	地蔵 光敏	大沢公民館	川島田 1898-3	89-1951
39	茱萸沢上	木下 輝章	茱萸沢上コミセン	茱萸沢 893-1	89-2120
40	茱萸沢下	勝呂 正彦 原 藤夫	茱萸沢下区公民館	茱萸沢 1209	88-1510
41	中畑東	高木 明	中畑東コミセン	中畑 268-10	89-5510
42	中畑北	西山 さゆり	中畑北コミセン	中畑 878-1	89-5515
43	中畑南	大崎 勇次	中畑南コミセン	中畑 1667-1	89-3789
44	中畑西	伊倉 正博	中畑西コミセン	中畑 1784	89-3948
45	川柳	大胡田 幸子	川柳コミセン	川柳 29	89-0954
46	小木原	石田 るり子	小木原コミセン	印野 2209-1	89-4808
47	時之栖	勝間田 邦雄	時之栖コミセン	印野 1757-1	89-5748
48	印野	勝間田 士郎 石田 文	印野コミセン	印野 866-1	89-1364
49	塚原	高杉 俊司	塚原コミセン	塚原 859-2	83-6459
50	六日市場	山口 陽一	六日市場公民館	塚原 30-1	83-6961
51	美乃和	田代 欣三	美乃和区公民館	中丸 192	83-6432
52	清後	豊川 靖己	清後区公民館	清後 130-4	83-5038
53	山之尻	小川 竜也	山之尻コミセン	山之尻 907-1	83-6177
54	柴怒田	勝又 秀夫	柴怒田コミセン	柴怒田 117-1	89-0343
55	上小林	林 正和	上小林公民館	上小林 897-3	89-0045
56	水土野	齋藤 泰夫	水土野区公民館	水土野 145-1	なし
57	古沢	芹沢 良信	古沢区公民館	古沢 200	83-6148

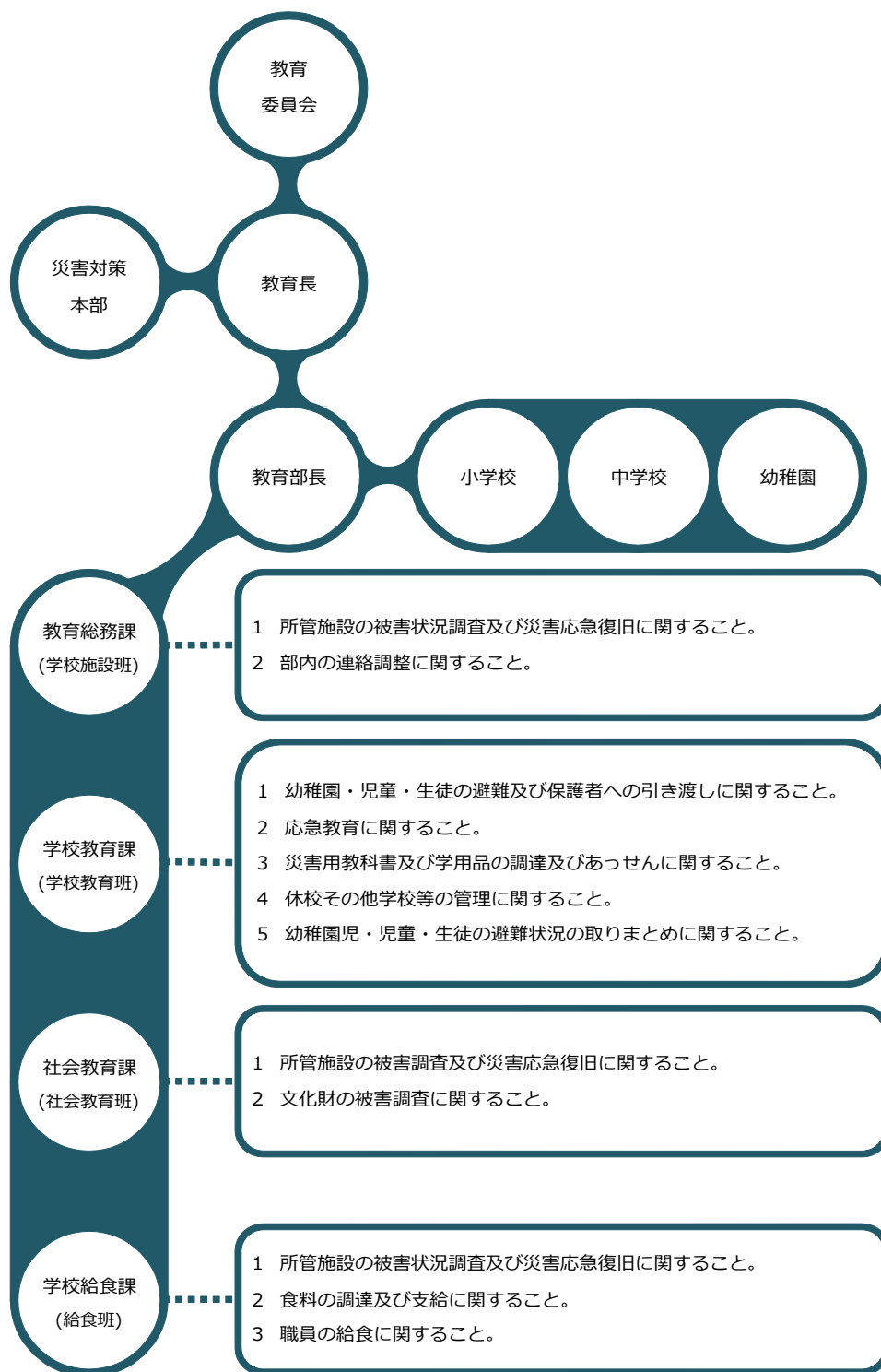
3 教育施設位置図

教育施設位置図



4 防災計画

御殿場市地域防災計画は、災害対策基本法第 42 条の規定に基づき、市における災害対策全般に関し、市の処理すべき事務を中心として防災関係機関を含めた総合的な防災計画です。この計画では、市民の生命財産を災害から保護するとともに、積極的に災害の拡大防止と被害の軽減に努め、防災の万全を期することを目的としています。



御殿場の教育 (平成 28 年度版)

表紙作品 : 紙切り作家 水口千令氏
発行 : 御殿場市教育委員会
住所 : 御殿場市萩原 483 番地
電話 : (0550) 82-4520
F A X : (0550) 82-4525